

2025年度
— 大谷大学 卒業生アンケート調査 —
結果報告書

2026年3月
大谷大学
インスティテューショナル・リサーチ室

■ 調査目的

- ・ 社会に出たうえで必要と感じた力とその程度を測ることで、大谷大学在学中に学ぶべき事項を明らかにし、今後の教育内容等の見直しに役立てる。
- ・ 大谷大学在学中に受けたキャリア支援の満足度、さらにもっと充実させて欲しい項目から、今後のキャリア支援等の見直しに役立てる。
- ・ 大谷大学に入学してよかったと思うか、また、後輩や知人に大谷大学への入学を勧めたいと思うかを問い、大谷大学が今後さらに充実すべき点等を明らかにする。
- ・ 大谷大学卒業後の進路について、離職・転職など、今後の卒業生への支援の参考資料とする。

■ 調査内容

1. 大谷大学で身についた力
2. 大谷大学のキャリア支援について
3. 大谷大学への満足度について

■ 調査方法：Webアンケート

- ・ QRコード入りの葉書 → 卒業生アンケートに回答

卒業生アンケート(文学部)

卒業生アンケート(社会学部)

卒業生アンケート(教育学部)

卒業生アンケート(国際学部)

■ 調査

- ・ 2025年8月7日～28日

■ 調査対象

- ・ 2022年度～2024年度の卒業生(2022年9月～2025年3月までの卒業生)

■ 謝礼

- ・ Amazonギフトカード1,000円分

★ 対象者・回答数

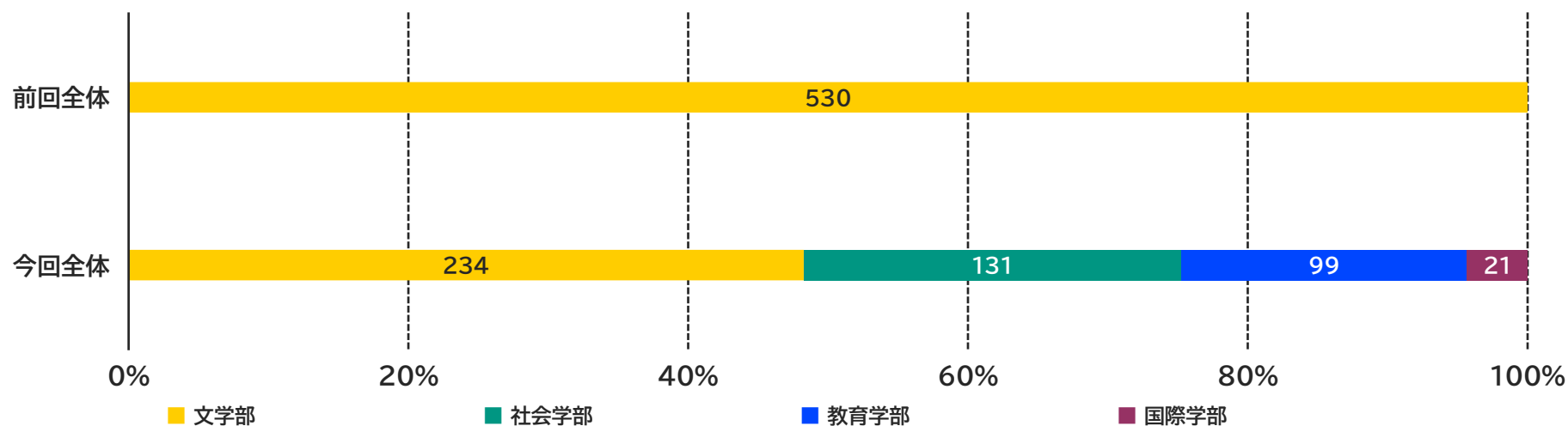
()は前回調査の数値

	文学部	社会学部	教育学部	国際学部	計
対象者数	1,020	612	371	83	2,086(1,970)
回答数	234	131	99	21	485(530)
回答率	22.9%	21.4%	26.7%	25.3%	23.3%(26.9%)

★ 卒業年度

卒業年度	文学部			社会学部			教育学部			国際学部			計		
	対象者数	回答数	回答率	対象者数	回答数	回答率	対象者数	回答数	回答率	対象者数	回答数	回答率	対象者数	回答数	回答率
前回全体	1,970	530	26.9%	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1,970	530	26.9%
2022年度	386	81	21.0%	216	41	19.0%	126	29	23.0%	/	/	/	728	151	20.7%
2023年度	363	92	25.3%	213	47	22.1%	123	31	25.2%	/	/	/	699	170	24.3%
2024年度	271	61	22.5%	183	43	23.5%	122	39	32.0%	83	21	25.3%	659	164	24.9%

学部別回答数



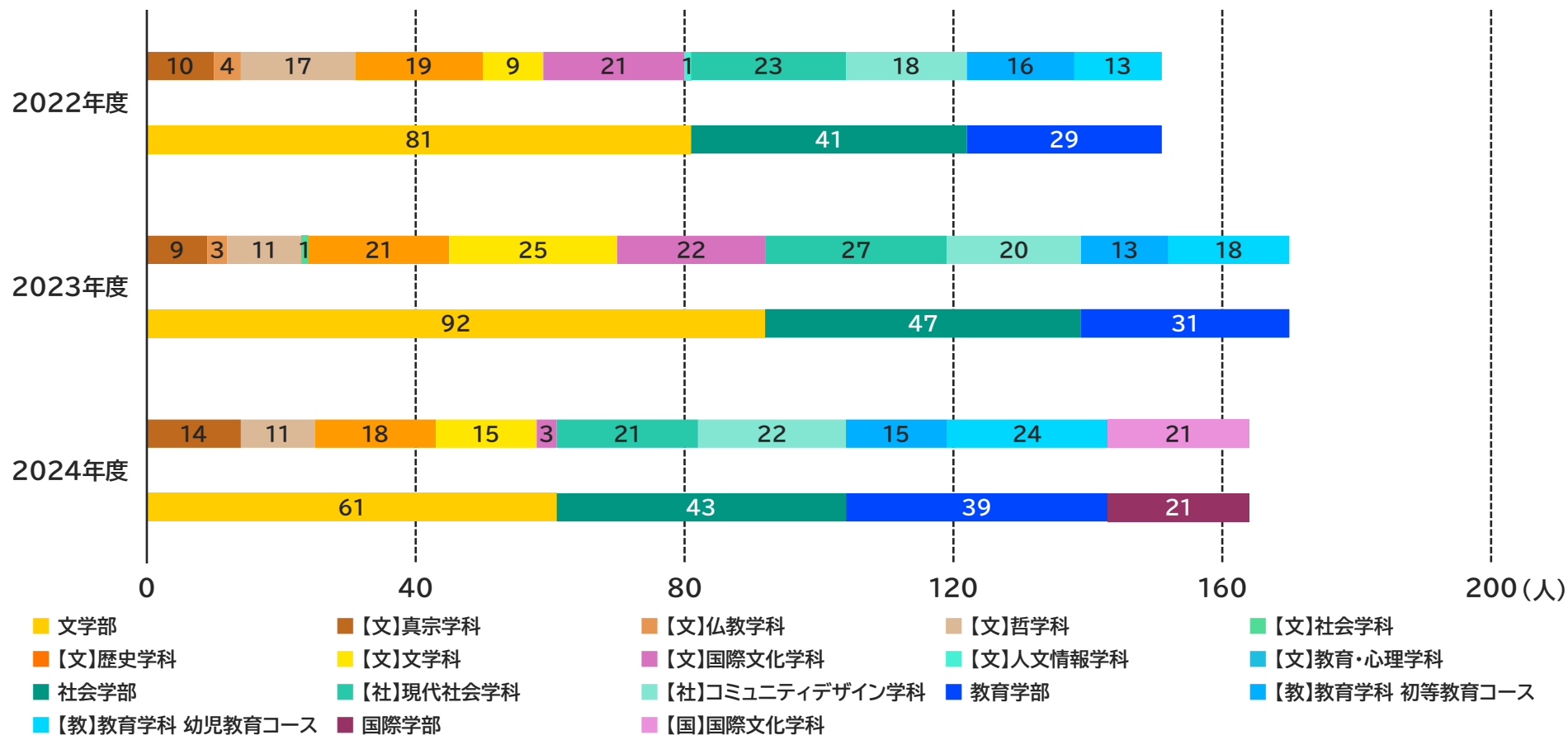
(※ グラフ内の数値は以後掲載分も含めてすべて回答者の実数)

★ 卒業した学科

(上段)回答数/(中段)総計比/(下段)各卒業年度の学生の入学時の入学定員比 ([例]2022年度の場合は2019年度)

	文学部									社会学部		教育学部		国際学部	総計
	真宗学科	仏教学科	哲学科	社会学科	歴史学科	文学科	国際文化学科	人文学科	教育・心理学科	現代社会学科	デザイン・コミュニケーション学科	初等教育学科	幼児教育学科	国際文化学科	
前回全体	55	11	24	79	83	60	60	57	101						530
	10.4%	2.1%	4.5%	14.9%	15.7%	11.3%	11.3%	10.8%	19.1%						100.0%
															--.-%
2022年度	10	4	17	0	19	9	21	1	0	23	18	16	13		151
	6.6%	2.6%	11.3%	0.0%	12.6%	6.0%	13.9%	0.7%	0.0%	15.2%	11.9%	10.6%	8.6%		100.0%
	8.1%	3.4%	6.7%	0.0%	13.4%	9.4%	12.1%	0.0%	0.0%	16.1%	13.4%	6.7%	10.7%		100.0%
2023年度	9	3	11	1	21	25	22	0	0	27	20	13	18		170
	5.3%	1.8%	6.5%	0.6%	12.4%	14.7%	12.9%	0.0%	0.0%	15.9%	11.8%	7.6%	10.6%		100.0%
	7.9%	3.3%	6.6%	0.0%	13.9%	10.3%	11.9%	0.0%	0.0%	15.8%	13.2%	6.6%	10.6%		100.0%
2024年度	14	0	11		18	15	3			21	22	15	24	21	164
	8.5%	0.0%	6.7%		11.0%	9.1%	1.8%			12.8%	13.4%	9.1%	14.6%	12.8%	100.0%
	7.8%	3.3%	6.5%		13.7%	10.2%	0.0%			15.6%	13.0%	6.5%	10.4%	13.0%	100.0%
今回全体	33	7	39	1	58	49	46	1	0	71	60	44	55	21	485
	6.8%	1.4%	8.0%	0.2%	12.0%	10.1%	9.5%	0.2%	0.0%	14.6%	12.4%	9.1%	11.3%	4.3%	100.0%
	7.9%	3.3%	6.6%	0.0%	13.7%	10.0%	7.9%	0.0%	0.0%	15.9%	13.2%	6.6%	10.6%	4.4%	100.0%

年度別の卒業した学部・学科



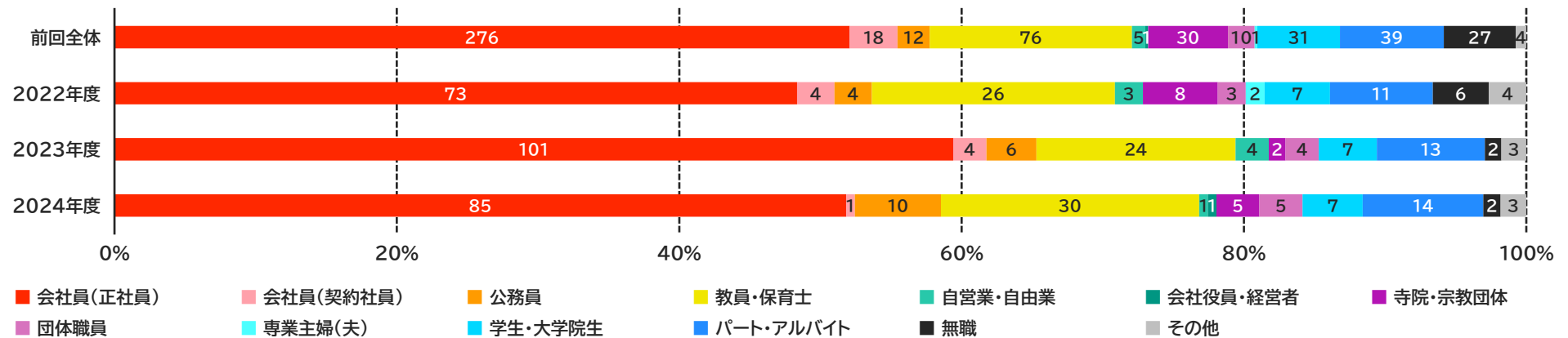
Q4-1：現在の主な職業を選択してください。

★ 卒業年度別の現在の主な職業

(上段)回答数/(下段)総計比

	会社員 (正社員)	会社員 (契約社員)	公務員	教員・保育士	自営業・自由業	会社役員・経営者	寺院・宗教団体	団体職員	専業主婦(夫)	学生・大学院生	パート・アルバイト	無職	その他	総計
前回全体	276 52.1%	18 3.4%	12 2.3%	76 14.3%	5 0.9%	1 0.2%	30 5.7%	10 1.9%	1 0.2%	31 5.8%	39 7.4%	27 5.1%	4 0.8%	530 100.0%
2022年度	73 48.3%	4 2.6%	4 2.6%	26 17.2%	3 2.0%	0 0.0%	8 5.3%	3 2.0%	2 1.3%	7 4.6%	11 7.3%	6 4.0%	4 2.6%	151 100.0%
2023年度	101 59.4%	4 2.4%	6 3.5%	24 14.1%	4 2.4%	0 0.0%	2 1.2%	4 2.4%	0 0.0%	7 4.1%	13 7.6%	2 1.2%	3 1.8%	170 100.0%
2024年度	85 51.8%	1 0.6%	10 6.1%	30 18.3%	1 0.6%	1 0.6%	5 3.0%	5 3.0%	0 0.0%	7 4.3%	14 8.5%	2 1.2%	3 1.8%	164 100.0%
今回全体	259 53.4%	9 1.9%	20 4.1%	80 16.5%	8 1.6%	1 0.2%	15 3.1%	12 2.5%	2 0.4%	21 4.3%	38 7.8%	10 2.1%	10 2.1%	485 100.0%

卒業年度別の現在の主な職業



★ 卒業学科別の現在の主な職業
文学部

(上段)回答数/(下段)総計比

	会社員 (正社員)	会社員 (契約社員)	公務員	教員・保育士	自営業・自由業	会社役員・経営者	寺院・宗教団体	団体職員	専業主婦(夫)	学生・大学院生	パート・アルバイト	無職	その他	総計
【文】真宗学科	11	0	1	0	1	0	12	0	0	7	1	0	0	33
	33.3%	0.0%	3.0%	0.0%	3.0%	0.0%	36.4%	0.0%	0.0%	21.2%	3.0%	0.0%	0.0%	100.0%
【文】仏教学科	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	7
	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%
【文】哲学科	22	1	1	1	0	0	0	0	1	3	7	3	0	39
	56.4%	2.6%	2.6%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	7.7%	17.9%	7.7%	0.0%	100.0%
【文】歴史学科	37	3	1	2	0	0	2	1	0	4	5	1	2	58
	63.8%	5.2%	1.7%	3.4%	0.0%	0.0%	3.4%	1.7%	0.0%	6.9%	8.6%	1.7%	3.4%	100.0%
【文】文学科	31	2	1	1	1	0	0	2	0	1	8	1	1	49
	63.3%	4.1%	2.0%	2.0%	2.0%	0.0%	0.0%	4.1%	0.0%	2.0%	16.3%	2.0%	2.0%	100.0%
【文】国際文化学科	29	2	1	0	1	0	1	0	0	2	7	2	1	46
	63.0%	4.3%	2.2%	0.0%	2.2%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	4.3%	15.2%	4.3%	2.2%	100.0%
【文】社会学科/人文情報学科 教育・心理学科	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
文学部全体	135	9	5	4	4	0	15	3	1	18	29	7	4	234
	57.7%	3.8%	2.1%	1.7%	1.7%	0.0%	6.4%	1.3%	0.4%	7.7%	12.4%	3.0%	1.7%	100.0%

社会学部

(上段)回答数/(下段)総計比

	会社員 (正社員)	会社員 (契約社員)	公務員	教員・保育士	自営業・自由業	会社役員・経営者	寺院・宗教団体	団体職員	専業主婦(夫)	学生・大学院生	パート・アルバイト	無職	その他	総計
【社】現代社会学科	56 78.9%	0 0.0%	5 7.0%	0 0.0%	3 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	0 0.0%	1 1.4%	3 4.2%	1 1.4%	1 1.4%	71 100.0%
【社】コミュニティデザイン学科	41 68.3%	0 0.0%	6 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 11.7%	0 0.0%	2 3.3%	1 1.7%	1 1.7%	2 3.3%	60 100.0%
社会学部全体	97 74.0%	0 0.0%	11 8.4%	0 0.0%	3 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	8 6.1%	0 0.0%	3 2.3%	4 3.1%	2 1.5%	3 2.3%	131 100.0%

教育学部

(上段)回答数/(下段)総計比

	会社員 (正社員)	会社員 (契約社員)	公務員	教員・保育士	自営業・自由業	会社役員・経営者	寺院・宗教団体	団体職員	専業主婦(夫)	学生・大学院生	パート・アルバイト	無職	その他	総計
【教】教育学科 初等教育コース	5 11.6%	0 0.0%	1 2.3%	35 81.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	43 100.0%
【教】教育学科 幼児教育コース	4 7.3%	0 0.0%	3 5.5%	41 74.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	3 5.5%	1 1.8%	2 3.6%	55 100.0%
教育学部全体	9 9.2%	0 0.0%	4 4.1%	76 77.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.0%	1 1.0%	0 0.0%	4 4.1%	1 1.0%	2 2.0%	98 100.0%

国際学部

(上段)回答数/(下段)総計比

	会社員 (正社員)	会社員 (契約社員)	公務員	教員・保育士	自営業・自由業	会社役員・経営者	寺院・宗教団体	団体職員	専業主婦(夫)	学生・大学院生	パート・アルバイト	無職	その他	総計
【国】国際文化学科	18	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	21
	85.7%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	100.0%
国際学部全体	18	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	21
	85.7%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	100.0%

Q4-2 : Q4-1で「その他」を選択した方のみ 職業をご記入ください。

- ・ 森林組合 休職中 (【文】歴史学科)
- ・ 就労移行支援事業所通所中 (【文】歴史学科)
- ・ 役者 (【文】文学科)
- ・ プロアスリート (【文】国際文化学科)
- ・ 就職活動中 (【社】コミュニティデザイン学科)
- ・ 介護施設勤務 (【社】コミュニティデザイン学科)
- ・ 小学校の非常勤講師をしながら通信大学学生 (【教】教育学科 初等教育コース)
- ・ 児童指導員 (【教】教育学科 幼児教育コース)
- ・ 学童指導員 (【教】教育学科 幼児教育コース)

【参考】前回分

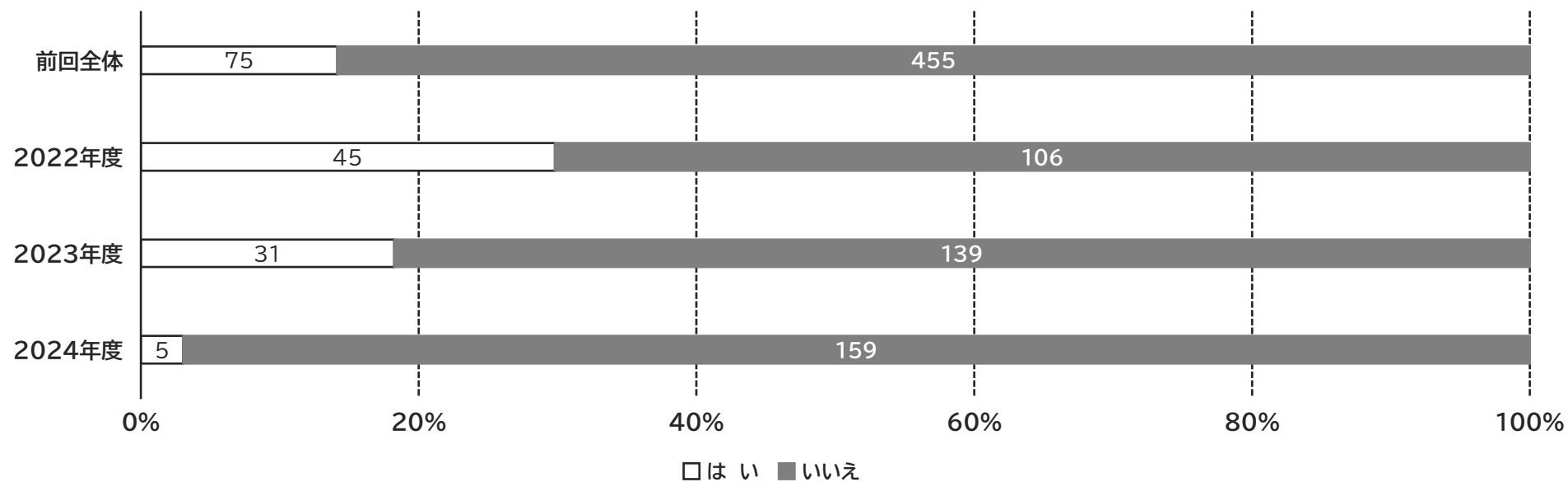
- ・ 介護職 (【文】社会学科)
- ・ 介護職 (【文】社会学科)
- ・ 職業訓練中 (【文】国際文化学科)
- ・ 派遣正社員 (【文】人文情報学科)

Q5：大谷大学を卒業してからこれまでに、離職・転職の経験がありますか。

★ 卒業年度別 離職・転職の経験

	はい		いいえ		総計	
	回答数	総計比	回答数	総計比	回答数	総計比
前回全体	75	14.2%	455	85.8%	530	100.0%
2022年度	45	29.8%	106	70.2%	151	100.0%
2023年度	31	18.2%	139	81.8%	170	100.0%
2024年度	5	3.0%	159	97.0%	164	100.0%
今回全体	81	16.7%	404	83.3%	485	100.0%

卒業年度別の離職・転職の経験



★ 学科別 離職・転職の経験 文学部

	はい		いいえ		総計	
	回答数	総計比	回答数	総計比	回答数	総計比
【文】真宗学科	2	6.1%	31	93.9%	33	100.0%
【文】仏教学科	1	14.3%	6	85.7%	7	100.0%
【文】哲学科	6	15.4%	33	84.6%	39	100.0%
【文】歴史学科	14	24.1%	44	75.9%	58	100.0%
【文】文学科	13	26.5%	36	73.5%	49	100.0%
【文】国際文化学科	8	17.4%	38	82.6%	46	100.0%
【文】社会学科/人文情報学科/ 教育・心理学科	1	50.0%	1	50.0%	2	100.0%
文学部全体	45	19.2%	189	80.8%	234	100.0%

教育学部

	はい		いいえ		総計	
	回答数	総計比	回答数	総計比	回答数	総計比
【教】教育学科 初等教育コース	2	4.5%	42	95.5%	44	100.0%
【教】教育学科 幼児教育コース	9	16.4%	46	83.6%	55	100.0%
教育学部全体	11	11.1%	88	88.9%	99	100.0%

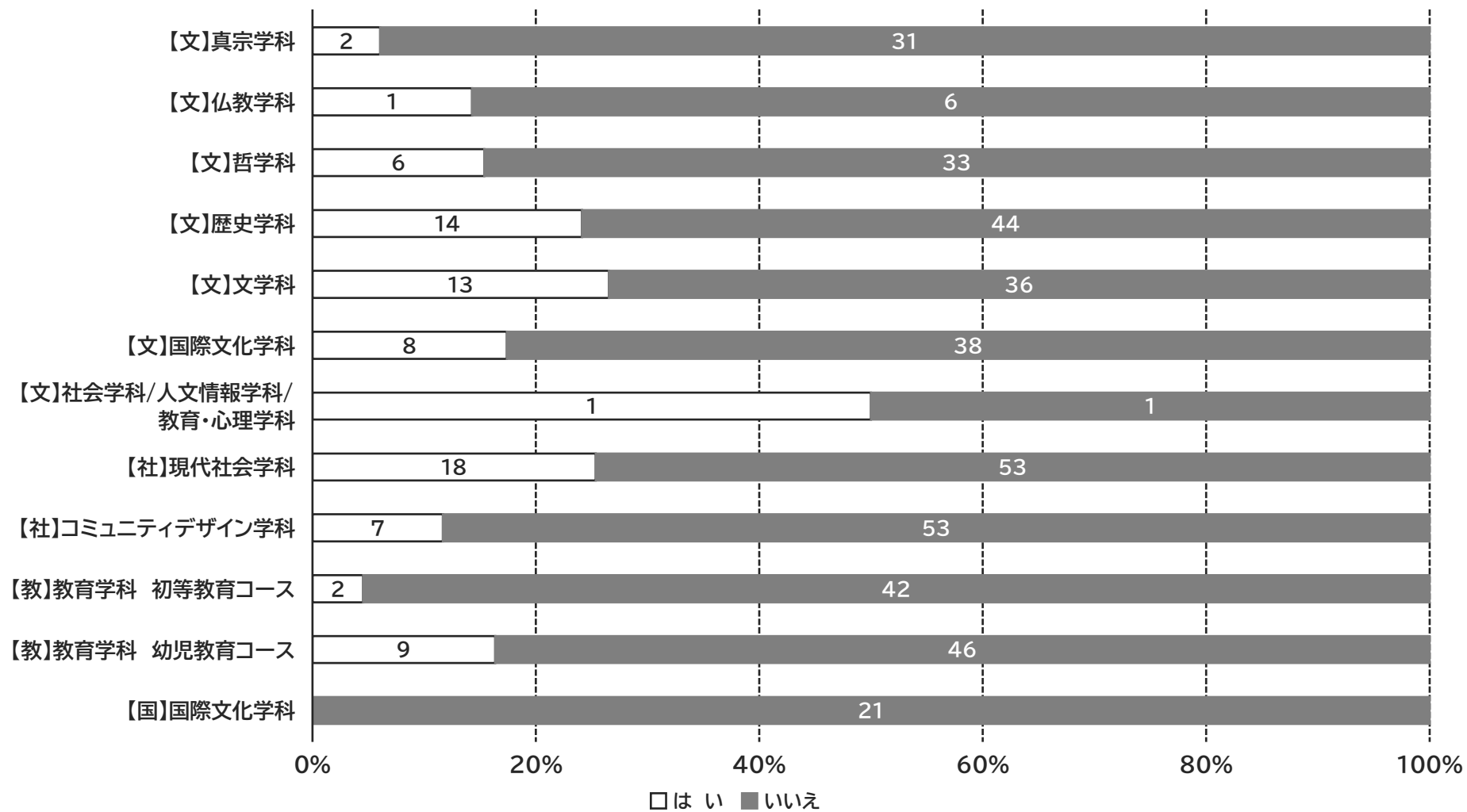
社会学部

	はい		いいえ		総計	
	回答数	総計比	回答数	総計比	回答数	総計比
【社】現代社会学科	18	25.4%	53	74.6%	71	100.0%
【社】コミュニティデザイン学科	7	11.7%	53	88.3%	60	100.0%
社会学部全体	25	19.1%	106	80.9%	131	100.0%

国際学部

	はい		いいえ		総計	
	回答数	総計比	回答数	総計比	回答数	総計比
【国】国際文化学科	0	0.0%	21	100.0%	21	100.0%
国際学部全体	0	0.0%	21	100.0%	21	100.0%

卒業学科別 離職・転職の経験



Q5-1 : Q5で「ある」を選択した方のみ 離職・転職の理由を選択してください(3つまで選択可)。

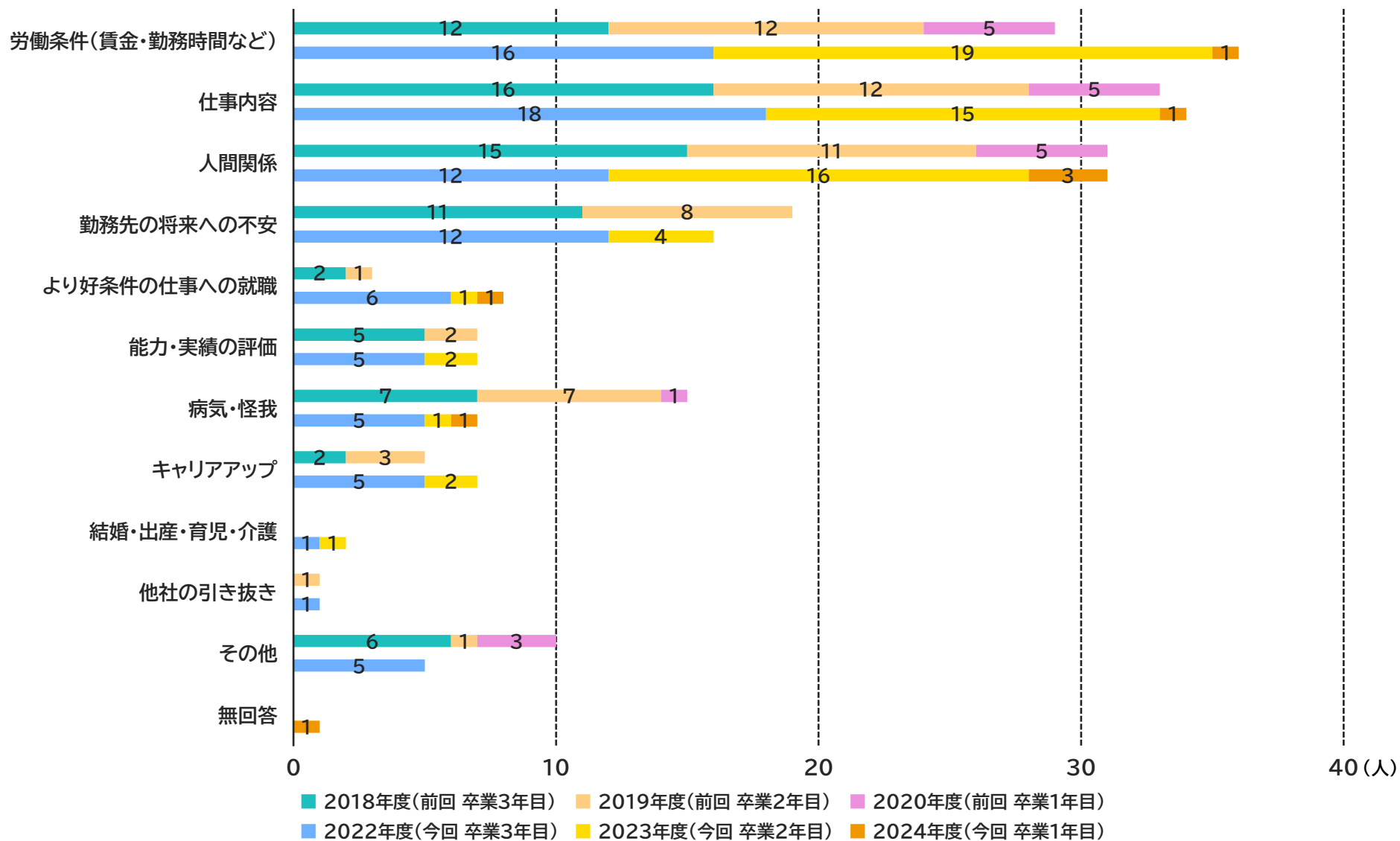
(上段)回答数/(下段)総計比

	回答者数	仕事内容	能力・実績の評価	労働条件 (賃金・勤務時間など)	人間関係	勤務先の将来への不安	結婚・出産・育児・介護	病気・怪我	キャリアアップ	就職 より好条件の仕事への	他社の引き抜き	その他	無回答
前回大学全体	75	33	7	29	31	19	0	15	5	3	1	10	0
	100.0%	44.0%	9.3%	38.7%	41.3%	25.3%	0.0%	20.0%	6.7%	4.0%	1.3%	13.3%	0.0%
今回大学全体	81	34	7	36	31	16	2	7	7	8	1	5	1
	100.0%	42.0%	8.6%	44.4%	38.3%	19.8%	2.5%	8.6%	8.6%	9.9%	1.2%	6.2%	1.2%

卒業年度

2018年度	36	16	5	12	15	11	0	7	2	2	0	6	0
	100.0%	44.4%	13.9%	33.3%	41.7%	30.6%	0.0%	19.4%	5.6%	5.6%	0.0%	16.7%	0.0%
2019年度	30	12	2	12	11	8	0	7	3	1	1	1	0
	100.0%	40.0%	6.7%	40.0%	36.7%	26.7%	0.0%	23.3%	10.0%	3.3%	3.3%	3.3%	0.0%
2020年度	9	5	0	5	5	0	0	1	0	0	0	3	0
	100.0%	55.6%	0.0%	55.6%	55.6%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
2022年度	45	18	5	16	12	12	1	5	5	6	1	5	0
	100.0%	40.0%	11.1%	35.6%	26.7%	26.7%	2.2%	11.1%	11.1%	13.3%	2.2%	11.1%	0.0%
2023年度	31	15	2	19	16	4	1	1	2	1	0	0	0
	100.0%	48.4%	6.5%	61.3%	51.6%	12.9%	3.2%	3.2%	6.5%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%
2024年度	5	1	0	1	3	0	0	1	0	1	0	0	1
	100.0%	20.0%	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%

卒業年度別 離職・転職の理由 (グラフは今回全体で回答の多い順番に並び替えている)



Q5-2 : Q5-1で「その他」を選択した方のみ 具体的な理由をご記入ください。

- ・ 一般企業から別院へ。将来、自坊へ帰った時のために専門的なスキルを身につける必要があると思ったから（【文】真宗学科）
- ・ 自分の将来を考えた結果（【文】真宗学科）
- ・ 会社の立地（【文】文学科）
- ・ 引越し（【文】文学科）
- ・ ひっこし（【文】国際文化学科）

【参考】前回分

- ・ 転職というか、大学卒業後自坊に帰り、その後他に就職した。ずっと行きたいところだったから。（【文】真宗学科）
- ・ コロナ禍による経営難で人件費縮小により離職（【文】真宗学科）
- ・ 倒産（【文】哲学科）
- ・ 臨時職員で期間が終わった（【文】社会学科）
- ・ パワハラや残業代の出ない残業が毎日あり、生涯転勤が続くこともあり、今後の生活を考え転職を行った。（【文】歴史学科）
- ・ 学校に行くため（【文】国際文化学科）
- ・ 個人で事業を起こすため（【文】人文情報学科）
- ・ 希望退職の募集（【文】人文情報学科）
- ・ 東京で病気が再発してしまうと、妻1人に迷惑がかかるしその妻が逃げる場所が無くなる。それを避けたかったから。（【文】教育・心理学科）
- ・ 母方の祖母が亡くなり、精神的に堪えてしまった。加えて、祖母のお店を継いだ母の手伝いと生活面でのサポートのため、実家に帰る必要があったため。（【文】教育・心理学科）

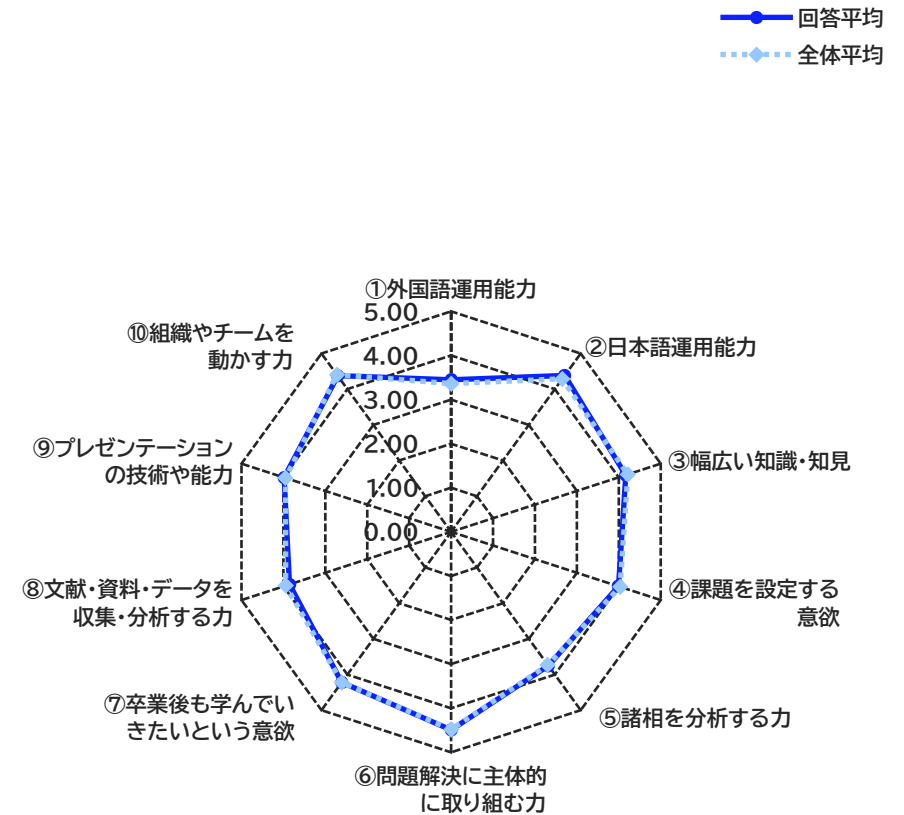
集計結果編

Q6：あなたが、社会に出たうえで、下記の力がどの程度必要と感じましたか。①～⑩の項目についてあてはまるもの1つを選択してください。

● 文学部

	回答者数	5 とても必要と感じた	4 やや必要と感じた	3 どちらともいえない	2 あまり必要と感じていない	1 まったく必要と感じていない	回答平均	全体平均
①基礎的なレベルでの外国語運用能力(読解・会話・表現)	234	52	71	52	48	11	3.45	3.36
②発展的・応用的なレベルでの日本語運用能力(正確な読解・論理的な表現・的確な議論)	234	126	78	24	6	0	4.38	4.29
③人間・社会・自然環境に関する幅広い知識・知見	234	106	80	32	13	3	4.17	4.22
④人間・社会・自然環境に関する問題を見だし、課題を設定する意欲	234	89	78	44	22	1	3.99	4.03
⑤人文諸科学の幅広い知識を用いて、人間・社会・自然環境の諸相を分析する力	234	62	91	48	27	6	3.75	3.73
⑥自己や他者を理解し、さまざまな問題解決に主体的に取り組む力	234	139	75	17	2	1	4.49	4.48
⑦卒業後も学んでいきたいという意欲	234	108	84	31	8	3	4.22	4.22
⑧ICTを活用しながら文献・資料・データを収集・分析する力	234	73	81	59	15	6	3.85	3.95
⑨プレゼンテーションの技術や能力	234	89	81	39	21	4	3.98	3.95
⑩意見や立場の違いを理解・尊重しながら組織やチームを動かす力	234	131	69	26	7	1	4.38	4.41

文学部の回答平均と全体平均の比較



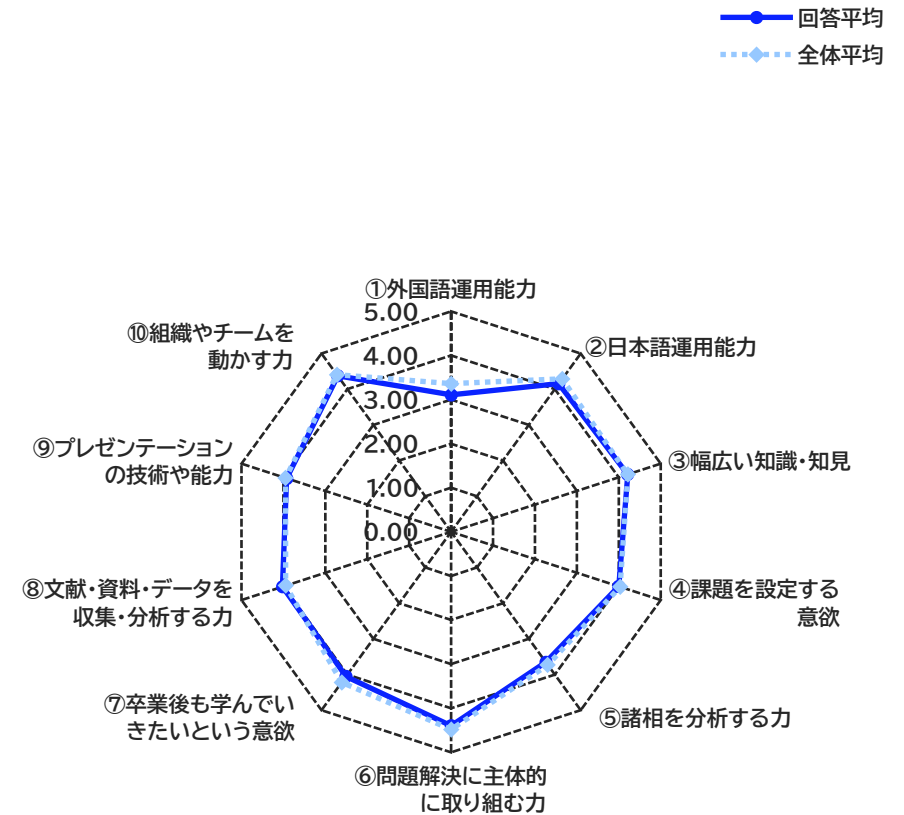
※ 回答平均点…「5 とても必要と感じた」を5ポイントとして以下「1 まったく必要と感じていない」を1ポイントとして合計を算出し、回答者数で割った値とする。

全学部でもっとも必要と感じた力は「⑥問題解決に主体的に取り組む力」で、文学部では「①外国語運用能力」「②日本語運用能力」が他学部よりも必要と感じる割合がやや高い傾向にある。

● 社会学部

	回答者数	5 とても必要と感じた	4 やや必要と感じた	3 どちらともいえない	2 あまり必要と感じていない	1 まったく必要と感じていない	回答平均	全体平均
①基礎的なレベルでの外国語運用能力(読解・会話・表現)	131	20	28	44	24	15	3.11	3.36
②発展的・応用的なレベルでの日本語運用能力(正確な読解・論理的な表現・的確な議論)	131	57	47	21	2	4	4.15	4.29
③人間・社会・自然環境に関する幅広い知識・知見	131	63	44	15	7	2	4.21	4.22
④人間・社会・自然環境に関する問題を見だし、課題を設定する意欲	131	46	54	20	7	4	4.00	4.03
⑤人文諸科学の幅広い知識を用いて、人間・社会・自然環境の諸相を分析する力	131	32	49	31	11	8	3.66	3.73
⑥自己や他者を理解し、さまざまな問題解決に主体的に取り組む力	131	77	39	7	6	2	4.40	4.48
⑦卒業後も学んでいきたいという意欲	131	54	49	15	7	6	4.05	4.22
⑧ICTを活用しながら文献・資料・データを収集・分析する力	131	55	43	19	9	5	4.02	3.95
⑨プレゼンテーションの技術や能力	131	56	38	15	15	7	3.92	3.95
⑩意見や立場の違いを理解・尊重しながら組織やチームを動かす力	131	73	44	7	4	3	4.37	4.41

社会学部の回答平均と全体平均の比較



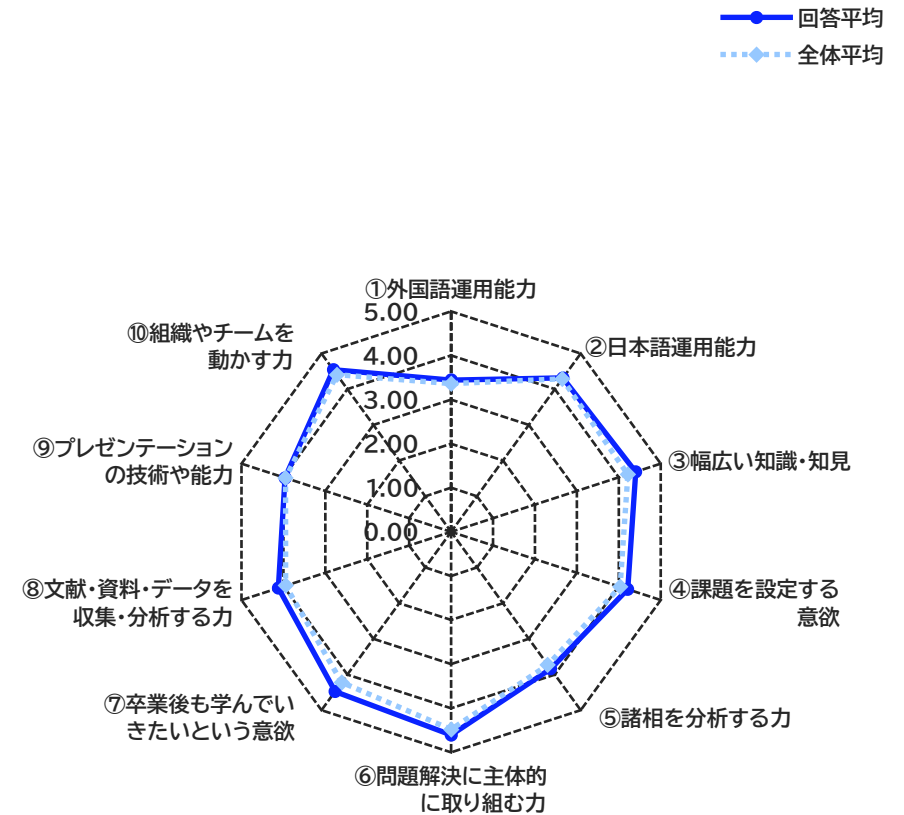
社会学部では「⑧文献・資料・データを収集・分析する力」を必要と感じる割合が大学全体と比較してやや高い一方で、残りの項目では必要と感じる割合が大学全体と比較してやや低め～低い傾向にあり、社会学部を卒業した学生が必要と感じる力が質問項目と合致しない可能性も考えられる。

● 教育学部

	回答者数	5 とても必要と感じた	4 やや必要と感じた	3 どちらともいえない	2 あまり必要と感じていない	1 まったく必要と感じていない	回答平均	全体平均
①基礎的なレベルでの外国語運用能力(読解・会話・表現)	99	13	40	27	16	3	3.44	3.36
②発展的・応用的なレベルでの日本語運用能力(正確な読解・論理的な表現・的確な議論)	99	50	37	6	5	1	4.31	4.29
③人間・社会・自然環境に関する幅広い知識・知見	99	48	43	8	0	0	4.40	4.22
④人間・社会・自然環境に関する問題を見だし、課題を設定する意欲	99	42	41	11	5	0	4.21	4.03
⑤人文諸科学の幅広い知識を用いて、人間・社会・自然環境の諸相を分析する力	99	26	42	21	9	1	3.84	3.73
⑥自己や他者を理解し、さまざまな問題解決に主体的に取り組む力	99	67	25	7	0	0	4.61	4.48
⑦卒業後も学んでいきたいという意欲	99	60	30	6	2	1	4.47	4.22
⑧ICTを活用しながら文献・資料・データを収集・分析する力	99	44	35	10	8	2	4.12	3.95
⑨プレゼンテーションの技術や能力	99	32	43	14	8	2	3.96	3.95
⑩意見や立場の違いを理解・尊重しながら組織やチームを動かす力	99	63	31	2	2	1	4.55	4.41

教育学部では「⑦卒業後も学んでいきたいという意欲」を筆頭にすべての項目で必要と感じる割合が大学全体よりも高く、卒業生の7割以上を占める教員・保育士に求められる力が質問項目と合致する傾向にあると読み取れる。

教育学部の回答平均と全体平均の比較

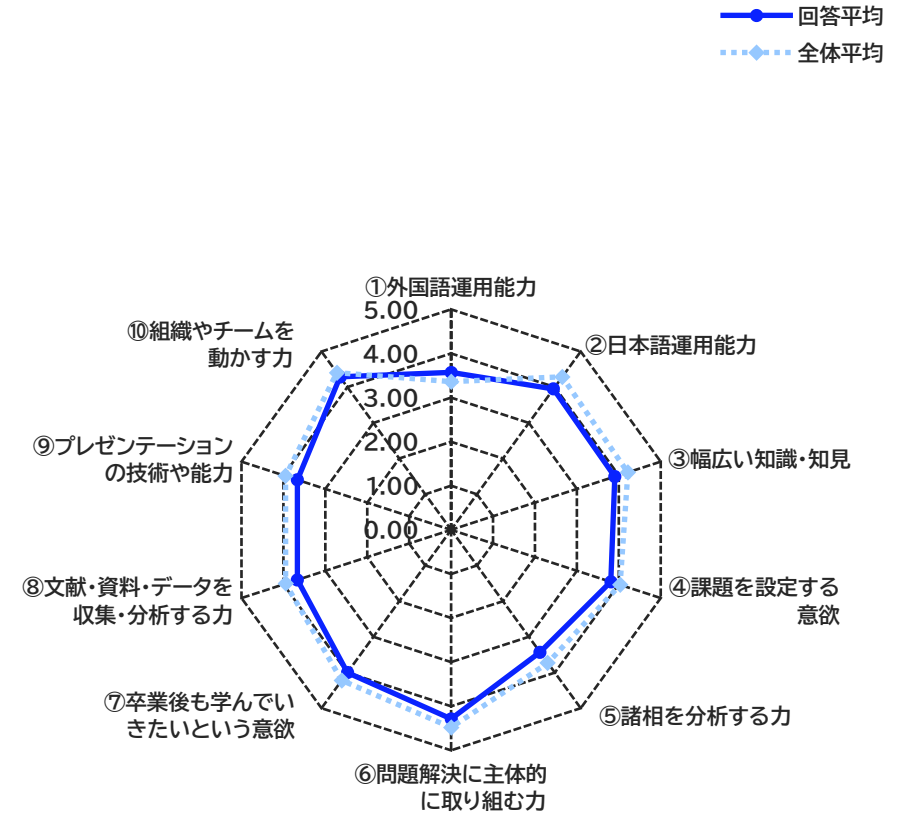


● 国際学部

	回答者数	5 とても必要と感じた	4 やや必要と感じた	3 どちらともいえない	2 あまり必要と感じていない	1 まったく必要と感じていない	回答平均	全体平均
①基礎的なレベルでの外国語運用能力(読解・会話・表現)	21	4	9	3	5	0	3.57	3.36
②発展的・応用的なレベルでの日本語運用能力(正確な読解・論理的な表現・的確な議論)	21	9	6	2	4	0	3.95	4.29
③人間・社会・自然環境に関する幅広い知識・知見	21	5	11	3	2	0	3.90	4.22
④人間・社会・自然環境に関する問題を見だし、課題を設定する意欲	21	7	7	5	0	2	3.81	4.03
⑤人文諸科学の幅広い知識を用いて、人間・社会・自然環境の諸相を分析する力	21	4	8	5	1	3	3.43	3.73
⑥自己や他者を理解し、さまざまな問題解決に主体的に取り組む力	21	11	7	2	0	1	4.29	4.48
⑦卒業後も学んでいきたいという意欲	21	7	9	4	0	1	4.00	4.22
⑧ICTを活用しながら文献・資料・データを収集・分析する力	21	4	8	7	2	0	3.67	3.95
⑨プレゼンテーションの技術や能力	21	5	9	3	3	1	3.67	3.95
⑩意見や立場の違いを理解・尊重しながら組織やチームを動かす力	21	10	8	2	1	0	4.29	4.41

国際学部は2021年度新設につき回答した卒業生は全員2025年3月卒である。「①外国語運用能力」が必要と感じる割合が大学全体より高い一方、残りの項目では必要と感じる割合が大学全体と比較して低い傾向にあり、国際学部を卒業した学生が必要と感じる力が質問項目と合致しない可能性のほか、卒業から日が浅いことで力が必要と感じる場面に遭遇する機会が少ないことも考えられる。

国際学部の回答平均と全体平均の比較

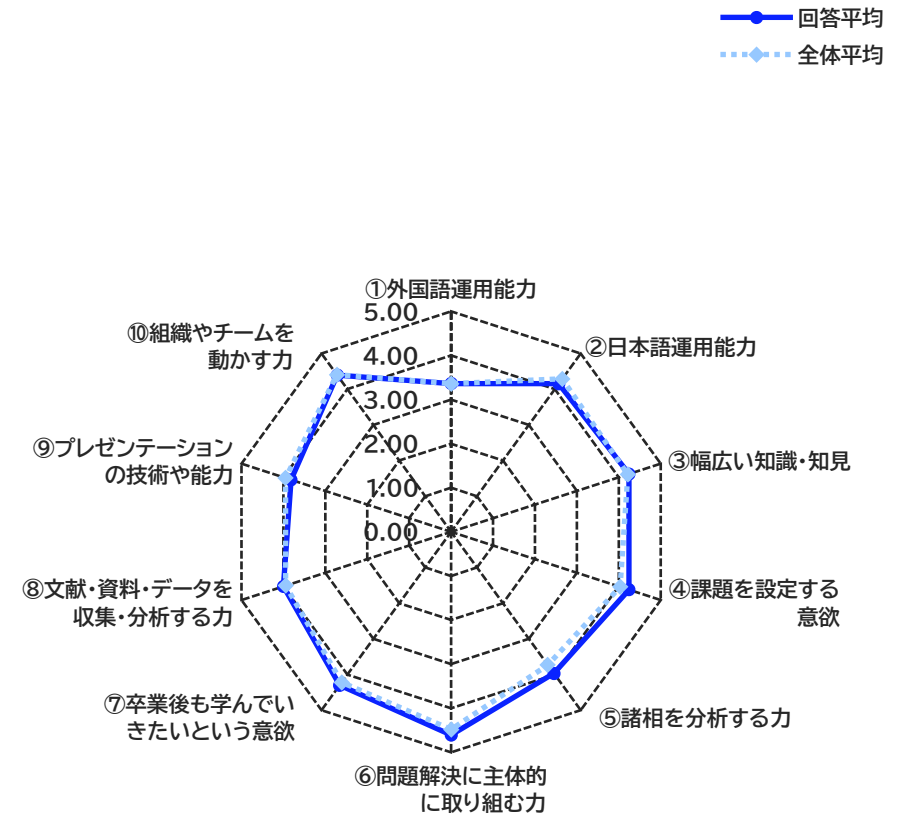


I. 社会に出て必要と感じた力

下記の力がどの程度必要と感じたかを学科・コース別に比較・検討する。
真宗学科

	回答者数	5 とても必要と感じた	4 やや必要と感じた	3 どちらともいえない	2 あまり必要と感じていない	1 まったく必要と感じていない	回答平均	全体平均
①基礎的なレベルでの外国語運用能力(読解・会話・表現)	33	9	8	5	8	3	3.36	3.36
②発展的・応用的なレベルでの日本語運用能力(正確な読解・論理的な表現・的確な議論)	33	15	10	6	2	0	4.15	4.29
③人間・社会・自然環境に関する幅広い知識・知見	33	17	10	4	1	1	4.24	4.22
④人間・社会・自然環境に関する問題を見だし、課題を設定する意欲	33	17	9	5	2	0	4.24	4.03
⑤人文諸科学の幅広い知識を用いて、人間・社会・自然環境の諸相を分析する力	33	14	8	8	2	1	3.97	3.73
⑥自己や他者を理解し、さまざまな問題解決に主体的に取り組む力	33	22	9	2	0	0	4.61	4.48
⑦卒業後も学んでいきたいという意欲	33	19	8	4	1	1	4.30	4.22
⑧ICTを活用しながら文献・資料・データを収集・分析する力	33	13	10	8	1	1	4.00	3.95
⑨プレゼンテーションの技術や能力	33	13	9	6	2	3	3.82	3.95
⑩意見や立場の違いを理解・尊重しながら組織やチームを動かす力	33	20	8	4	0	1	4.39	4.41

真宗学科の回答平均と全体平均の比較



※ 回答平均点…各設問の全体平均点を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記

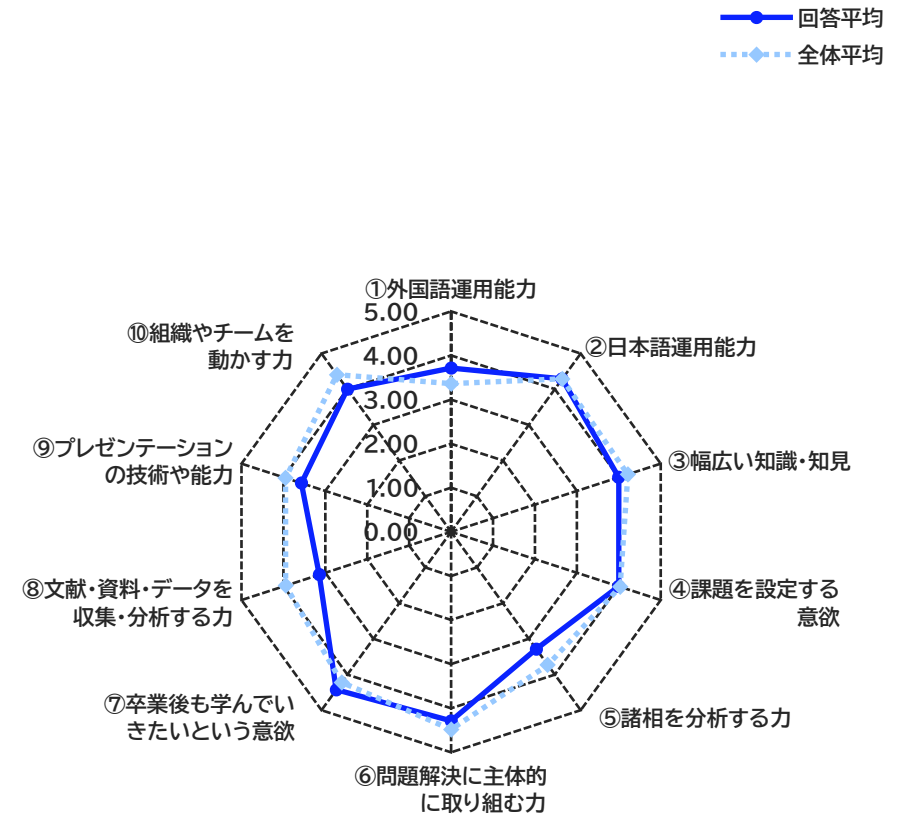
真宗学科ではすべての設問で全体平均点の±0.30ポイント以内に収まっており、「④課題を設定する意欲」「⑤諸相を分析する力」は他学科よりも必要と感じる割合がやや高い傾向にある。

仏教学科

	回答者数	5 とても必要と感じた	4 やや必要と感じた	3 どちらともいえない	2 あまり必要と感じていない	1 まったく必要と感じていない	回答平均	全体平均
①基礎的なレベルでの外国語運用能力(読解・会話・表現)	7	2	2	2	1	0	3.71	3.36
②発展的・応用的なレベルでの日本語運用能力(正確な読解・論理的な表現・的確な議論)	7	3	3	1	0	0	4.29	4.29
③人間・社会・自然環境に関する幅広い知識・知見	7	3	2	1	1	0	4.00	4.22
④人間・社会・自然環境に関する問題を見だし、課題を設定する意欲	7	3	2	1	1	0	4.00	4.03
⑤人文諸科学の幅広い知識を用いて、人間・社会・自然環境の諸相を分析する力	7	1	2	2	2	0	3.29	3.73
⑥自己や他者を理解し、さまざまな問題解決に主体的に取り組む力	7	3	3	1	0	0	4.29	4.48
⑦卒業後も学んでいきたいという意欲	7	3	4	0	0	0	4.43	4.22
⑧ICTを活用しながら文献・資料・データを収集・分析する力	7	2	1	1	2	1	3.14	3.95
⑨プレゼンテーションの技術や能力	7	0	5	1	1	0	3.57	3.95
⑩意見や立場の違いを理解・尊重しながら組織やチームを動かす力	7	3	2	1	1	0	4.00	4.41

※ 回答平均点…各設問の全体平均点を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記
 「①外国語運用能力」が他学科よりも必要と感じる割合が高かった一方、⑤・⑧・⑨・⑩の各設問では必要と感じる割合が低くなった。ただし、仏教学科は他学科と比較して母数となる卒業生数が少なく今回の回答者数も10名未満であったことも留意する必要がある。

仏教学科の回答平均と全体平均の比較



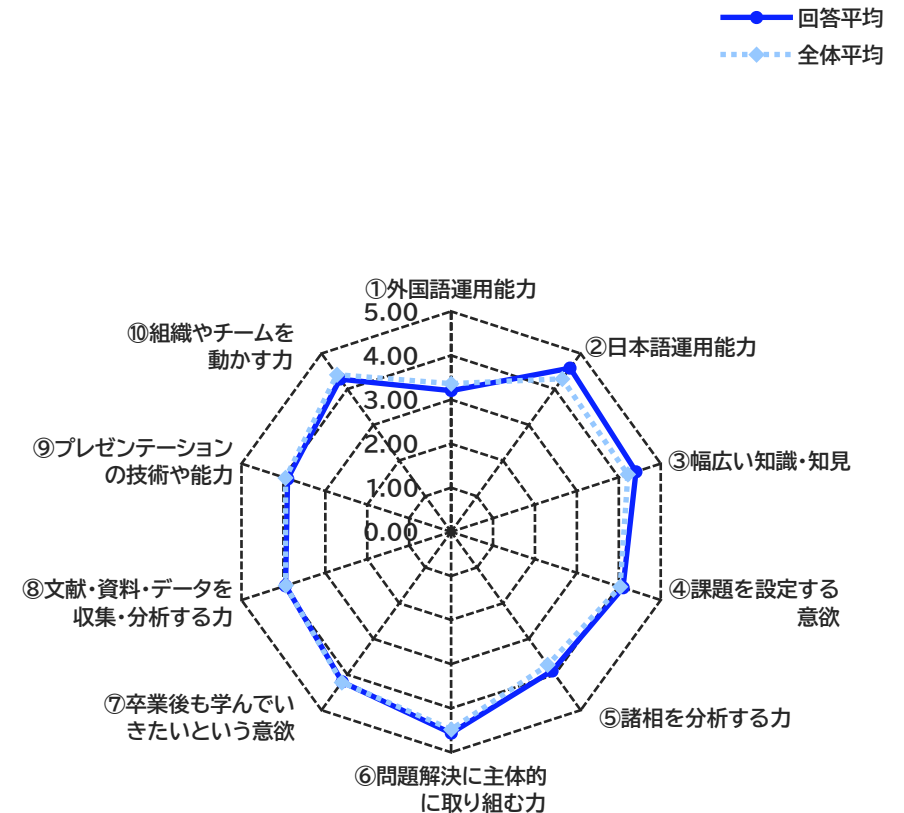
哲学科

	回答者数	5 とても必要と感じた	4 やや必要と感じた	3 どちらともいえない	2 あまり必要と感じていない	1 まったく必要と感じていない	回答平均	全体平均
①基礎的なレベルでの外国語運用能力(読解・会話・表現)	39	5	11	11	11	1	3.21	3.36
②発展的・応用的なレベルでの日本語運用能力(正確な読解・論理的な表現・的確な議論)	39	24	14	1	0	0	4.59	4.29
③人間・社会・自然環境に関する幅広い知識・知見	39	24	8	6	1	0	4.41	4.22
④人間・社会・自然環境に関する問題を見だし、課題を設定する意欲	39	19	9	7	4	0	4.10	4.03
⑤人文諸科学の幅広い知識を用いて、人間・社会・自然環境の諸相を分析する力	39	12	16	6	5	0	3.90	3.73
⑥自己や他者を理解し、さまざまな問題解決に主体的に取り組む力	39	25	11	3	0	0	4.56	4.48
⑦卒業後も学んでいきたいという意欲	39	19	10	9	1	0	4.21	4.22
⑧ICTを活用しながら文献・資料・データを収集・分析する力	39	9	20	9	1	0	3.95	3.95
⑨プレゼンテーションの技術や能力	39	12	16	6	5	0	3.90	3.95
⑩意見や立場の違いを理解・尊重しながら組織やチームを動かす力	39	22	9	5	3	0	4.28	4.41

※ 回答平均点…各設問の全体平均点を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記

哲学科では「②日本語運用能力」が必要と感じた割合が他学科よりも高く、回答平均点も全体平均点を基準に0.30ポイント上回っている。一方、「①外国語運用能力」は必要と感じた割合が他学科よりもやや低く、日本語と外国語で異なる傾向が現れている。

哲学科の回答平均と全体平均の比較



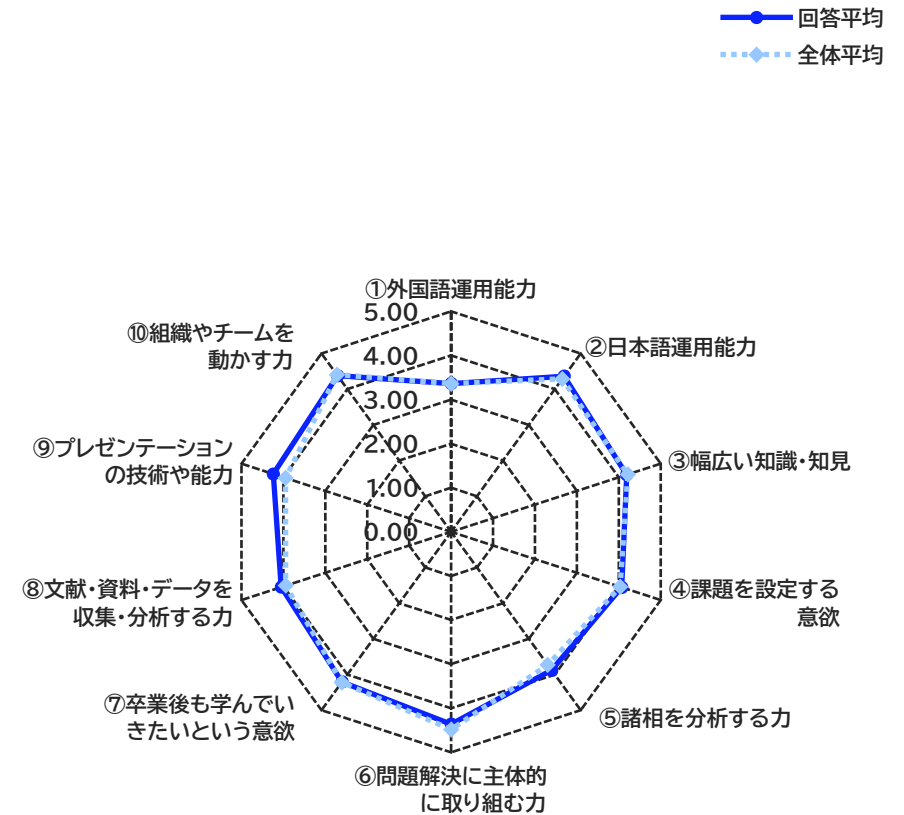
歴史学科

	回答者数	5 とても必要と感じた	4 やや必要と感じた	3 どちらともいえない	2 あまり必要と感じていない	1 まったく必要と感じていない	回答平均	全体平均
①基礎的なレベルでの外国語運用能力(読解・会話・表現)	58	13	16	12	13	4	3.36	3.36
②発展的・応用的なレベルでの日本語運用能力(正確な読解・論理的な表現・的確な議論)	58	32	18	5	3	0	4.36	4.29
③人間・社会・自然環境に関する幅広い知識・知見	58	24	24	7	3	0	4.19	4.22
④人間・社会・自然環境に関する問題を見だし、課題を設定する意欲	58	22	23	9	3	1	4.07	4.03
⑤人文諸科学の幅広い知識を用いて、人間・社会・自然環境の諸相を分析する力	58	20	21	9	6	2	3.88	3.73
⑥自己や他者を理解し、さまざまな問題解決に主体的に取り組む力	58	30	22	4	1	1	4.36	4.48
⑦卒業後も学んでいきたいという意欲	58	27	22	4	4	1	4.21	4.22
⑧ICTを活用しながら文献・資料・データを収集・分析する力	58	20	24	11	3	0	4.05	3.95
⑨プレゼンテーションの技術や能力	58	30	16	8	4	0	4.24	3.95
⑩意見や立場の違いを理解・尊重しながら組織やチームを動かす力	58	33	15	9	1	0	4.38	4.41

※ 回答平均点…各設問の全体平均点を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記

歴史学科ではすべての設問で全体平均点の±0.30ポイント以内に収まっているが、「⑨プレゼンテーションの技術や能力」を必要と感じる割合が他学科と比較して0.29ポイント高く、次いで「⑤諸相を分析する力」も必要と感じる割合がやや高い傾向にある。

歴史学科の回答平均と全体平均の比較

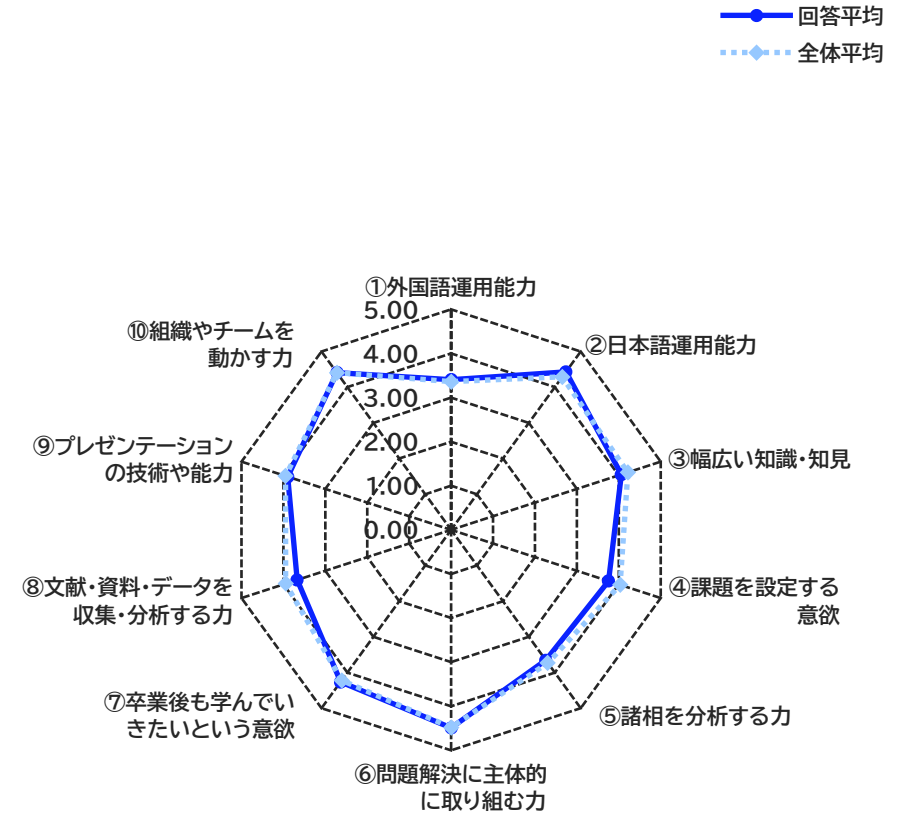


文学科

	回答者数	5 とても必要と感じた	4 やや必要と感じた	3 どちらともいえない	2 あまり必要と感じていない	1 まったく必要と感じていない	回答平均	全体平均
①基礎的なレベルでの外国語運用能力(読解・会話・表現)	49	9	15	14	9	2	3.41	3.36
②発展的・応用的なレベルでの日本語運用能力(正確な読解・論理的な表現・的確な議論)	49	28	15	5	1	0	4.43	4.29
③人間・社会・自然環境に関する幅広い知識・知見	49	17	21	8	3	0	4.06	4.22
④人間・社会・自然環境に関する問題を見だし、課題を設定する意欲	49	13	18	11	7	0	3.76	4.03
⑤人文諸科学の幅広い知識を用いて、人間・社会・自然環境の諸相を分析する力	49	8	23	12	5	1	3.65	3.73
⑥自己や他者を理解し、さまざまな問題解決に主体的に取り組む力	49	29	15	5	0	0	4.49	4.48
⑦卒業後も学んでいきたいという意欲	49	21	20	8	0	0	4.27	4.22
⑧ICTを活用しながら文献・資料・データを収集・分析する力	49	15	10	19	3	2	3.67	3.95
⑨プレゼンテーションの技術や能力	49	15	19	10	5	0	3.90	3.95
⑩意見や立場の違いを理解・尊重しながら組織やチームを動かす力	49	26	18	4	1	0	4.41	4.41

※ 回答平均点…各設問の全体平均点を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記
 文学科ではすべての設問で全体平均点の±0.30ポイント以内に収まっているが、「④課題を設定する意欲」「⑧文献・資料・データを収集・分析する力」を必要と感じる割合が他学科と比較して低い傾向がみられる。

文学科の回答平均と全体平均の比較



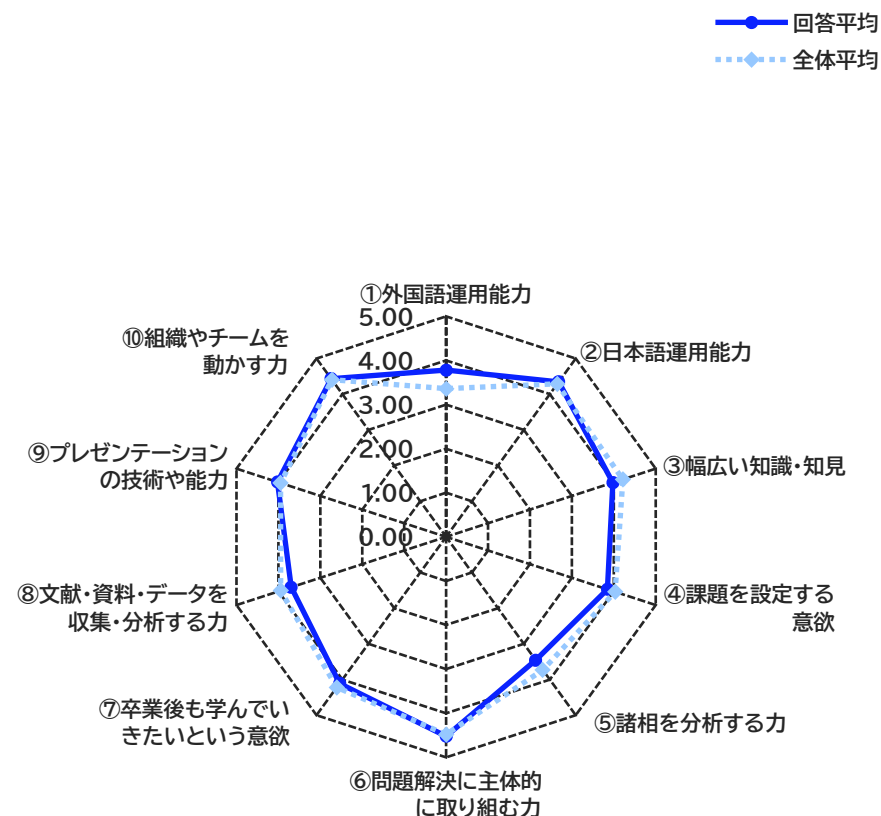
文学部 国際文化学科

	回答者数	5 とても必要と感じた	4 やや必要と感じた	3 どちらともいえない	2 あまり必要と感じていない	1 まったく必要と感じていない	回答平均	全体平均
①基礎的なレベルでの外国語運用能力(読解・会話・表現)	46	13	18	8	6	1	3.78	3.36
②発展的・応用的なレベルでの日本語運用能力(正確な読解・論理的な表現・的確な議論)	46	22	18	6	0	0	4.35	4.29
③人間・社会・自然環境に関する幅広い知識・知見	46	19	15	6	4	2	3.98	4.22
④人間・社会・自然環境に関する問題を見だし、課題を設定する意欲	46	14	16	11	5	0	3.85	4.03
⑤人文諸科学の幅広い知識を用いて、人間・社会・自然環境の諸相を分析する力	46	6	20	11	7	2	3.46	3.73
⑥自己や他者を理解し、さまざまな問題解決に主体的に取り組む力	46	28	15	2	1	0	4.52	4.48
⑦卒業後も学んでいきたいという意欲	46	18	19	6	2	1	4.11	4.22
⑧ICTを活用しながら文献・資料・データを収集・分析する力	46	13	15	11	5	2	3.70	3.95
⑨プレゼンテーションの技術や能力	46	19	15	7	4	1	4.02	3.95
⑩意見や立場の違いを理解・尊重しながら組織やチームを動かす力	46	25	17	3	1	0	4.43	4.41

※ 回答平均点…各設問の全体平均点を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記

文学部 国際文化学科は2020年度入学生をもって募集停止となっている。国際志向の強さから「①外国語運用能力」を必要と感じる割合が他学科と比較して多くみられる一方、③・⑤・⑧の各項目では必要と感じる割合が低い傾向にあり、必要と感じる力の特性が強く現れている。

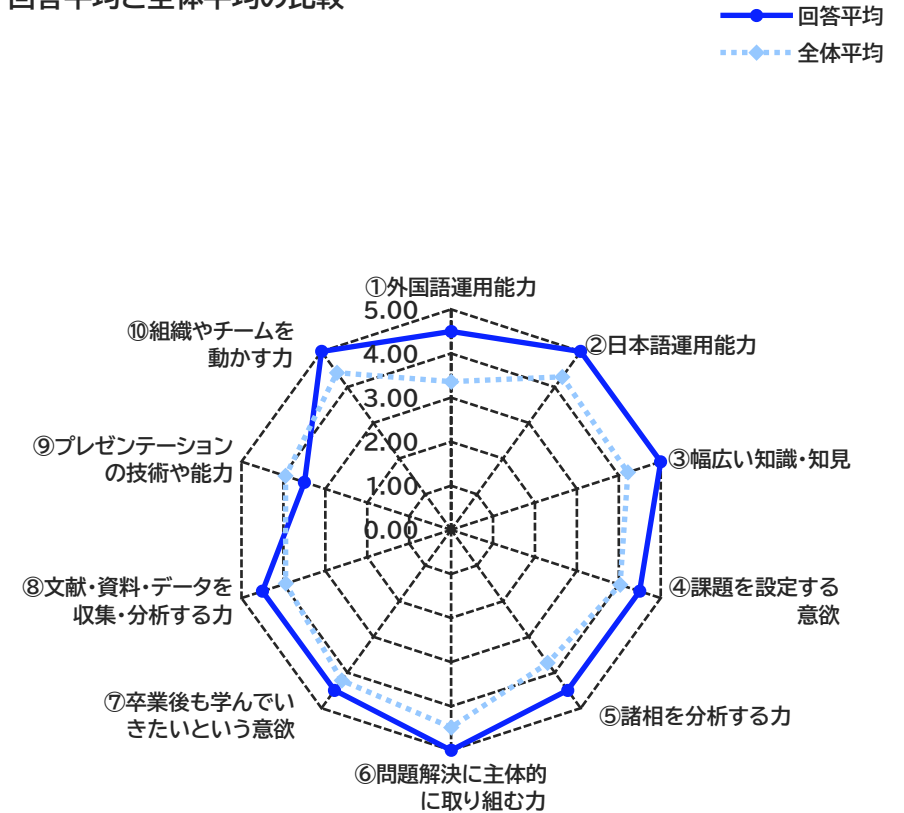
文学部 国際文化学科の回答平均と全体平均の比較



文学部 社会学科/人文情報学科/教育・心理学科

	回答者数	5 とても必要と感じた	4 やや必要と感じた	3 どちらともいえない	2 あまり必要と感じていない	1 まったく必要と感じていない	回答平均	全体平均
①基礎的なレベルでの外国語運用能力(読解・会話・表現)	2	1	1	0	0	0	4.50	3.36
②発展的・応用的なレベルでの日本語運用能力(正確な読解・論理的な表現・的確な議論)	2	2	0	0	0	0	5.00	4.29
③人間・社会・自然環境に関する幅広い知識・知見	2	2	0	0	0	0	5.00	4.22
④人間・社会・自然環境に関する問題を見だし、課題を設定する意欲	2	1	1	0	0	0	4.50	4.03
⑤人文諸科学の幅広い知識を用いて、人間・社会・自然環境の諸相を分析する力	2	1	1	0	0	0	4.50	3.73
⑥自己や他者を理解し、さまざまな問題解決に主体的に取り組む力	2	2	0	0	0	0	5.00	4.48
⑦卒業後も学んでいきたいという意欲	2	1	1	0	0	0	4.50	4.22
⑧ICTを活用しながら文献・資料・データを収集・分析する力	2	1	1	0	0	0	4.50	3.95
⑨プレゼンテーションの技術や能力	2	0	1	1	0	0	3.50	3.95
⑩意見や立場の違いを理解・尊重しながら組織やチームを動かす力	2	2	0	0	0	0	5.00	4.41

文学部 社会学科/人文情報学科/教育・心理学科の回答平均と全体平均の比較



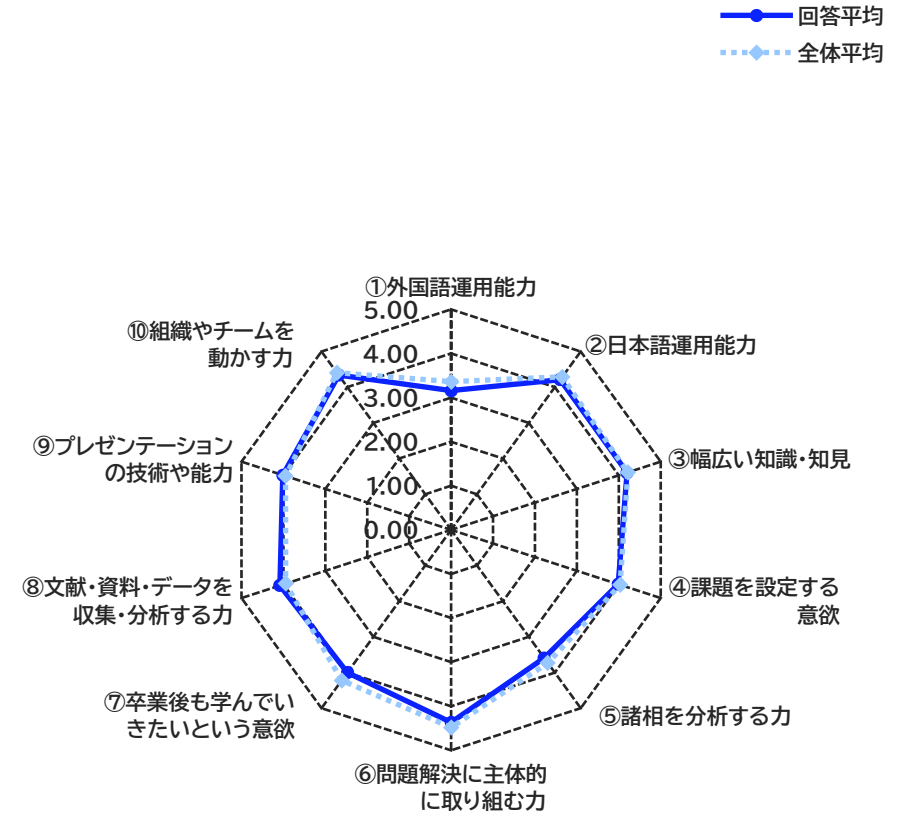
※ 回答平均点…各設問の全体平均点を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記
 文学部 社会学科/人文情報学科/教育・心理学科はいずれも学部再編に伴い2017年度を最後に募集が停止されたため、2022年度以降の在籍者がきわめて少ないことから、3学科を1つの区分にまとめて集計を実施している。

現代社会学科

	回答者数	5 とても必要と感じた	4 やや必要と感じた	3 どちらともいえない	2 あまり必要と感じていない	1 まったく必要と感じていない	回答平均	全体平均
①基礎的なレベルでの外国語運用能力(読解・会話・表現)	71	15	14	19	13	10	3.15	3.36
②発展的・応用的なレベルでの日本語運用能力(正確な読解・論理的な表現・的確な議論)	71	32	25	12	1	1	4.21	4.29
③人間・社会・自然環境に関する幅広い知識・知見	71	33	25	8	4	1	4.20	4.22
④人間・社会・自然環境に関する問題を見だし、課題を設定する意欲	71	24	31	9	5	2	3.99	4.03
⑤人文諸科学の幅広い知識を用いて、人間・社会・自然環境の諸相を分析する力	71	19	21	19	7	5	3.59	3.73
⑥自己や他者を理解し、さまざまな問題解決に主体的に取り組む力	71	42	19	5	4	1	4.37	4.48
⑦卒業後も学んでいきたいという意欲	71	29	25	9	4	4	4.00	4.22
⑧ICTを活用しながら文献・資料・データを収集・分析する力	71	37	16	9	5	4	4.08	3.95
⑨プレゼンテーションの技術や能力	71	38	14	7	6	6	4.01	3.95
⑩意見や立場の違いを理解・尊重しながら組織やチームを動かす力	71	41	21	3	4	2	4.34	4.41

※ 回答平均点…各設問の全体平均点を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記
 現代社会学科では「⑧文献・資料・データを収集・分析する力」「⑨プレゼンテーションの技術や能力」を除き必要と感じる割合が大学平均を下回っているが、全回答者の約半数が文学部の学科であることや卒業学部によって必要と感じる力が異なる可能性にも留意する必要がある。

現代社会学科の回答平均と全体平均の比較

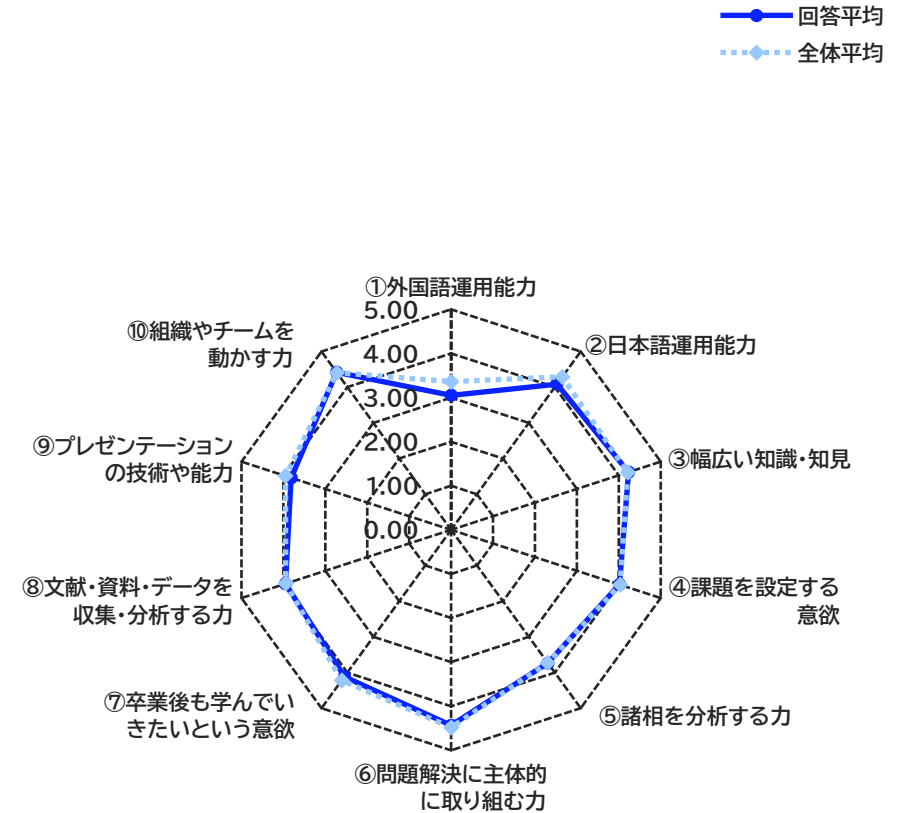


コミュニティデザイン学科

	回答者数	5 とても必要と感じた	4 やや必要と感じた	3 どちらともいえない	2 あまり必要と感じていない	1 まったく必要と感じていない	回答平均	全体平均
①基礎的なレベルでの外国語運用能力(読解・会話・表現)	60	5	14	25	11	5	3.05	3.36
②発展的・応用的なレベルでの日本語運用能力(正確な読解・論理的な表現・的確な議論)	60	25	22	9	1	3	4.08	4.29
③人間・社会・自然環境に関する幅広い知識・知見	60	30	19	7	3	1	4.23	4.22
④人間・社会・自然環境に関する問題を見だし、課題を設定する意欲	60	22	23	11	2	2	4.02	4.03
⑤人文諸科学の幅広い知識を用いて、人間・社会・自然環境の諸相を分析する力	60	13	28	12	4	3	3.73	3.73
⑥自己や他者を理解し、さまざまな問題解決に主体的に取り組む力	60	35	20	2	2	1	4.43	4.48
⑦卒業後も学んでいきたいという意欲	60	25	24	6	3	2	4.12	4.22
⑧ICTを活用しながら文献・資料・データを収集・分析する力	60	18	27	10	4	1	3.95	3.95
⑨プレゼンテーションの技術や能力	60	18	24	8	9	1	3.82	3.95
⑩意見や立場の違いを理解・尊重しながら組織やチームを動かす力	60	32	23	4	0	1	4.42	4.41

※ 回答平均点…各設問の全体平均点を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記
 コミュニティデザイン学科では「①外国語運用能力」を必要と感じる割合が大学全体と比較して0.31ポイント低く、「②日本語運用能力」とともに言語運用能力を必要と感じる割合が低いことが伺える。

コミュニティデザイン学科の回答平均と全体平均の比較

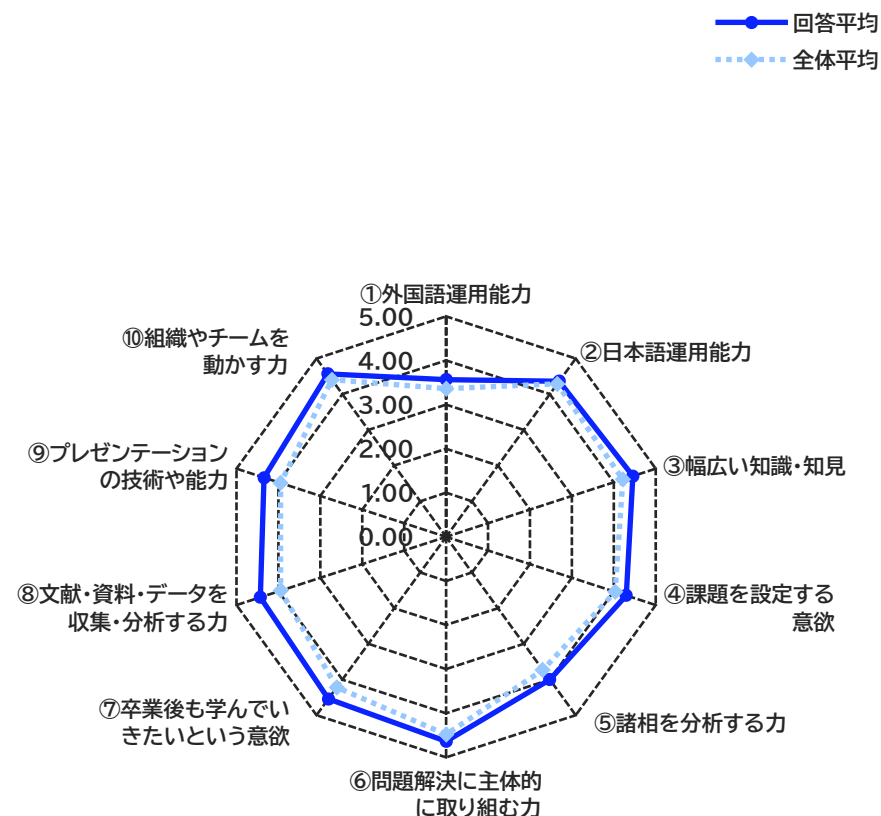


教育学科 初等教育コース

	回答者数	5 とても必要と感じた	4 やや必要と感じた	3 どちらともいえない	2 あまり必要と感じていない	1 まったく必要と感じていない	回答平均	全体平均
①基礎的なレベルでの外国語運用能力(読解・会話・表現)	44	9	16	12	5	2	3.57	3.36
②発展的・応用的なレベルでの日本語運用能力(正確な読解・論理的な表現・的確な議論)	44	24	15	3	1	1	4.36	4.29
③人間・社会・自然環境に関する幅広い知識・知見	44	23	18	3	0	0	4.45	4.22
④人間・社会・自然環境に関する問題を見だし、課題を設定する意欲	44	20	18	5	1	0	4.30	4.03
⑤人文諸科学の幅広い知識を用いて、人間・社会・自然環境の諸相を分析する力	44	12	20	12	0	0	4.00	3.73
⑥自己や他者を理解し、さまざまな問題解決に主体的に取り組む力	44	30	12	2	0	0	4.64	4.48
⑦卒業後も学んでいきたいという意欲	44	29	12	2	0	1	4.55	4.22
⑧ICTを活用しながら文献・資料・データを収集・分析する力	44	27	13	1	2	1	4.43	3.95
⑨プレゼンテーションの技術や能力	44	23	17	1	2	1	4.34	3.95
⑩意見や立場の違いを理解・尊重しながら組織やチームを動かす力	44	27	16	0	1	0	4.57	4.41

※ 回答平均点…各設問の全体平均点を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記
 教育学科 初等教育コースでは「⑧文献・資料・データを収集・分析する力」を筆頭にすべての設問において必要と感じる割合が大学平均を上回っており、卒業生の約8割を占める教員の仕事において各設問の力が求められることが推測される。

教育学科 初等教育コースの回答平均と全体平均の比較



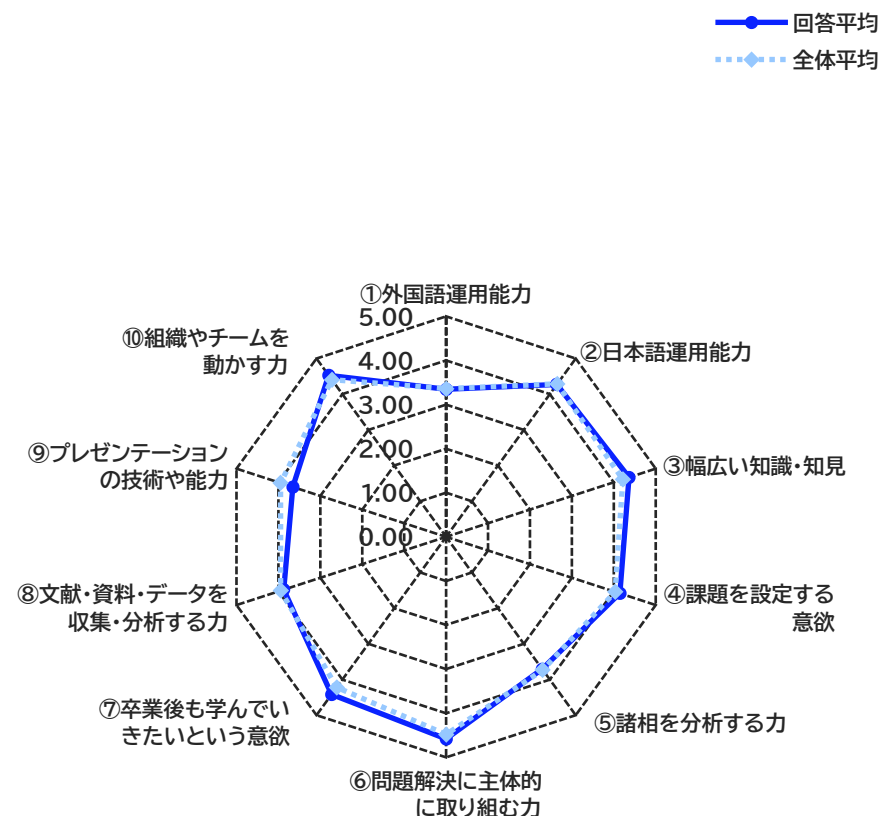
教育学科 幼児教育コース

	回答者数	5 とても必要と感じた	4 やや必要と感じた	3 どちらともいえない	2 あまり必要と感じていない	1 まったく必要と感じていない	回答平均	全体平均
①基礎的なレベルでの外国語運用能力(読解・会話・表現)	55	4	24	15	11	1	3.35	3.36
②発展的・応用的なレベルでの日本語運用能力(正確な読解・論理的な表現・的確な議論)	55	26	22	3	4	0	4.27	4.29
③人間・社会・自然環境に関する幅広い知識・知見	55	25	25	5	0	0	4.36	4.22
④人間・社会・自然環境に関する問題を見だし、課題を設定する意欲	55	22	23	6	4	0	4.15	4.03
⑤人文諸科学の幅広い知識を用いて、人間・社会・自然環境の諸相を分析する力	55	14	22	9	9	1	3.71	3.73
⑥自己や他者を理解し、さまざまな問題解決に主体的に取り組む力	55	37	13	5	0	0	4.58	4.48
⑦卒業後も学んでいきたいという意欲	55	31	18	4	2	0	4.42	4.22
⑧ICTを活用しながら文献・資料・データを収集・分析する力	55	17	22	9	6	1	3.87	3.95
⑨プレゼンテーションの技術や能力	55	9	26	13	6	1	3.65	3.95
⑩意見や立場の違いを理解・尊重しながら組織やチームを動かす力	55	36	15	2	1	1	4.53	4.41

※ 回答平均点…各設問の全体平均点を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記

教育学科 幼児教育コースでは「⑨プレゼンテーションの技術や能力」を必要と感じる割合が大学全体から大きく下回っているものの、就職先の7割以上を占める幼稚園教諭や保育士で積極的に求められる機会が少ないとみられ、コースの特性が大きく出ている。

教育学科 幼児教育コースの回答平均と全体平均の比較



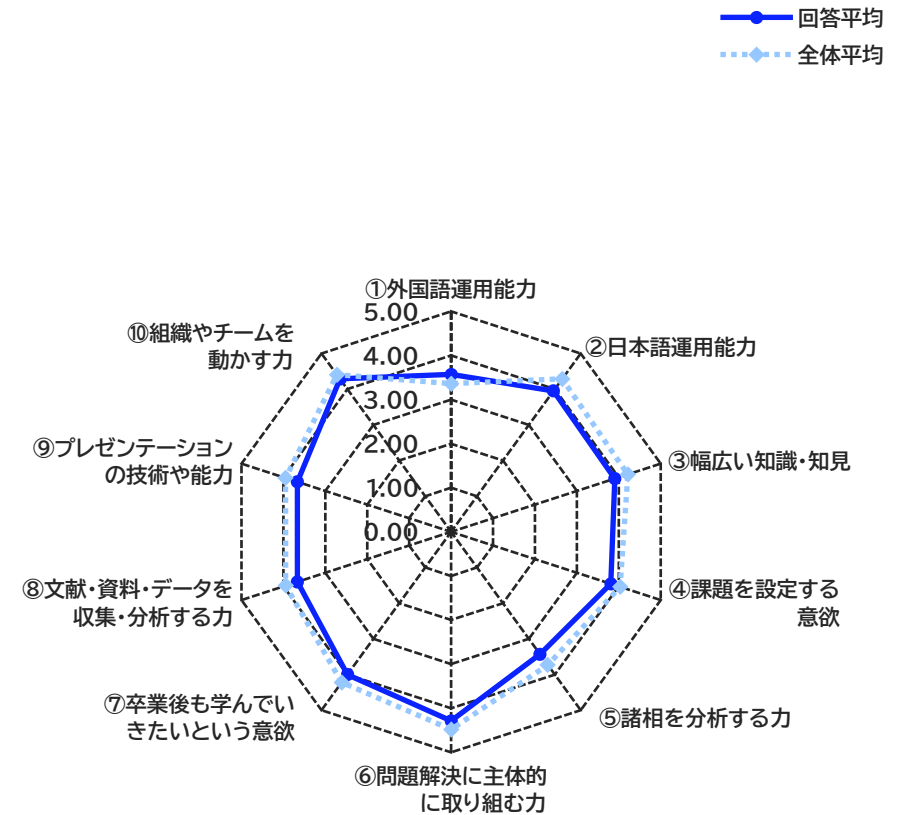
国際学部 国際文化学科

	回答者数	5 とても必要と感じた	4 やや必要と感じた	3 どちらともいえない	2 あまり必要と感じていない	1 まったく必要と感じていない	回答平均	全体平均
①基礎的なレベルでの外国語運用能力(読解・会話・表現)	21	4	9	3	5	0	3.57	3.36
②発展的・応用的なレベルでの日本語運用能力(正確な読解・論理的な表現・的確な議論)	21	9	6	2	4	0	3.95	4.29
③人間・社会・自然環境に関する幅広い知識・知見	21	5	11	3	2	0	3.90	4.22
④人間・社会・自然環境に関する問題を見だし、課題を設定する意欲	21	7	7	5	0	2	3.81	4.03
⑤人文諸科学の幅広い知識を用いて、人間・社会・自然環境の諸相を分析する力	21	4	8	5	1	3	3.43	3.73
⑥自己や他者を理解し、さまざまな問題解決に主体的に取り組む力	21	11	7	2	0	1	4.29	4.48
⑦卒業後も学んでいきたいという意欲	21	7	9	4	0	1	4.00	4.22
⑧ICTを活用しながら文献・資料・データを収集・分析する力	21	4	8	7	2	0	3.67	3.95
⑨プレゼンテーションの技術や能力	21	5	9	3	3	1	3.67	3.95
⑩意見や立場の違いを理解・尊重しながら組織やチームを動かす力	21	10	8	2	1	0	4.29	4.41

※ 回答平均点…各設問の全体平均点を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記

国際学部 国際文化学科は2021年度開設のため、回答者は全員2024年度卒である。力を必要と感じる割合は「①外国語運用能力」を除き大学全体を下回っており、②・③・⑤の各設問では全体平均点と比較して-0.30ポイント以下の回答平均点となっている。

国際学部 国際文化学科の回答平均と全体平均の比較



I. 社会に出て必要と感じた力

社会に出て必要と感じた力を全体と年度別・学科別に比較・検討する。

Q6：①基礎的なレベルでの外国語運用能力(読解・会話・表現)

	回答者数	5 とても必要と感じた	4 やや必要と感じた	3 どちらともいえない	2 あまり必要と感じていない	1 まったく必要と感じていない	回答平均
全体	485	89	148	126	93	29	3.36

卒業年度

2022年度	151	31	51	31	29	9	3.44
2023年度	170	32	47	47	36	8	3.35
2024年度	164	26	50	48	28	12	3.30

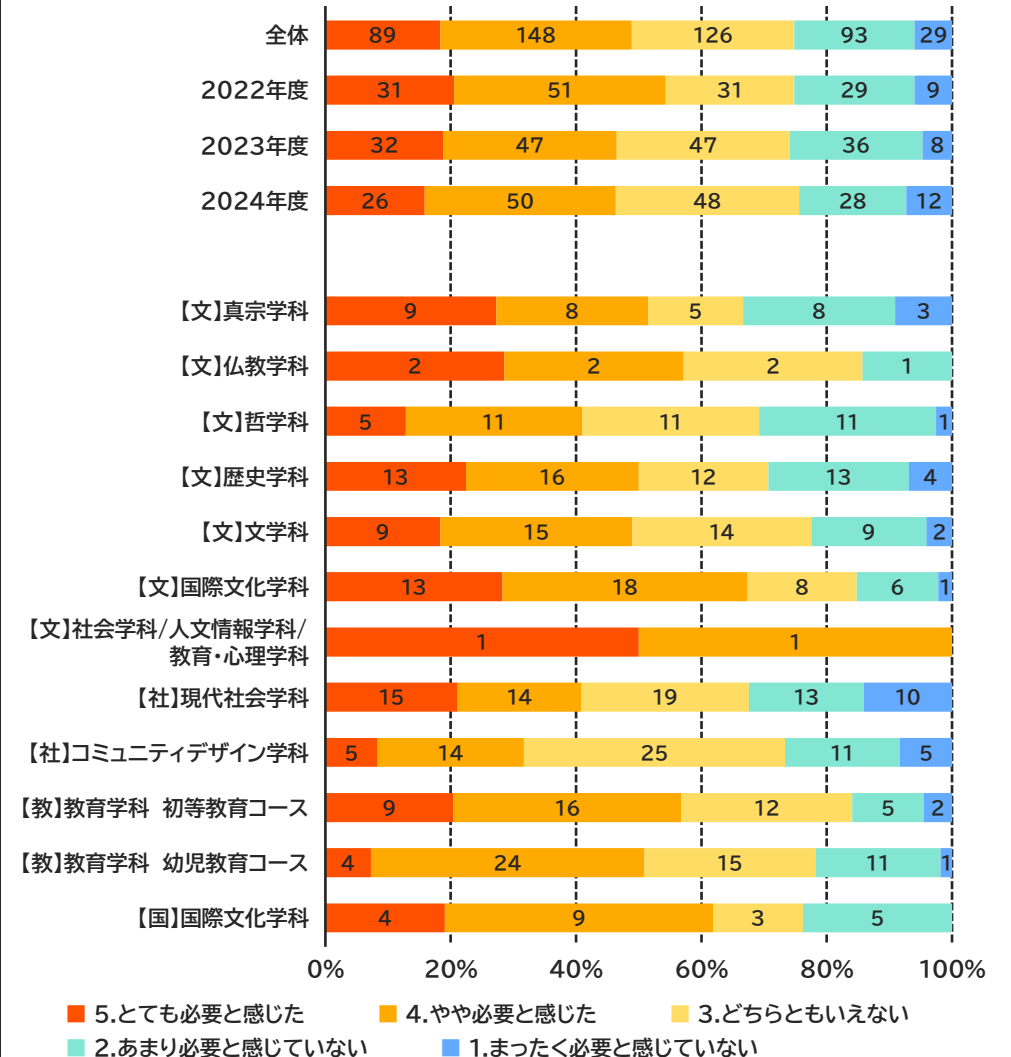
卒業学科

【文】真宗学科	33	9	8	5	8	3	3.36
【文】仏教学科	7	2	2	2	1	0	3.71
【文】哲学科	39	5	11	11	11	1	3.21
【文】歴史学科	58	13	16	12	13	4	3.36
【文】文学科	49	9	15	14	9	2	3.41
【文】国際文化学科	46	13	18	8	6	1	3.78
【文】社会学科/人文情報学科/教育・心理学科	2	1	1	0	0	0	4.50
【社】現代社会学科	71	15	14	19	13	10	3.15
【社】コミュニティデザイン学科	60	5	14	25	11	5	3.05
【教】教育学科 初等教育コース	44	9	16	12	5	2	3.57
【教】教育学科 幼児教育コース	55	4	24	15	11	1	3.35
【国】国際文化学科	21	4	9	3	5	0	3.57

※ 回答平均点…全体を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記

外国語運用能力は「【文】仏教学科」のほか、国際志向の強い「【文】国際文化学科」・「【国】国際文化学科」や教育現場で英語を児童に教える機会を有することが多い「【教】教育学科 初等教育コース」で必要と感じる割合が高くなる傾向がみられる。一方、社会学部の両学科では外国語運用能力に対して積極的に必要と感じない割合が高く、特に「【社】コミュニティデザイン学科」で顕著となっている。

外国語運用能力



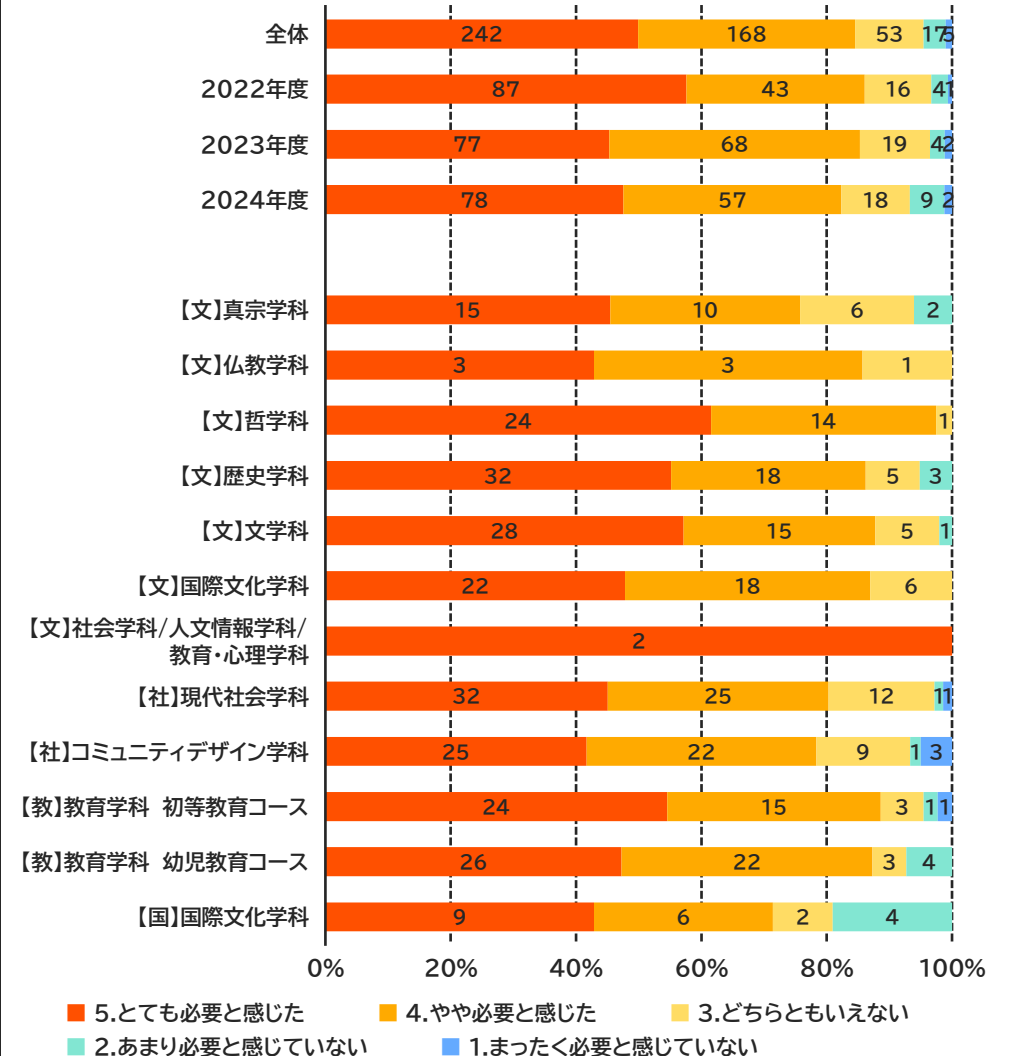
I. 社会に出て必要と感じた力

Q6：②発展的・応用的なレベルでの日本語運用能力(正確な読解・論理的な表現・的確な議論)

	回答者数	5 とても必要と感じた	4 やや必要と感じた	3 どちらともいえない	2 あまり必要と感じていない	1 まったく必要と感じていない	回答平均
全体	485	242	168	53	17	5	4.29
卒業年度							
2022年度	151	87	43	16	4	1	4.40
2023年度	170	77	68	19	4	2	4.26
2024年度	164	78	57	18	9	2	4.22
卒業学科							
【文】真宗学科	33	15	10	6	2	0	4.15
【文】仏教学科	7	3	3	1	0	0	4.29
【文】哲学科	39	24	14	1	0	0	4.59
【文】歴史学科	58	32	18	5	3	0	4.36
【文】文学科	49	28	15	5	1	0	4.43
【文】国際文化学科	46	22	18	6	0	0	4.35
【文】社会学科/人文情報学科/教育・心理学科	2	2	0	0	0	0	5.00
【社】現代社会学科	71	32	25	12	1	1	4.21
【社】コミュニティデザイン学科	60	25	22	9	1	3	4.08
【教】教育学科 初等教育コース	44	24	15	3	1	1	4.36
【教】教育学科 幼児教育コース	55	26	22	3	4	0	4.27
【国】国際文化学科	21	9	6	2	4	0	3.95

※ 回答平均点…全体を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青色で表記
 日本語運用能力は「【文】哲学科」で必要と感じる割合が特に高いほか、卒業年数を経過するにつれて積極的に必要と感じる割合が高くなる傾向にある。
 「【国】国際文化学科」では回答平均点が全体平均点と比べて0.34ポイント低くなっているが、回答者全員が2024年度卒であることも影響している可能性がある。

日本語運用能力



I. 社会に出て必要と感じた力

Q6 : ③人間・社会・自然環境に関する幅広い知識・知見

	回答者数	5 とても必要と感じた	4 やや必要と感じた	3 どちらともいえない	2 あまり必要と感じていない	1 まったく必要と感じていない	回答平均
全体	485	222	178	58	22	5	4.22

卒業年度

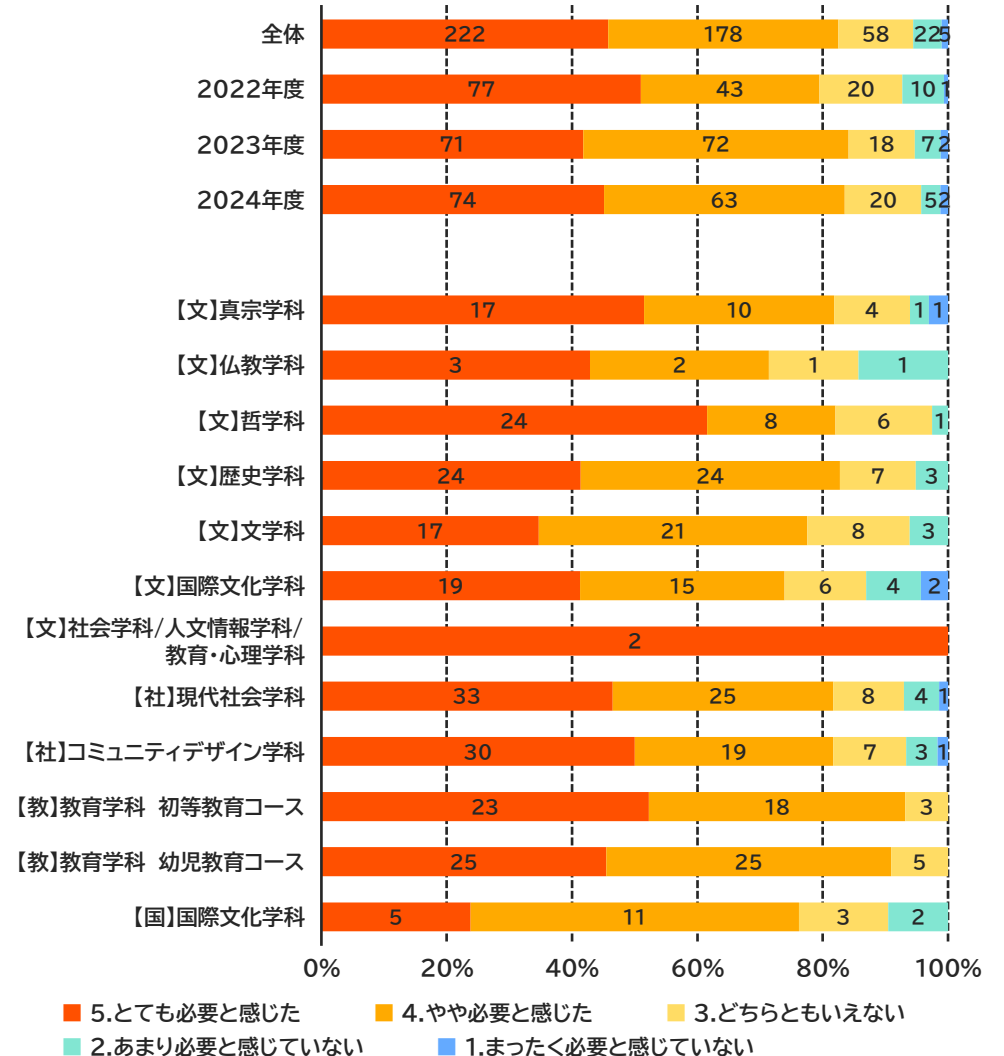
2022年度	151	77	43	20	10	1	4.23
2023年度	170	71	72	18	7	2	4.19
2024年度	164	74	63	20	5	2	4.23

卒業学科

【文】真宗学科	33	17	10	4	1	1	4.24
【文】仏教学科	7	3	2	1	1	0	4.00
【文】哲学科	39	24	8	6	1	0	4.41
【文】歴史学科	58	24	24	7	3	0	4.19
【文】文学科	49	17	21	8	3	0	4.06
【文】国際文化学科	46	19	15	6	4	2	3.98
【文】社会学科/人文情報学科/教育・心理学科	2	2	0	0	0	0	5.00
【社】現代社会学科	71	33	25	8	4	1	4.20
【社】コミュニティデザイン学科	60	30	19	7	3	1	4.23
【教】教育学科 初等教育コース	44	23	18	3	0	0	4.45
【教】教育学科 幼児教育コース	55	25	25	5	0	0	4.36
【国】国際文化学科	21	5	11	3	2	0	3.90

※ 回答平均点…全体を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記
 幅広い知識・知見は「【文】哲学科」「【教】教育学科 初等教育コース」で全体平均点を基準に+0.20ポイント台を記録している。
 一方、回答平均点が3点台となったのは「【文】国際文化学科」「【国】国際文化学科」で、社会に出た際に必要と感じる場面の多寡が回答平均点に反映されている可能性がある。

幅広い知識・知見



I. 社会に出て必要と感じた力

Q6：④人間・社会・自然環境に関する問題を見だし、課題を設定する意欲

	回答者数	5 とても必要と感じた	4 やや必要と感じた	3 どちらともいえない	2 あまり必要と感じていない	1 まったく必要と感じていない	回答平均
全体	485	184	180	80	34	7	4.03

卒業年度

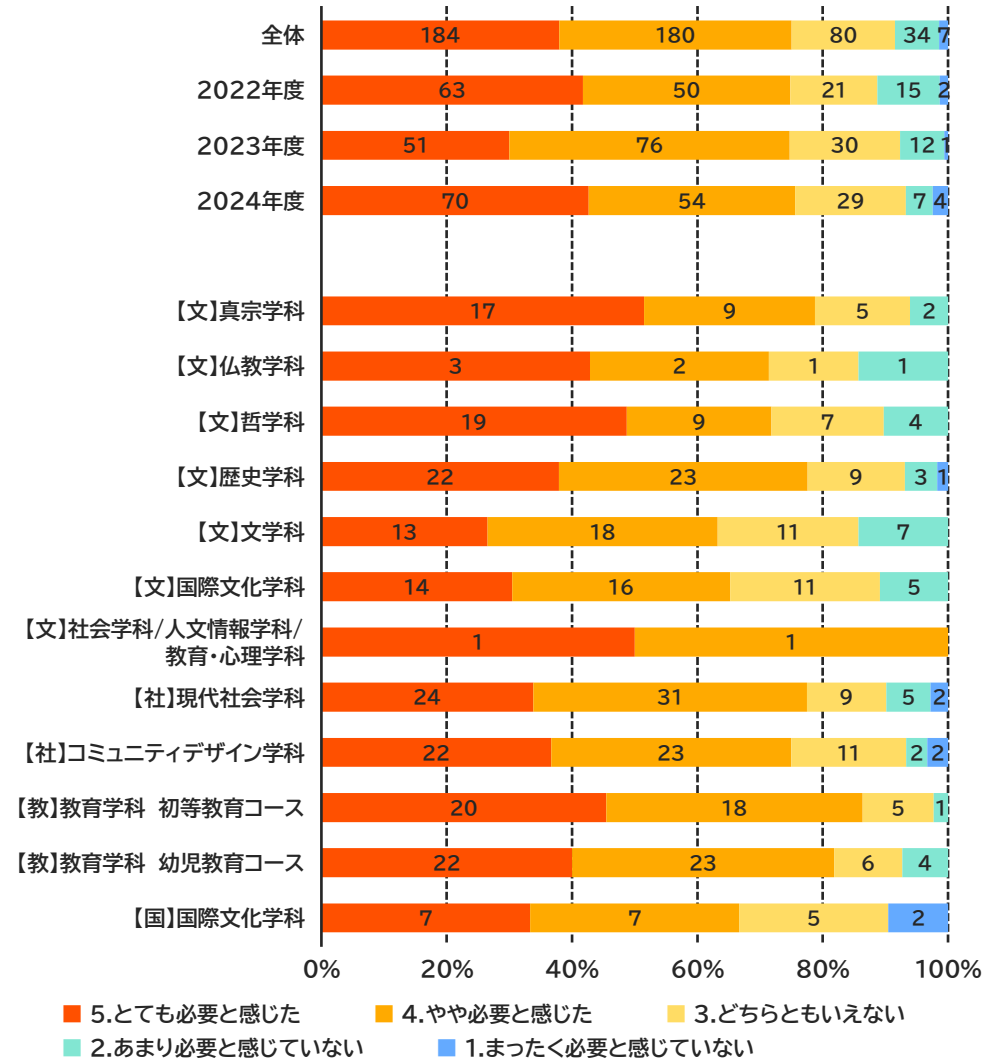
2022年度	151	63	50	21	15	2	4.04
2023年度	170	51	76	30	12	1	3.96
2024年度	164	70	54	29	7	4	4.09

卒業学科

【文】真宗学科	33	17	9	5	2	0	4.24
【文】仏教学科	7	3	2	1	1	0	4.00
【文】哲学科	39	19	9	7	4	0	4.10
【文】歴史学科	58	22	23	9	3	1	4.07
【文】文学科	49	13	18	11	7	0	3.76
【文】国際文化学科	46	14	16	11	5	0	3.85
【文】社会学科/人文情報学科/教育・心理学科	2	1	1	0	0	0	4.50
【社】現代社会学科	71	24	31	9	5	2	3.99
【社】コミュニティデザイン学科	60	22	23	11	2	2	4.02
【教】教育学科 初等教育コース	44	20	18	5	1	0	4.30
【教】教育学科 幼児教育コース	55	22	23	6	4	0	4.15
【国】国際文化学科	21	7	7	5	0	2	3.81

※ 回答平均点…全体を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記
 課題を設定する意欲は「【教】教育学科 初等教育コース」「【文】真宗学科」で必要と感じた割合がやや高い傾向にあり、大学全体でも7割強が「5 とても必要と感じた」「4 やや必要と感じた」と回答している。
 卒業年度別では大きな特徴はみられなかった。

課題を設定する意欲



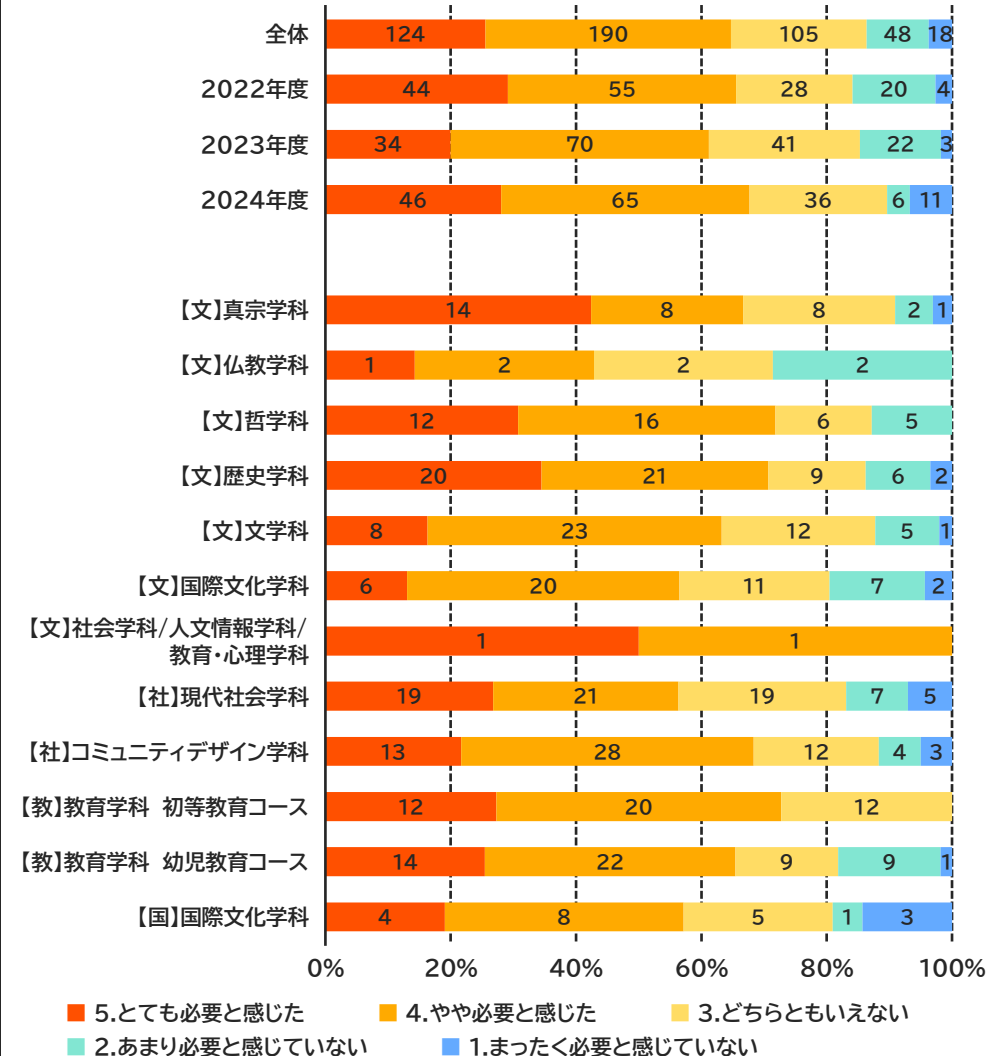
I. 社会に出て必要と感じた力

Q6 : ⑤人文諸科学の幅広い知識を用いて、人間・社会・自然環境の諸相を分析する力

	回答者数	5 とても必要と感じた	4 やや必要と感じた	3 どちらともいえない	2 あまり必要と感じていない	1 まったく必要と感じていない	回答平均
全体	485	124	190	105	48	18	3.73
卒業年度							
2022年度	151	44	55	28	20	4	3.76
2023年度	170	34	70	41	22	3	3.65
2024年度	164	46	65	36	6	11	3.79
卒業学科							
【文】真宗学科	33	14	8	8	2	1	3.97
【文】仏教学科	7	1	2	2	2	0	3.29
【文】哲学科	39	12	16	6	5	0	3.90
【文】歴史学科	58	20	21	9	6	2	3.88
【文】文学科	49	8	23	12	5	1	3.65
【文】国際文化学科	46	6	20	11	7	2	3.46
【文】社会学科/人文情報学科/教育・心理学科	2	1	1	0	0	0	4.50
【社】現代社会学科	71	19	21	19	7	5	3.59
【社】コミュニティデザイン学科	60	13	28	12	4	3	3.73
【教】教育学科 初等教育コース	44	12	20	12	0	0	4.00
【教】教育学科 幼児教育コース	55	14	22	9	9	1	3.71
【国】国際文化学科	21	4	8	5	1	3	3.43

※ 回答平均点…全体を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記
 諸相を分析する力は「【文】仏教学科」や国際系の学科で回答平均点が伸び悩む傾向にあり、これらの学科では卒業後に必要と感じる場面や機会が少ないものと考えられる。

諸相を分析する力

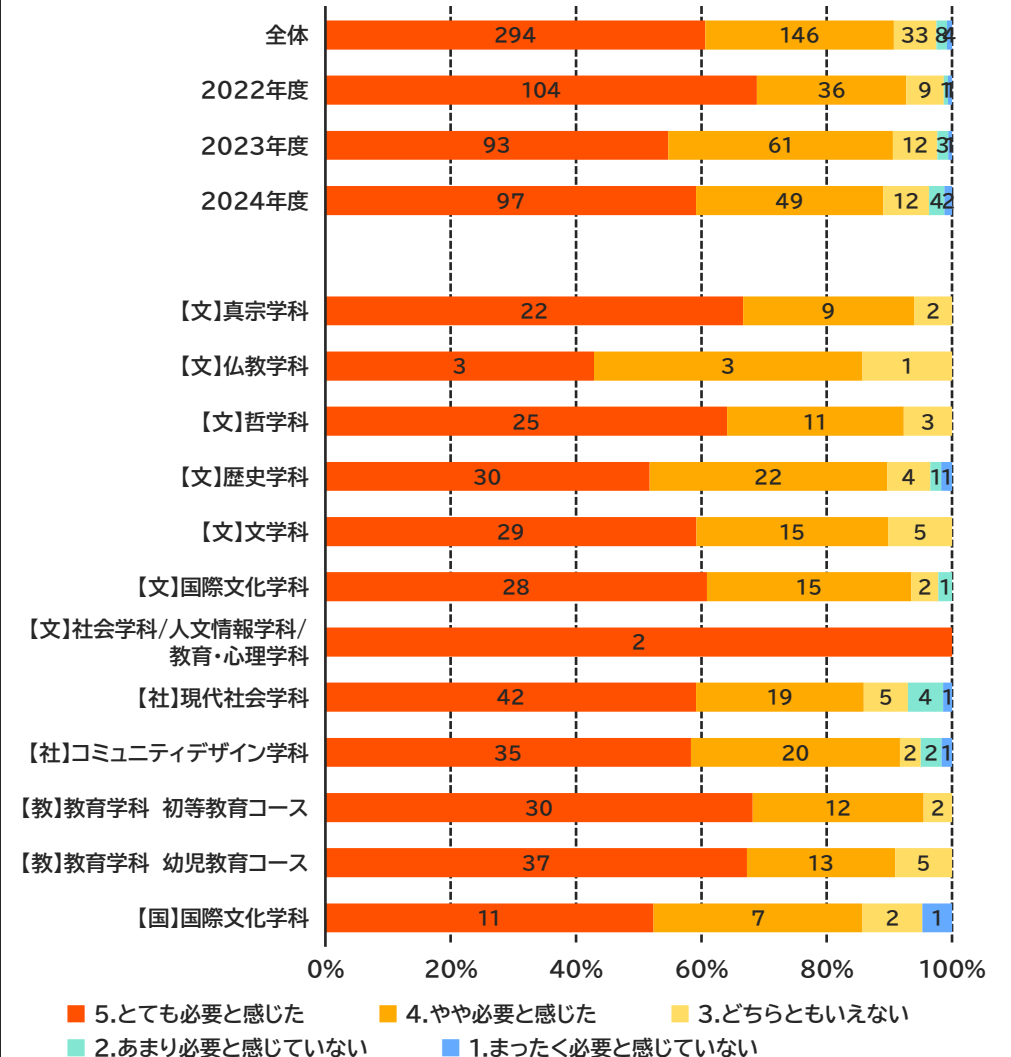


I. 社会に出て必要と感じた力

Q6 : ⑥自己や他者を理解し、さまざまな問題解決に主体的に取り組む力

	回答者数	5 とても必要と感じた	4 やや必要と感じた	3 どちらともいえない	2 あまり必要と感じていない	1 まったく必要と感じていない	回答平均
全体	485	294	146	33	8	4	4.48
卒業年度							
2022年度	151	104	36	9	1	1	4.60
2023年度	170	93	61	12	3	1	4.42
2024年度	164	97	49	12	4	2	4.43
卒業学科							
【文】真宗学科	33	22	9	2	0	0	4.61
【文】仏教学科	7	3	3	1	0	0	4.29
【文】哲学科	39	25	11	3	0	0	4.56
【文】歴史学科	58	30	22	4	1	1	4.36
【文】文学科	49	29	15	5	0	0	4.49
【文】国際文化学科	46	28	15	2	1	0	4.52
【文】社会学科/人文情報学科/教育・心理学科	2	2	0	0	0	0	5.00
【社】現代社会学科	71	42	19	5	4	1	4.37
【社】コミュニティデザイン学科	60	35	20	2	2	1	4.43
【教】教育学科 初等教育コース	44	30	12	2	0	0	4.64
【教】教育学科 幼児教育コース	55	37	13	5	0	0	4.58
【国】国際文化学科	21	11	7	2	0	1	4.29

問題解決に主体的に取り組む力



※ 回答平均点…全体を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記
 問題解決に主体的に取り組む力は学科間での回答平均点のばらつきが小さい傾向がみられ、学科に関係なく必要と感じる力であることが結果からうかがえる。

Q6：⑦卒業後も学んでいきたいという意欲

	回答者数	5 とても必要と感じた	4 やや必要と感じた	3 どちらともいえない	2 あまり必要と感じていない	1 まったく必要と感じていない	回答平均
全体	485	229	172	56	17	11	4.22

卒業年度

2022年度	151	72	53	17	4	5	4.21
2023年度	170	79	63	19	7	2	4.24
2024年度	164	78	56	20	6	4	4.21

卒業学科

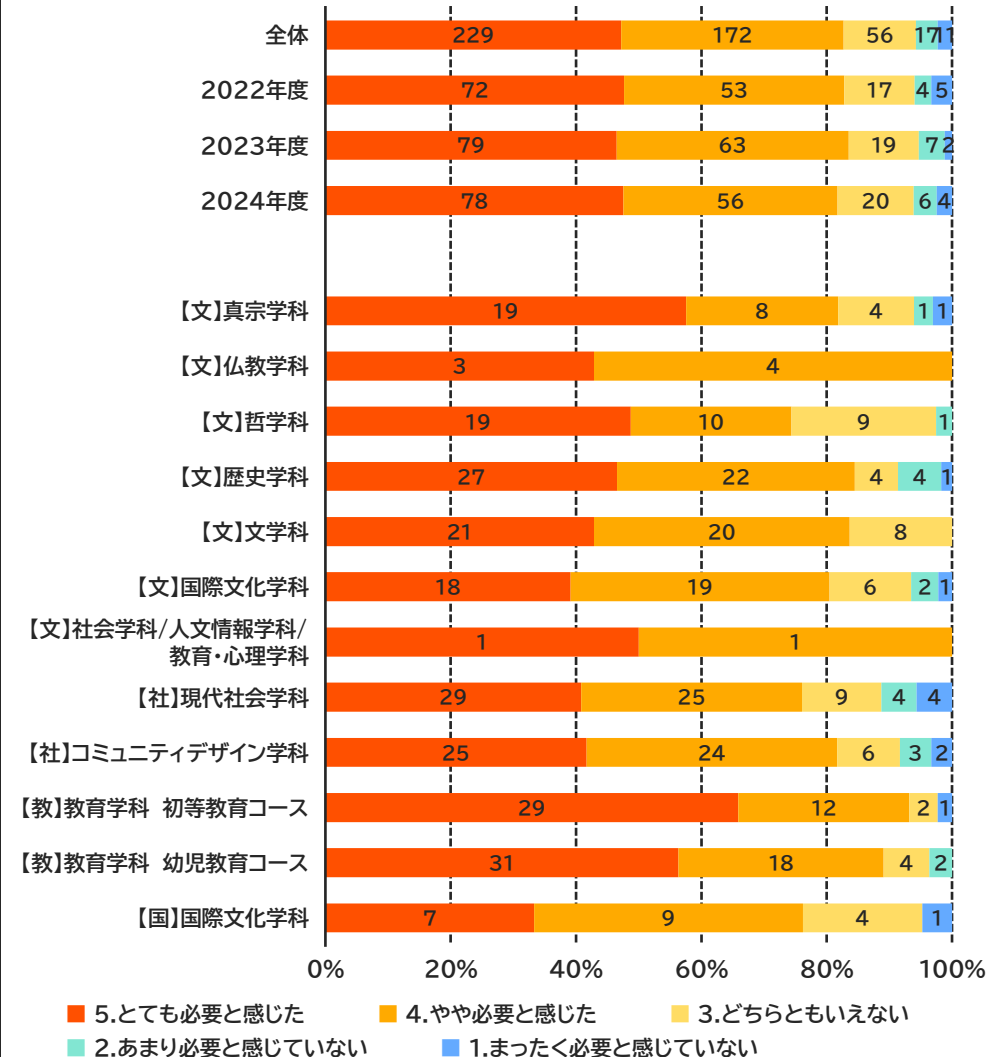
【文】真宗学科	33	19	8	4	1	1	4.30
【文】仏教学科	7	3	4	0	0	0	4.43
【文】哲学科	39	19	10	9	1	0	4.21
【文】歴史学科	58	27	22	4	4	1	4.21
【文】文学科	49	21	20	8	0	0	4.27
【文】国際文化学科	46	18	19	6	2	1	4.11
【文】社会学科/人文情報学科/教育・心理学科	2	1	1	0	0	0	4.50
【社】現代社会学科	71	29	25	9	4	4	4.00
【社】コミュニティデザイン学科	60	25	24	6	3	2	4.12
【教】教育学科 初等教育コース	44	29	12	2	0	1	4.55
【教】教育学科 幼児教育コース	55	31	18	4	2	0	4.42
【国】国際文化学科	21	7	9	4	0	1	4.00

※ 回答平均点…全体を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青色で表記

卒業後も学んでいきたいという意欲は「【文】仏教学科」や教育現場に従事する卒業生が多い教育学科の両コースで必要と感じる割合が高い傾向にあり、特に「【教】教育学科 初等教育コース」では回答平均点が4.55と全体と比較して0.33ポイント高くなっている。

一方、国際系の学科や社会学部の両学科ではやや消極的な回答が目立っており、学科間で必要と感じる有無の差が大きい力となっている。

卒業後も学んでいきたいという意欲



I. 社会に出て必要と感じた力

Q6：⑧ICTを活用しながら文献・資料・データを収集・分析する力

	回答者数	5 とても必要と感じた	4 やや必要と感じた	3 どちらともいえない	2 あまり必要と感じていない	1 まったく必要と感じていない	回答平均
全体	485	176	167	95	34	13	3.95

卒業年度

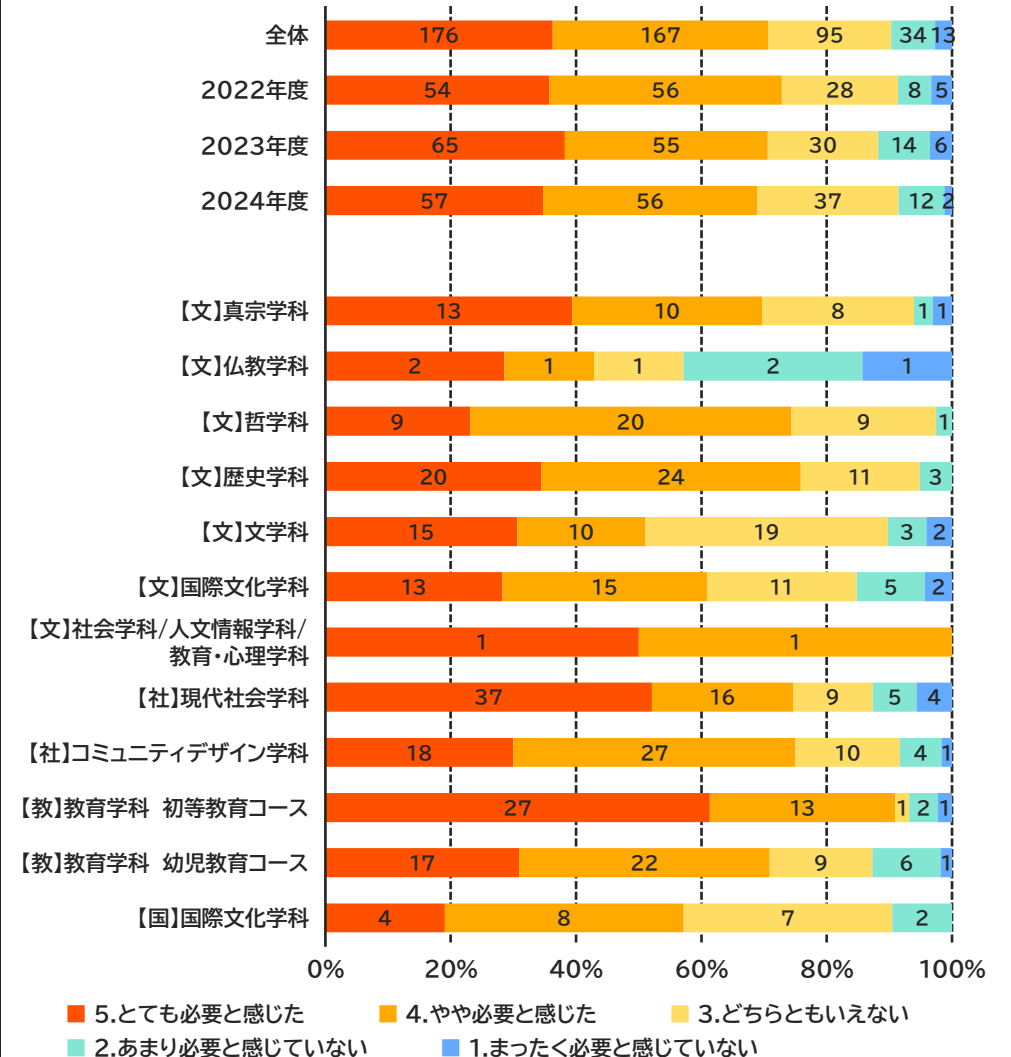
2022年度	151	54	56	28	8	5	3.97
2023年度	170	65	55	30	14	6	3.94
2024年度	164	57	56	37	12	2	3.94

卒業学科

【文】真宗学科	33	13	10	8	1	1	4.00
【文】仏教学科	7	2	1	1	2	1	3.14
【文】哲学科	39	9	20	9	1	0	3.95
【文】歴史学科	58	20	24	11	3	0	4.05
【文】文学科	49	15	10	19	3	2	3.67
【文】国際文化学科	46	13	15	11	5	2	3.70
【文】社会学科/人文情報学科/教育・心理学科	2	1	1	0	0	0	4.50
【社】現代社会学科	71	37	16	9	5	4	4.08
【社】コミュニティデザイン学科	60	18	27	10	4	1	3.95
【教】教育学科 初等教育コース	44	27	13	1	2	1	4.43
【教】教育学科 幼児教育コース	55	17	22	9	6	1	3.87
【国】国際文化学科	21	4	8	7	2	0	3.67

※ 回答平均点…全体を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記
 ICTを活用しながら文献・資料・データを収集・分析する力は学科間で必要と感じているかのばらつきが大きく、学校現場の活用が求められる「【教】教育学科 初等教育コース」では9割以上の学生が5と4の回答を合計した“必要層”の選択肢を回答し、回答平均点も4.50と全体平均点から0.55ポイント高くなっている。
 一方、「【文】仏教学科」では回答平均点が3.14と全体平均点から0.81ポイント低くなったほか、「【文】文学科」「【国】国際文化学科」でも積極的に必要と感じない回答が目立っている。

文献・資料・データを収集・分析する力

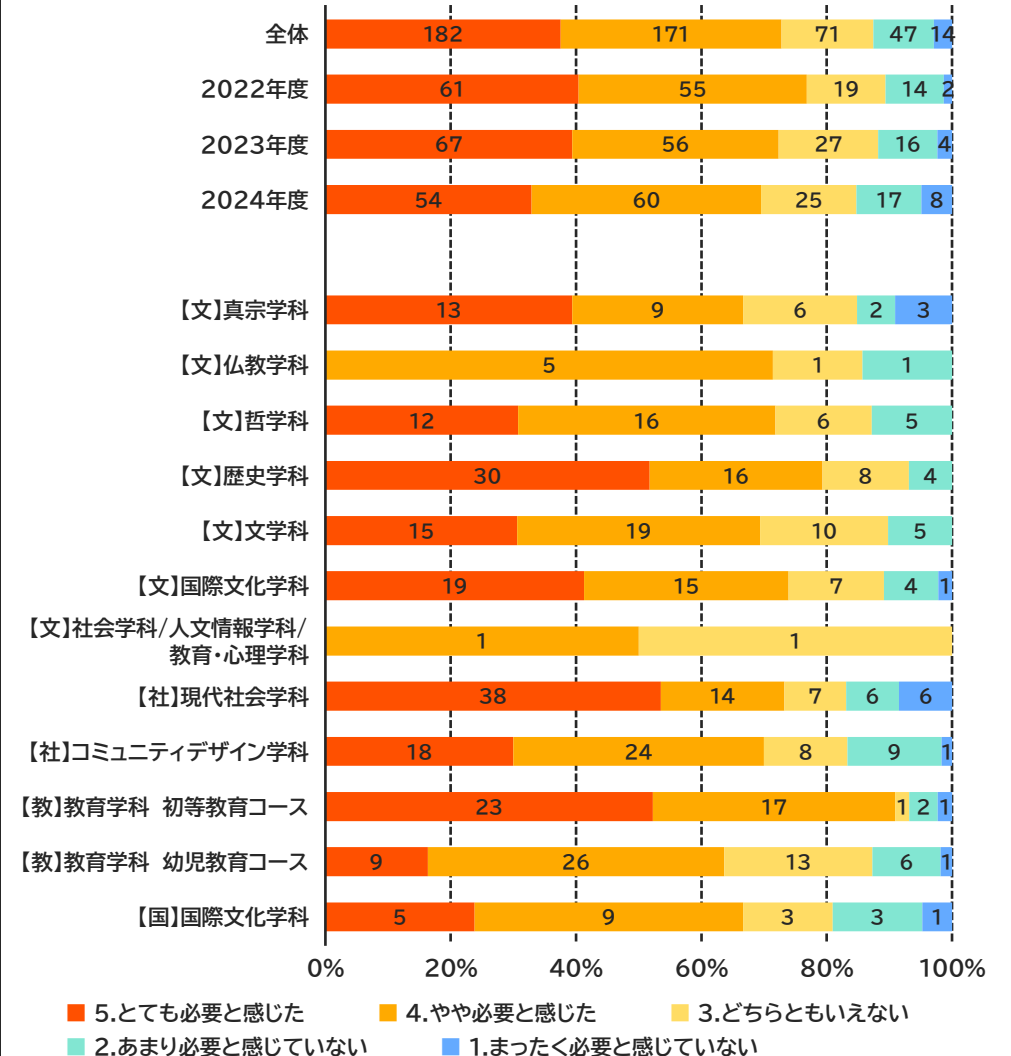


I. 社会に出て必要と感じた力

Q6 : ⑨プレゼンテーションの技術や能力

	回答者数	5 とても必要と感じた	4 やや必要と感じた	3 どちらともいえない	2 あまり必要と感じていない	1 まったく必要と感じていない	回答平均
全体	485	182	171	71	47	14	3.95
卒業年度							
2022年度	151	61	55	19	14	2	4.05
2023年度	170	67	56	27	16	4	3.98
2024年度	164	54	60	25	17	8	3.82
卒業学科							
【文】真宗学科	33	13	9	6	2	3	3.82
【文】仏教学科	7	0	5	1	1	0	3.57
【文】哲学科	39	12	16	6	5	0	3.90
【文】歴史学科	58	30	16	8	4	0	4.24
【文】文学科	49	15	19	10	5	0	3.90
【文】国際文化学科	46	19	15	7	4	1	4.02
【文】社会学科/人文情報学科/教育・心理学科	2	0	1	1	0	0	3.50
【社】現代社会学科	71	38	14	7	6	6	4.01
【社】コミュニティデザイン学科	60	18	24	8	9	1	3.82
【教】教育学科 初等教育コース	44	23	17	1	2	1	4.34
【教】教育学科 幼児教育コース	55	9	26	13	6	1	3.65
【国】国際文化学科	21	5	9	3	3	1	3.67

プレゼンテーションの技術や能力



※ 回答平均点…全体を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記
 プレゼンテーションの技術や能力は学科間で必要と感じる力であるかの回答差が大きく、同じ教育学部内でも「【教】教育学科 初等教育コース」と「【教】教育学科 幼児教育コース」では回答傾向に大きな変化がみられる。
 また、卒業から年数を経過するにつれて必要と感じると回答する比率が増加していることから、社会経験を積むことによって求められる力であるほか、大学教育を通じて習得したことを実感しづらい力である可能性も考えられる。

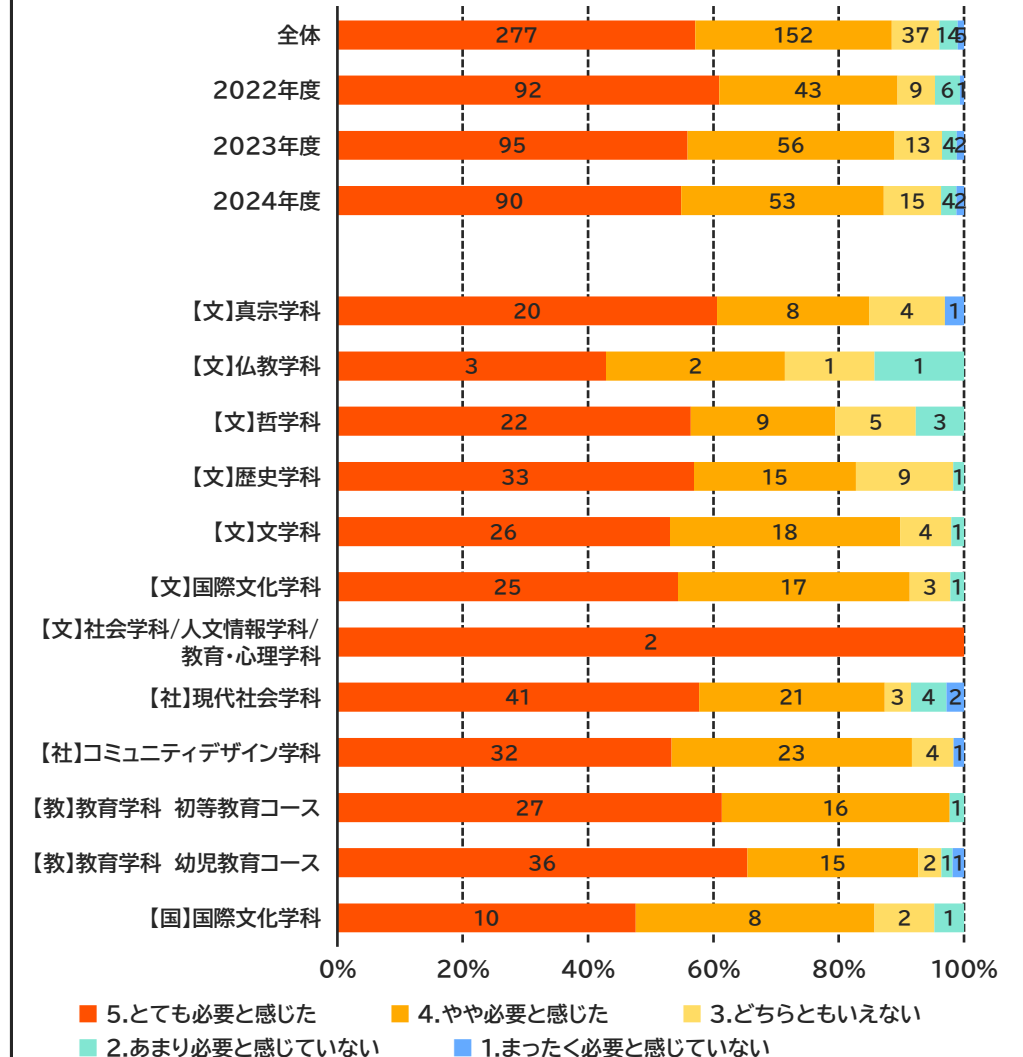
I. 社会に出て必要と感じた力

Q6：⑩意見や立場の違いを理解・尊重しながら組織やチームを動かす力

	回答者数	5 とても必要と感じた	4 やや必要と感じた	3 どちらともいえない	2 あまり必要と感じていない	1 まったく必要と感じていない	回答平均
全体	485	277	152	37	14	5	4.41
卒業年度							
2022年度	151	92	43	9	6	1	4.45
2023年度	170	95	56	13	4	2	4.40
2024年度	164	90	53	15	4	2	4.37
卒業学科							
【文】真宗学科	33	20	8	4	0	1	4.39
【文】仏教学科	7	3	2	1	1	0	4.00
【文】哲学科	39	22	9	5	3	0	4.28
【文】歴史学科	58	33	15	9	1	0	4.38
【文】文学科	49	26	18	4	1	0	4.41
【文】国際文化学科	46	25	17	3	1	0	4.43
【文】社会学科/人文情報学科/教育・心理学科	2	2	0	0	0	0	5.00
【社】現代社会学科	71	41	21	3	4	2	4.34
【社】コミュニティデザイン学科	60	32	23	4	0	1	4.42
【教】教育学科 初等教育コース	44	27	16	0	1	0	4.57
【教】教育学科 幼児教育コース	55	36	15	2	1	1	4.53
【国】国際文化学科	21	10	8	2	1	0	4.29

※ 回答平均点…全体を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青色で表記
 組織やチームを動かす力は卒業から年数を経過するにつれて「5.とても必要と感じた」を回答する割合が上昇する傾向にあり、社会経験に応じて必要と感じる機会が増す力であることがうかがえる。
 また、学科間での回答平均点のばらつきは回答者数が少ない学科を除いて比較的小さく、学科に関係なく必要と感じていることが読み取れる。

組織やチームを動かす力



Q7：大谷大学在学中に身についた力や考え方で、現在役に立っていることや、身につけておいてよかったと感じることがあれば、それらが何によって身についたのか、その理由もあわせてご記入ください。

分類 [キーワード]などから抽出	件数	記述内容 個人名が特定される箇所を除き原文ママ(誤字・脱字はそのまま)で掲載
授業・ゼミ・教育・ 教員・先生	47件	<p>・人の意見を尊重し、意見をまとめる力が今も役に立っている。ゼミ活動で地域の様々な境遇にいる人やゼミ生と多く会話をする機会があり、人によって少しずつ考え方が異なることを知った。その意見を尊重し改善するためにはどうしたら良いかを話し合うことが今も仕事で活かされている。(【社】コミュニティデザイン学科)</p> <p>・実践的演習 おもちゃ作りからボランティア、オペレッタなど在学习中に経験した知識を保育の場ですぐに活かして実践することができた。また、自分の興味のある分野に対してゼミでより丁寧に学び、研究していく経験が、今の自分の大切にしたいと保育観の基礎となっている。(【教】教育学科 幼児教育コース)</p> <p>・自分とは異なる様々な意見をもつ他者と同じ目標に向かって話し合う力が現在も役立っていると感じています。ゼミでの議論を通じて、相手の意見を否定しないという先生の雰囲気作りをきっかけに、自分の意見が否定されることはないという安心感があったことで物怖じせず発言することができたと思います。そして現在も話し合いの場においては、先生の考えに倣った態度で臨んでいます。(【文】哲学科)</p> <p>・実習で様々な園や先生の保育を見させていただき、人それぞれ保育の仕方や考え方が違うことを実感できました。また課外活動やボランティアで、イベントを主催する立場を経験し、計画的なスケジュールを立てる力や、みんなが分かりやすい伝え方、起こりうる問題を予測し、様々な対応を準備する力が身につきました。保育では計画と予測の連続なので、日々役立っています。(【教】教育学科 幼児教育コース)</p>
考える力・能力	45件	<p>・在学中は、子どもを面白さに気づかせてもらい、子どもと同じ目線に立って考えることの大切さを学んだ。授業を受ける中で、自然と先生方の子どもに対する視点や考え方を知り、身についたのだと思う。大人目線の保育でなく、子どもが1番楽しくて輝ける保育をするにはその視点が必要だと思った。(【教】教育学科 幼児教育コース)</p> <p>・アンケート調査などの実践的な授業を通して分析する力が身についた。アンケート作成から集計、分析までチームで作業することで、協働する力やデータを分析し意見を述べる力を身につけられたのが良かった。また、社会問題や人間関係について、様々な視点から考える力が身につく、日常生活で相手の立場になって考えることができるようになった。(【社】現代社会学科)</p> <p>・人文学に関わる知識や力は不要とされがちな現代。ただ、多くの人々が長い時間や経験を経て得る、哲学や思考回路の一片を学生時代に学ぶというのは非常に大きいと思います。それをもとに「なぜだろう？」と追求し続けることができる力は、仕事や分野が変わったとしても、公私問わず生きている部分があると感じます。(【文】歴史学科)</p> <p>・グループディスカッションを取り入れた授業を通して様々な情報をまとめて吟味した上で発表する力が身に付き、それが法話の場において活かされていることを実感した。(【文】真宗学科)</p>

Q7：大谷大学在学中に身についた力や考え方で、現在役に立っていることや、身につけておいてよかったと感じることがあれば、それらが何によって身についたのか、その理由もあわせてご記入ください。

分類 [キーワード]などから抽出	件数	記述内容 個人名が特定される箇所を除き原文ママ(誤字・脱字はそのまま)で掲載
人間関係・人間学・ 人との関わり	27件	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内外でも、色んな人と関わってたくさんの人と話すことは社会にでも大切になってくるのでそれを大学時代に経験しておくことができよかったと思いました。(【国】国際文化学科) ・人間学の授業を受講し、他人と何かを比べ競い合うことの無意味さを知った。以前はすぐに他人と自分を比較し、自分自身に対して劣等感を持っていた。今は過去の自分と今の自分を比べることで日々成長を感じることができる。比べなければならないのは、他者ではなく自己であることに気づけた。(【文】歴史学科) ・大学4年間で、自分文化と他人文化、それぞれが存在することを知ったことにより、職場でも自分と他人いつも同じではないことを明確に認識し、人間関係がスムーズにいくようになった。(【文】国際文化学科)
コミュニケーション 力	25件	<ul style="list-style-type: none"> ・グループになって何か一緒に作業する機会が大学の間に多くあったように思う。それらが大切だと感じた。自分とは少し合わないと感じても一緒に学んでいるもの同士協力する必要がある。仕事上でも仕事仲間として向き合っていく必要がある。皆で話し合って成し遂げる力をつけるためにグループ活動が役に立った。(【教】教育学科 幼児教育コース) ・自分の意見や考えを持ちつつ、それを過剰に出さずに相手の意見や考えを尊重して相互理解を深める力。(【文】真宗学科) ・グループディスカッションで他者の意見を尊重する能力を身につけておいたことで、社会に出ても身勝手になりすぎることなく、集団でもある程度まとまりのある行動ができるようになった。(【社】コミュニティデザイン学科)
資格・スキル・パソ コン	15件	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人になって、プレゼンや資料を作る機会がかなり多いことがわかった。しかも、できて当たり前からスタートするためパソコンの知識・プレゼン力はゼミで多少は触れていたのがすごく助かった。(【社】現代社会学科) ・どのよつにして聞き手に伝えるのか工夫しながらプレゼンテーションを行うスキル。職場で子どもたちの興味を惹きつけて授業を行う時、学生時代で身につけたスキルが役に立っていると感じる。(【教】教育学科 初等教育コース) ・人文情報学科でプログラムなどや機械の基礎に携わったおかげでどういシステムが会社で使われているかなんとなく理解できパソコン操作が一定以上使えるんだなと感じました。(【文】人文情報学科)

Q7：大谷大学在学中に身についた力や考え方で、現在役に立っていることや、身につけておいてよかったと感じることがあれば、それらが何によって身についたのか、その理由もあわせてご記入ください。

分類 [キーワード]などから抽出	件数	記述内容 個人名が特定される箇所を除き原文ママ(誤字・脱字はそのまま)で掲載
課題・論文・レポート	13件	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文の執筆にあたり、自分で課題を立てて、文章という形に構成する力は大学でしか学べないと思います。そこまで緻密に考えていく作業は普段行いませんが、組み立て式に考えていく方法は様々なことに活かされると考えます。論文の執筆だけでなく、自分自身で何かを実行するためには、思いつきだけではならないので、順番立てて必要な作業に取り組む時に活用していると感じています。(【文】哲学科) ・ゼミの課題でインタビューがあり、インタビュアーの気持ちや思いを引き出す能力。接客業でお客様の気持ちを聞き出すことに役立つ。(【社】コミュニティデザイン学科)
語学力・英語・外国語	7件	<ul style="list-style-type: none"> ・英語力です。仕事で沢山の人が出入りするテナントビルとホテルのある建物の常駐警備員として卒業後働いているので、外国人の方や領事館や大使館の方とも接する場面があるので、その際に大谷大学在学中に学んだ英語力はとても役に立っていると感じます。(【文】国際文化学科) ・第二言語として選択していた韓国語。もう少し真剣に取り組んでいればよかったとは思いますが、日本語英語以外で学ぶ機会があったのはとても良かった。韓国が好きでよく行くので役に立つ場面があります。(【社】現代社会学科)
その他	4件	<ul style="list-style-type: none"> ・今はまだ分からないが、この先役に立つことがあると思う (【文】国際文化学科)

Q8 : 大谷大学在学中にもっと身につけておけばよかったと感じる力や考え方があれば、その理由もあわせてご記入ください。

分類 [キーワード]などから抽出	件数	記述内容 個人名が特定される箇所を除き原文ママ(誤字・脱字はそのまま)で掲載
英語・外国語・語学	61件	<p>・英会話能力です。教育現場で英語教育が進んでいるため、英語が話せると授業やALTの先生とのミーティングなどで役に立つからです。ピアノも弾けるようにしておけばよかったと思います。(【教】教育学科 初等教育コース)</p> <p>・留学生との会話の会のようなものが設けられていたと思うのですが、それに参加していれば良かったなと思っています。文法や発音を知っていても、実際の会話になると頭が追いつかないことが多いからです。実際に会話をすることで、生身の言語が身につく、とっさの時に自然に対応することが出来ます。何となく面倒だったのと、恥ずかしさがあったので在学中にそのような会に参加しなかったことを少し後悔しています。(【文】歴史学科)</p> <p>・英語力と、社会人としての意識とビジネスマナー。英語力は、現在の仕事が、業務上で日本人以外とのコミュニケーションも要求される為。社会人としての意識とマナーに関しては、働く中で、自立した大人であるという意識が非常に不足していると痛感した為。(【文】仏教学科)</p> <p>・外国語での会話や手話を学べば良かったと思っている。仕事上市民の方と話す機会がほとんどだが、外国人や障がいを持っている方もいるため、自分が選択した進路(職業)に何が必要になっていくかをもう少し調べて時間があるうちに学ぶべきだった。(【社】コミュニティデザイン学科)</p> <p>・第二言語の習得(独学で新しいことをしようとするのが難しいから授業では強制的にできるから)や授業一つ一つの細部に至るまでの理解(結局単位を取るために受けているだけの人が多く内容を覚えてもないし理解すらしていない)(【文】真宗学科)</p> <p>・TOEICの勉強をしておけば良かったと考える。就職活動において、重要視された。(【文】国際文化学科)</p>
資格・スキル・パソコン	47件	<p>・WordやExcel等のパソコンスキルを求めている会社が多いので、パソコンに慣れておく必要がある(【国】国際文化学科)</p> <p>・パソコンスキルを身につけることや資格を取得すること。どんな職業に就くとしても必須になるのがパソコンスキルであるため。また、さまざまな資格を取得していれば知識にもなり、転職の幅も広がるため。(【文】哲学科)</p> <p>・自分が在籍していた時は、新型コロナの関係で中々外出などが制限されており、思うようにできなかったが、ここでもっと資格などを取っておいても良かったかなと思いました。(【社】現代社会学科)</p> <p>・WordやExcelなどの基本的な使用スキルを身につけておくべきだったと感じる。理由は現在の仕事で使用する機会が多く、よく使用方法で困ることがあるから。また、敬語の使い方や正しい文章を書く力なども身につけておくべきだと思った。人と関わる上で話すことはもちろん、文章として残したり誰かに共有したりする際にこれらの力は必要となってくるため、今苦労している。(【社】コミュニティデザイン学科)</p>

Q8 : 大谷大学在学中にもっと身につけておけばよかったと感じる力や考え方があれば、その理由もあわせてご記入ください。

分類 [キーワード]などから抽出	件数	記述内容 個人名が特定される箇所を除き原文ママ(誤字・脱字はそのまま)で掲載
学力・知識	35件	<ul style="list-style-type: none"> ・大学でしかできない専門的な分野をもう少し学んでおけばよかった (【文】仏教学科) ・もっと現場に出た時のことを考えて、玩具を作ったり、保育のバイトをしたりして経験を積んでおけばよかったかなと思う。やっぱり現場では即戦力が必要とされるし、初年度から担任もつことも多いから、学生時代に経験を積んでおくことで、現場に出た時ギャップが少なくなると思ったから。(【教】教育学科 幼児教育コース) ・社会人のマナー (【社】現代社会学科) ・インターンシップやアルバイトなどをして、保育以外の社会も広く学んでおいたほうが、将来社会に出るうえで自分の働き方などで迷ったり悩んだりしにくいと感じました。大学の先生方や実習先の大人の方々と話すのもものすごく社会を知るすべになったのですが、教育系以外に就いた人の考え方や働き方も学んでいて損はないと感じます。(【教】教育学科 初等教育コース)
自己表現・人間関係	15件	<ul style="list-style-type: none"> ・もっといろいろな人と喋る機会を作ることができればいいと思いました。それによって、いろいろな人と関わることができ、範囲が広がるのは将来的にいいと感じたからです。(【社】現代社会学科) ・もう少し、自分の意見やアイデアを気軽に言えるような重すぎずラフすぎることもない機会があれば良かったなと思う。右向け右ばかりの4年間で、もう少し自分がやりたいように自由に動いても変な目で見られないような環境が作れたら良かったと思う。文学部でも、気軽にイベント立案ができるような空気感があれば良かったと思う。もっと学内にとどまらずに、外へ出て活動すれば良かったと思います。(【文】歴史学科)
コミュニケーション	13件	<ul style="list-style-type: none"> ・他者とのコミュニケーション能力です。理由は大谷大学在学中のときよりも会社に入ってからの方が、自分よりも年齢が上の方とも話をする機会が多いからです。(【文】国際文化学科) ・率先して何かに取り組んだり、チームワークでのみんなが嫌な役割をもう少し担ったりすれば良かったと思う。ゼミや部活、学外活動などアルバイト以外で熱中して取り組めるものがあるといいなと思った。(【社】コミュニティデザイン学科)

Q8 : 大谷大学在学中にもっと身につけておけばよかったと感じる力や考え方があれば、その理由もあわせてご記入ください。

分類 [キーワード]などから抽出	件数	記述内容 個人名が特定される箇所を除き原文ママ(誤字・脱字はそのまま)で掲載
教育関係	11件	・保育教材の種類をもっと作っておくべきだったと感じる。ペープサートや手袋シアターなど、短い時間で使えるものがあると、より保育が柔軟に行えると思う。(【教】教育学科 幼児教育コース)
		・各年齢の発達に応じた関わりや保育環境についてももう少ししっかり身につけておけばよかったと感じる。子どもの姿に応じて環境を構成、再構成していく難しさを痛感しており、子どもたちにとって難しすぎたり簡単すぎたりと、失敗を多くしながら学んでいるところである。もう少し在学中にしっかり身につけておけば、子どもたちの姿に合った更に居心地よく楽しい環境を用意してあげられたかもしれないと感じている。(【教】教育学科 幼児教育コース)
宗教	7件	・せっかく仏教系の大学にいたのだから仏教に関する知識をもっと定着させておけばよかったと感じている。また、キリスト教学ももっとしっかり深掘りしておけばよかった。さまざまな場面で相手の理解に役立つ。ほか、社会制度や政治などはもっと学んでおくべきだったと思う。(【文】哲学科)
		・真宗について。当時は興味や当事者意識がなく、ただ難しい話だなと思いどうしても頭に入ってきていなかった。卒業してから学ぼうと思うと、能動的に動く必要があり、仕事をしながらだと労力も時間も費用もかかるから。(【文】真宗学科)
その他	7件	・もっと遊べば良かったと思います。やはり人生で一番自分の時間を持てる時だと思うので、学ぶところだと真面目に考えすぎず、様々な経験値を稼ぐチャンスだと柔軟な思考を持てていれば良かったと時間を無くしてから気づきました。遊び心を育てたかったです。(【文】文学科)
		・早く物事をやること。未だに締切ギリギリにならないとやる気スイッチが入らないから。(【文】哲学科)

II. 大谷大学のキャリア支援について

Q9：大谷大学在学中にキャリアセンターを利用された経験はありますか。

	回答者数	ある	ない
全体	485	430	55

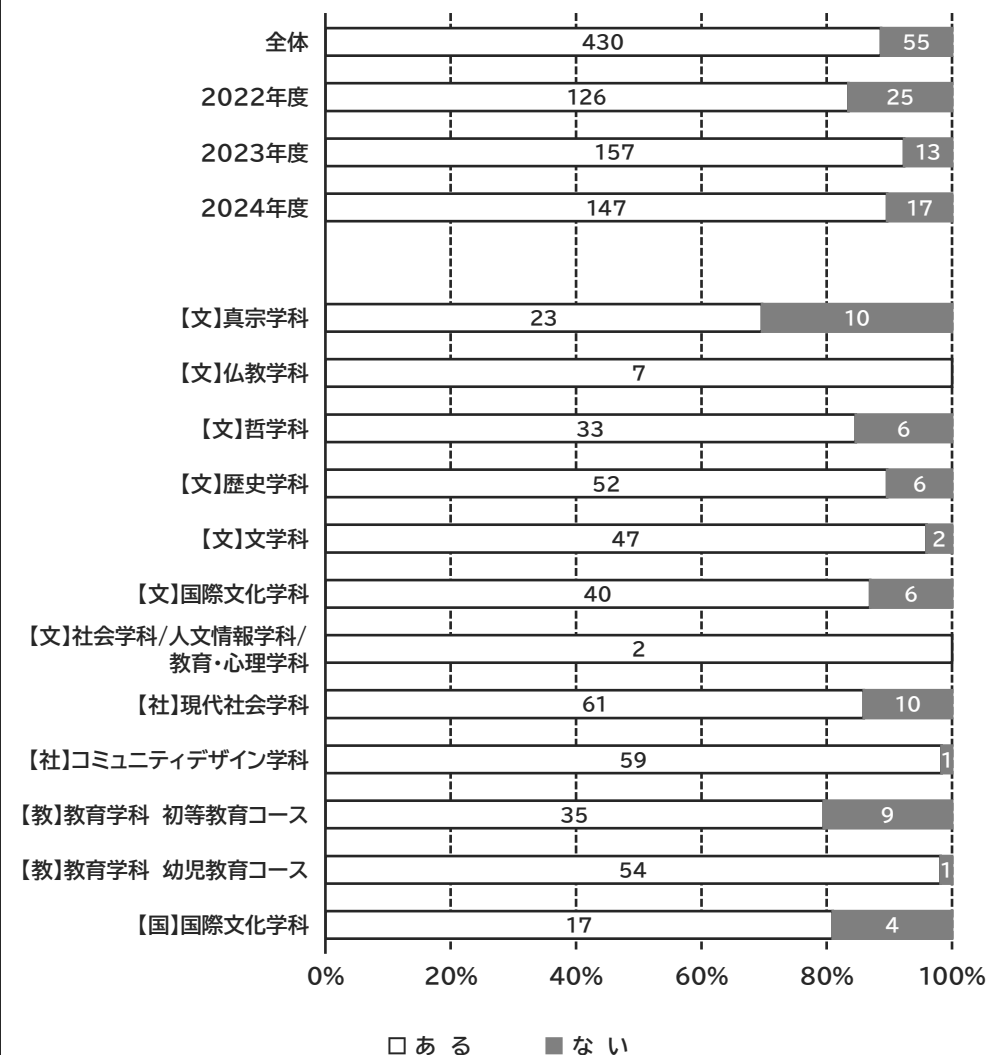
卒業年度

2022年度	151	126	25
2023年度	170	157	13
2024年度	164	147	17

卒業学科

【文】真宗学科	33	23	10
【文】仏教学科	7	7	0
【文】哲学科	39	33	6
【文】歴史学科	58	52	6
【文】文学科	49	47	2
【文】国際文化学科	46	40	6
【文】社会学科/人文情報学科 教育・心理学科	2	2	0
【社】現代社会学科	71	61	10
【社】コミュニティデザイン学科	60	59	1
【教】教育学科 初等教育コース	44	35	9
【教】教育学科 幼児教育コース	55	54	1
【国】国際文化学科	21	17	4

キャリアセンターを利用された経験



Ⅱ. 大谷大学のキャリア支援について

Q10：大谷大学のキャリア支援について、あなたがもっと充実させて欲しいと思う項目を全て選択してください。

(上段)回答数/(下段)比率

	回答者数	就職活動対策ガイダンス (面接、ES対策など)	低学年向けガイダンス (就職活動準備など)	資格取得対策講習	公務員・教員採用試験 対策講習	キャリアに関する 正課授業	卒業生との交流会	学内企業説明会 (幼保含む)	Uターン就職の支援	特になし
全体	485	210	101	110	53	55	81	84	38	107
	100.0%	43.3%	20.8%	22.7%	10.9%	11.3%	16.7%	17.3%	7.8%	22.1%

卒業年度

2022年度	151	74	34	35	25	19	21	20	11	34
	100.0%	49.0%	22.5%	23.2%	16.6%	12.6%	13.9%	13.2%	7.3%	22.5%
2023年度	170	78	36	49	11	12	31	31	15	28
	100.0%	45.9%	21.2%	28.8%	6.5%	7.1%	18.2%	18.2%	8.8%	16.5%
2024年度	164	58	31	26	17	24	29	33	12	45
	100.0%	35.4%	18.9%	15.9%	10.4%	14.6%	17.7%	20.1%	7.3%	27.4%

卒業学科

【文】真宗学科	33	7	7	6	1	3	5	6	3	10
	100.0%	21.2%	21.2%	18.2%	3.0%	9.1%	15.2%	18.2%	9.1%	30.3%
【文】仏教学科	7	6	1	0	0	1	1	0	0	1
	100.0%	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%
【文】哲学科	39	19	15	8	0	5	7	6	4	9
	100.0%	48.7%	38.5%	20.5%	0.0%	12.8%	17.9%	15.4%	10.3%	23.1%
【文】歴史学科	58	29	13	12	10	5	10	7	7	12
	100.0%	50.0%	22.4%	20.7%	17.2%	8.6%	17.2%	12.1%	12.1%	20.7%
【文】文学科	49	15	11	14	3	8	6	9	6	12
	100.0%	30.6%	22.4%	28.6%	6.1%	16.3%	12.2%	18.4%	12.2%	24.5%
【文】国際文化学科	46	24	7	11	2	8	2	8	3	7
	100.0%	52.2%	15.2%	23.9%	4.3%	17.4%	4.3%	17.4%	6.5%	15.2%

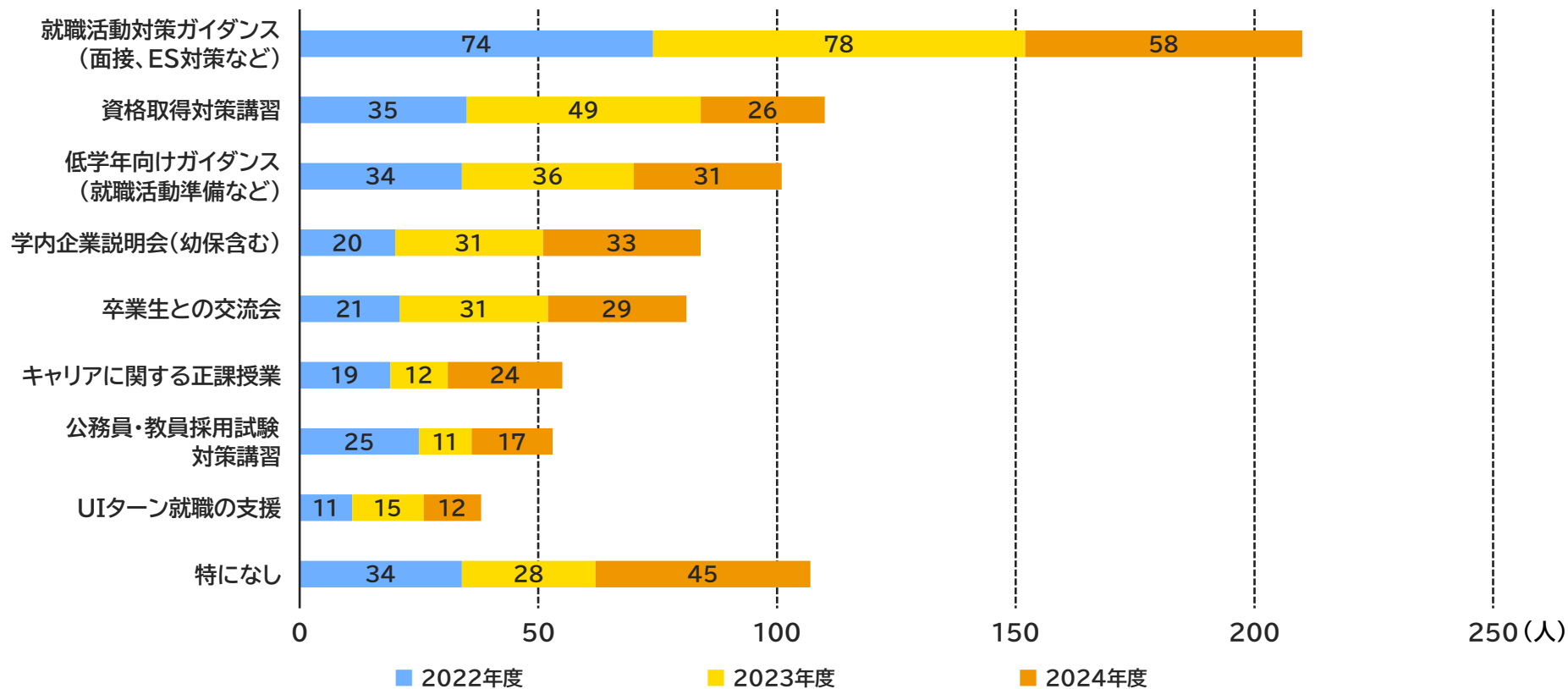
Ⅱ. 大谷大学のキャリア支援について

Q10：大谷大学のキャリア支援について、あなたがもっと充実させて欲しいと思う項目を全て選択してください。

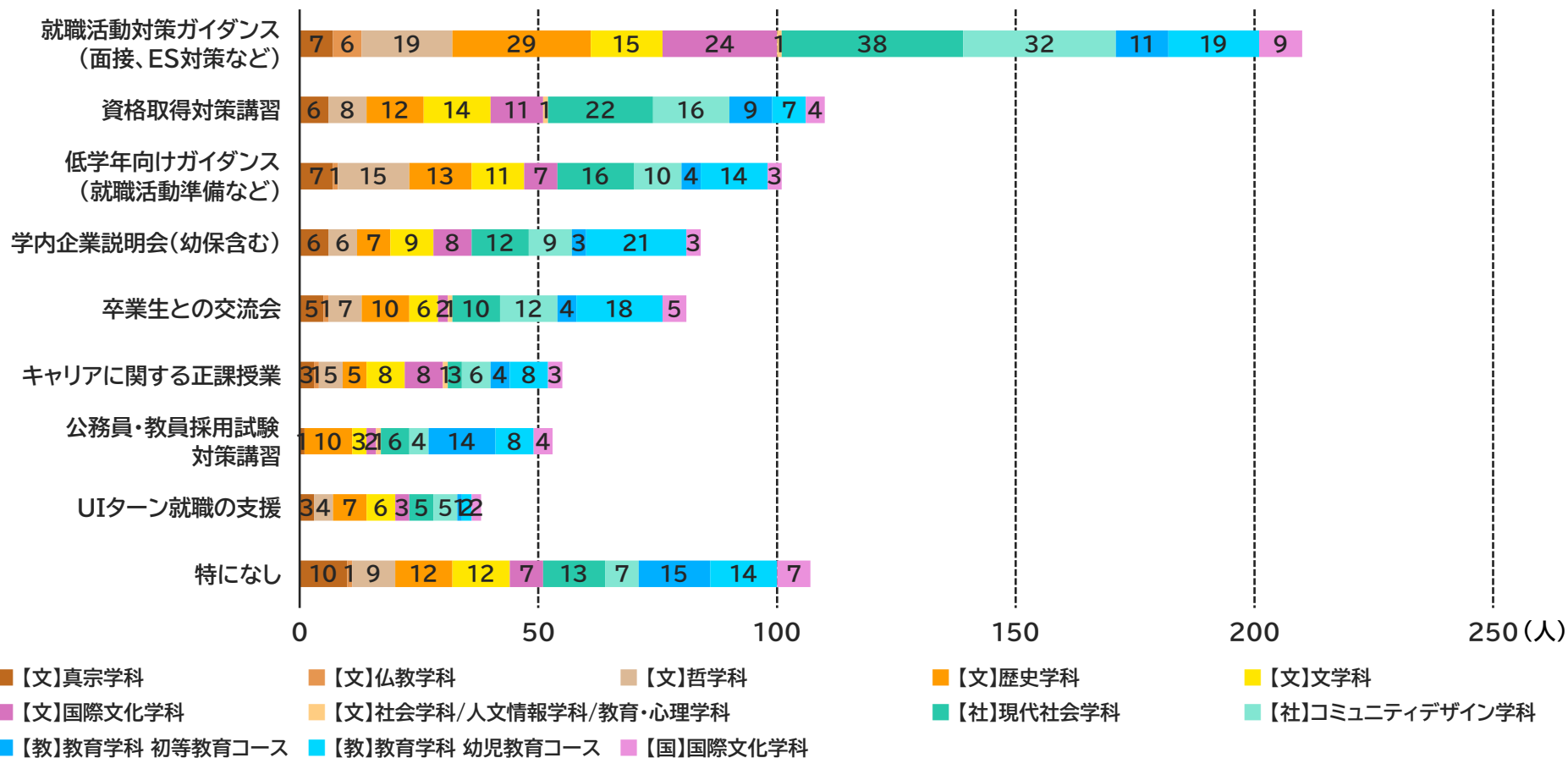
(上段)回答数/(下段)比率

	回答者数	就職活動対策ガイダンス (面接、ES対策など)	低学年向けガイダンス (就職活動準備など)	資格取得対策講習	公務員・教員採用試験 対策講習	キャリアに関する 正課授業	卒業生との交流会	学内企業説明会 (幼保含む)	Uターン就職の支援	特になし
【文】社会学科/人文情報学科/ 教育・心理学科	2	1	0	1	1	1	1	0	0	0
	100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
【社】現代社会学科	71	38	16	22	6	3	10	12	5	13
	100.0%	53.5%	22.5%	31.0%	8.5%	4.2%	14.1%	16.9%	7.0%	18.3%
【社】コミュニティデザイン学科	60	32	10	16	4	6	12	9	5	7
	100.0%	53.3%	16.7%	26.7%	6.7%	10.0%	20.0%	15.0%	8.3%	11.7%
【教】教育学科 初等教育コース	44	11	4	9	14	4	4	3	1	15
	100.0%	25.0%	9.1%	20.5%	31.8%	9.1%	9.1%	6.8%	2.3%	34.1%
【教】教育学科 幼児教育コース	55	19	14	7	8	8	18	21	2	14
	100.0%	34.5%	25.5%	12.7%	14.5%	14.5%	32.7%	38.2%	3.6%	25.5%
【国】国際文化学科	21	9	3	4	4	3	5	3	2	7
	100.0%	42.9%	14.3%	19.0%	19.0%	14.3%	23.8%	14.3%	9.5%	33.3%

卒業年度別 キャリア支援のさらなる充実 (グラフは回答の多い順番に並び替えている)



卒業学科別 キャリア支援のさらなる充実 (グラフは回答の多い順番に並び替えている)



Q11：進路選択やキャリア形成に関して、後輩への助言・アドバイスがあればご記入ください。

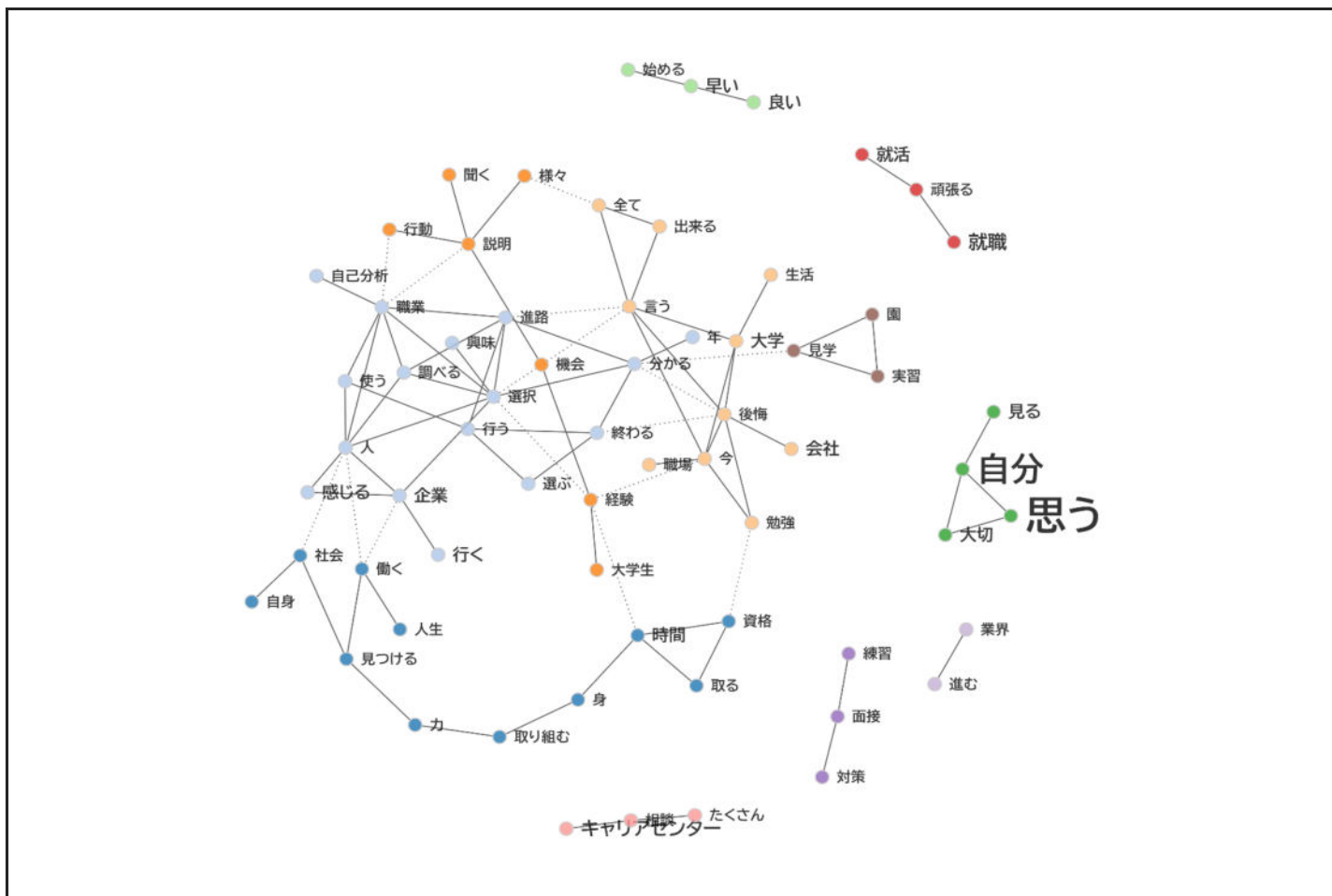
分類 [キーワード]などから抽出	件数	記述内容 個人名が特定される箇所を除き原文ママ(誤字・脱字はそのまま)で掲載
就職・就活	46件	<p>・就活は非常に面倒で疲労が伴いますが、またない機会でもあります。企業説明会に行けば、何百とある企業の概要や働き方を、現役の職員の方から直接聞くことができます。もし将来転職したくなった時に大いに役立ちますし、仕事に関する理解度の深さはどの職種であっても有益です。面倒が勝つこともあると思いますが、貴重な機会を逃さずとにかくやってみるということを大事にして欲しいと思います。(【文】歴史学科)</p> <p>・早く終わらせたいからと適当に選ぶのではなく、ちゃんと会社の概要などを確認して慎重に行った方が後悔しにくいと思います。(【国】国際文化学科)</p> <p>・私が今勤めている職場は転職経験者が非常に多いです。私は大学時代、行動力の無さや精神的な疲れから就活を思うように進められず思い詰めていましたが、今はそこまで深刻に考えすぎる必要はなかったと感じています。気負わずとにかく手を伸ばしてみることが大切だと思います。(【文】文学科)</p> <p>・僕は4回生にあがる直前に始めたがもっと早くてもよかった。真宗学科の人や寺族の人に関しては、もししたいことがあったり一般企業に興味があるなら、別院や本山で働くよりも先に一般企業を選択すべきだと思う。新卒というブランドもあり、一般→宗派より宗派→一般の難易度の方が遥かに高く感じるため。(【文】真宗学科)</p>
自分・自己分析	32件	<p>・就職活動中は視野が狭くなりがちなので、様々な業種の説明会に参加したり、様々な立場の人と交流したり、行動を増やすことを勧めたい。得た情報全てを鵜呑みにするのではなく、一度自分の中で考えてみて情報を取捨選択して欲しいと感じる。(【社】現代社会学科)</p> <p>・自分と向き合う良い機会になると思います。選択を誤ったとしてもすべて経験となって新たな世界を見ることができるので、今やりたいことを大切にすると良いのではないのでしょうか。(【教】教育学科 初等教育コース)</p> <p>・早い段階から自己分析をしておいた方が良いと思います。面接でなぜ弊社を希望されたのか聞かれたとき、自己分析がしっかりできていないと回答に困ります。(【文】歴史学科)</p> <p>・まずは自分の適性について、よく見つめることから始めるべきだと思います。そして迷い込んだ時は1人で悩まず、適性について主観的のみならず客観的にも話し合える機会を作ることも大事なのではないかと考えます。(【社】コミュニティデザイン学科)</p>

Q11：進路選択やキャリア形成に関して、後輩への助言・アドバイスがあればご記入ください。

分類 [キーワード]などから抽出	件数	記述内容 個人名が特定される箇所を除き原文ママ(誤字・脱字はそのまま)で掲載
行動・行動力	23件	<ul style="list-style-type: none"> ・大学のうちにやりたいことを見つけるのが大事だと感じました。特に、1.2年生の間に見つけて、すぐに動く準備をするべきだと思いました。(【教】教育学科 初等教育コース) ・少しでも気になることがあれば取り組んでいただいたいと思う。無理はしなくていいけど、理由が「めんどくさいから」はもったいない。(【文】哲学科) ・早いうちから今自分が何をしなければいけないのかを明確にし、動き出すことが大切。(【文】国際文化学科)
キャリアセンター	20件	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアセンターや先生方にたくさん相談していいと思います！頼るところがたくさんあることがこの大学の良さだと感じているので、不安なこと気になることはどんどん聞いて、聞きながら自分で少しずつ気持ちや計画を整理していけばいいと思います！就職活動はとても大変でしたが、今となってはあれほど一生懸命になれたのも良かったな。楽しかったなとまで感じています。後悔のないよう少しずつでもいいので動き出すことが大切だなと感じます。(【教】教育学科 幼児教育コース) ・充実した支援が多くあり、相談やアドバイスと手厚いサポートがあるのでぜひ活用してほしいです。私は活用してよかったと思っています。(【社】コミュニティデザイン学科)
大学生活	8件	<ul style="list-style-type: none"> ・就職したら必ず大学生活が恋しくなるので、今のうちに大学生活を楽しんでほしい。(【文】歴史学科) ・自分は大学在学中に、よく先輩から「今しか勉強する時間とか分からないことを聞く機会ってないからやっといたほうがいいよ」と言われ、それなりにやったつもりですが、そうすると今度は自分の中で「もっと大学生らしく遊び回ってたほうがよかったのでは…？」と絶妙に後悔しているので、自分の信じる方法で進路選択やキャリア形成していくのも全然ありかと思っています。それもそれで経験になるので。(【文】真宗学科)
資格	6件	<ul style="list-style-type: none"> ・就職に有利になるような資格は取っておいた方がいい。お金と時間がかかるが就活での強みになる。めんどくさいと感じるだろうが頑張ろう。(【文】哲学科)
その他	19件	<ul style="list-style-type: none"> ・夢とか大きなモノではなく、目標ぐらいの小さなモノがあると生きていくうえで少しだけ楽しくなる。(【文】文学科) ・外国語特に英語は日常会話はできるようになっておいた方が良い (【国】国際文化学科)

Q11：進路選択やキャリア形成に関して、後輩への助言・アドバイスがあればご記入ください。

テキストマイニングによる共起ネットワーク分析を実施し、頻出単語や文章中の単語のつながりの可視化を試みた。



卒業生の自由記述にて5回以上出現した78単語を対象に共起ネットワークを設定した。文字の大きさは出現頻度、線は共起関係の強弱、円の色は関連性の高い単語のグループを表現しており、出現頻度は経験談から助言をする際に使用されやすい「思う」「自分」の2語が突出している。また、企業研究やキャリア形成に関連した単語を中心に共起関係が確認され、単語間につながりの強弱はありつつも広いグループが形成されていることが確認された。

Ⅲ. 大谷大学への満足度について

Q12：あなたは大谷大学に入学してよかったですか。あなたの気持ちに最も近いもの1つを選択してください。

● 文学部

	回答者数	5 とても満足している	4 満足している	3 どちらともいえない	2 あまり満足していない	1 まったく満足していない	回答平均
前回大学全体	530	171	264	71	17	7	4.08
前回学部全体	530	171	264	71	17	7	4.08

卒業年度

【文】2018年度	148	48	79	17	1	3	4.14
【文】2019年度	169	50	79	31	8	1	4.00
【文】2020年度	213	73	106	23	8	3	4.12

前回卒業学科

【文】真宗学科	55	26	24	5	0	0	4.38
【文】仏教学科	11	6	4	0	1	0	4.36
【文】哲学科	24	12	9	1	1	1	4.25
【文】社会学科	79	13	45	19	2	0	3.87
【文】歴史学科	83	27	44	8	3	1	4.12
【文】文学科	60	23	28	8	1	0	4.22
【文】国際文化学科	60	20	30	7	3	0	4.12
【文】人文情報学科	57	13	30	10	3	1	3.89
【文】教育・心理学科	101	31	50	13	3	4	4.00

	回答者数	5 とても満足している	4 満足している	3 どちらともいえない	2 あまり満足していない	1 まったく満足していない	回答平均
今回大学全体	485	197	213	56	15	4	4.20
今回学部全体	234	102	102	25	4	1	4.28

卒業年度

【文】2022年度	81	34	35	10	1	1	4.23
【文】2023年度	92	40	41	9	2	0	4.29
【文】2024年度	61	28	26	6	1	0	4.33

今回卒業学科

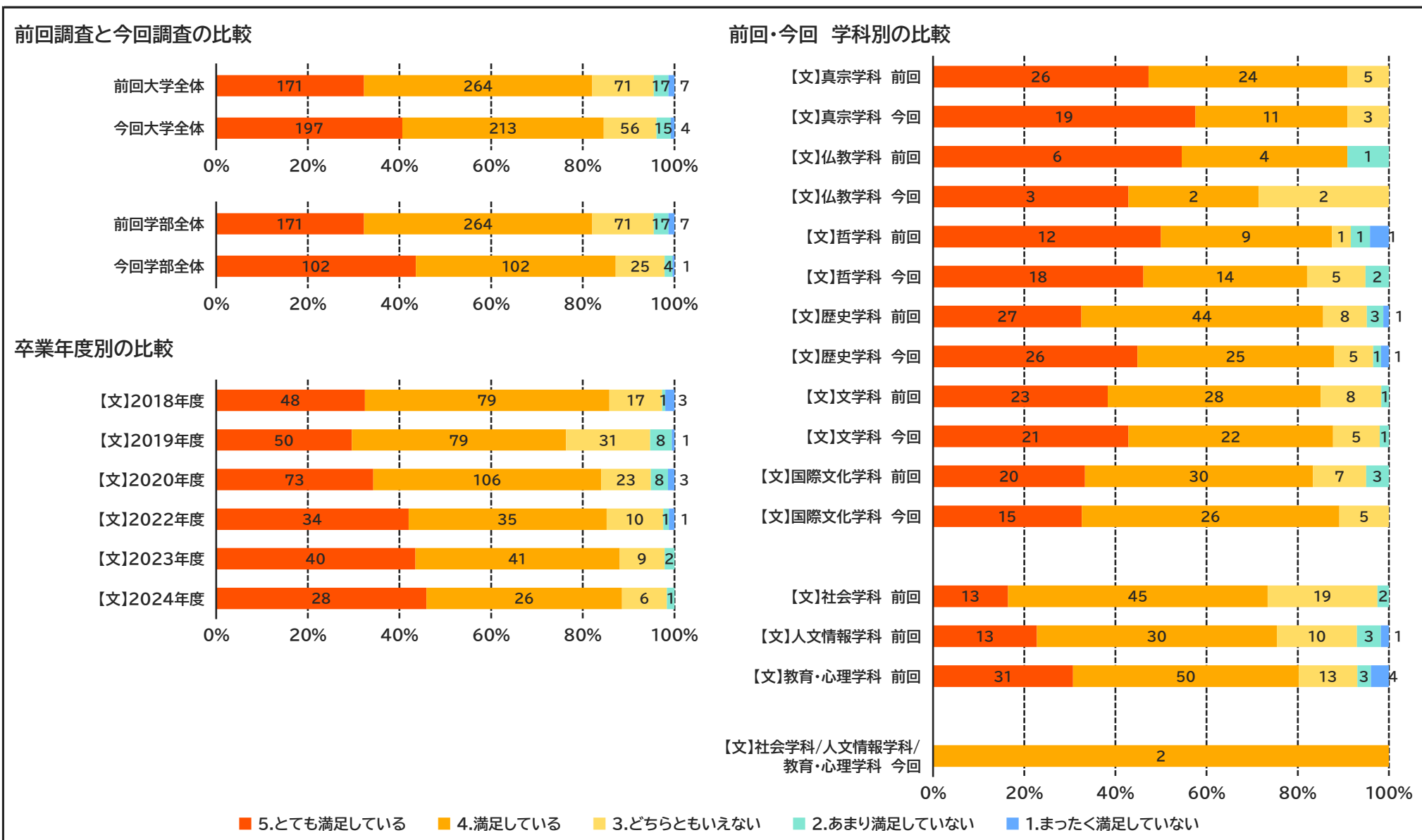
【文】真宗学科	33	19	11	3	0	0	4.48
【文】仏教学科	7	3	2	2	0	0	4.14
【文】哲学科	39	18	14	5	2	0	4.23
【文】歴史学科	58	26	25	5	1	1	4.28
【文】文学科	49	21	22	5	1	0	4.29
【文】国際文化学科	46	15	26	5	0	0	4.22
【文】社会学科/人文情報学科/ 教育・心理学科	2	0	2	0	0	0	4.00

※ 回答平均点…各調査回の大学全体を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記
 前回調査と今回調査を比較すると「とても満足している」と回答した割合が増加し、学部全体の回答平均点は前回調査から0.20ポイント上昇した。また、学科単位では前回・今回いずれも「【文】真宗学科」の回答平均点が最も高く、入学して満足していると感じる学生の割合が多いことがうかがえた。

Ⅲ. 大谷大学への満足度について

Q12：あなたは大谷大学に入学してよかったと思いますか。あなたの気持ちに最も近いもの1つを選択してください。

※ 前回・今回の学科別比較では学科の変化が見やすいように、学科ごとに前回と今回のグラフを並べて表示しています。



Ⅲ. 大谷大学への満足度について

Q12：あなたは大谷大学に入学してよかったと思いますか。あなたの気持ちに最も近いもの1つを選択してください。

● 社会学部

※ 前回調査時は卒業生を輩出していなかったため、文学部 社会学科/人文情報学科との経年比較を実施している。

	回答者数	5 とても満足している	4 満足している	3 どちらともいえない	2 あまり満足していない	1 まったく満足していない	回答平均
前回大学全体	530	171	264	71	17	7	4.08
前回 【文】社会学科/人文情報学科	136	26	75	29	5	1	3.88

卒業年度

【文】社会学科/人文情報学科 2018年度	27	3	17	7	0	0	3.85
【文】社会学科/人文情報学科 2019年度	54	9	29	14	2	0	3.83
【文】社会学科/人文情報学科 2020年度	55	14	29	8	3	1	3.95

前回卒業学科

【文】社会学科	79	13	45	19	2	0	3.87
【文】人文情報学科	57	13	30	10	3	1	3.89

	回答者数	5 とても満足している	4 満足している	3 どちらともいえない	2 あまり満足していない	1 まったく満足していない	回答平均
今回大学全体	485	197	213	56	15	4	4.20
今回学部全体	131	38	65	19	7	2	3.99

卒業年度

【社】2022年度	41	14	20	3	3	1	4.05
【社】2023年度	47	13	23	7	3	1	3.94
【社】2024年度	43	11	22	9	1	0	4.00

今回卒業学科

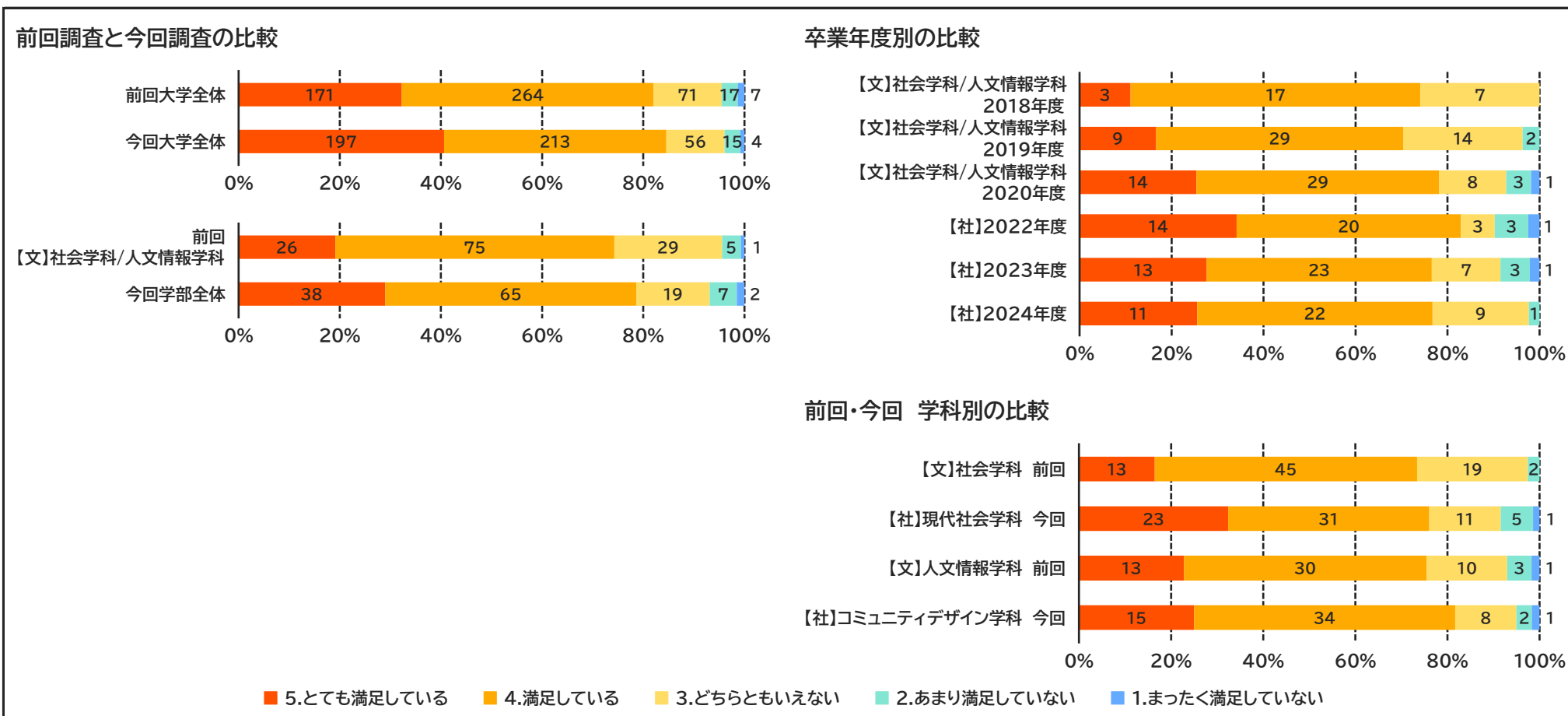
【社】現代社会学科	71	23	31	11	5	1	3.99
【社】コミュニティデザイン学科	60	15	34	8	2	1	4.00

※ 回答平均点…各調査回の大学全体を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記
 社会学部は2018年度開設のため前回調査時には卒業生を輩出していなかったため、学部再編前の「【文】社会学科」「【文】人文情報学科」との経年比較を実施している。
 社会学部では各項目いずれも大学全体と比較して満足度が低い傾向にあり、回答平均点も大学全体から0.15～0.26ポイント低くなっている。また、「【文】社会学科」「【文】人文情報学科」でも類似した傾向がみられ、社会学部新設後も回答傾向が引き継がれている。

Ⅲ. 大谷大学への満足度について

Q12：あなたは大谷大学に入学してよかったと思いますか。あなたの気持ちに最も近いもの1つを選択してください。

※ 前回・今回の学科別比較では学科の変化が見やすいように、学科ごとに前回と今回のグラフを並べて表示しています。



Ⅲ. 大谷大学への満足度について

Q12：あなたは大谷大学に入学してよかったと思いますか。あなたの気持ちに最も近いもの1つを選択してください。

● 教育学部

※ 前回調査時は卒業生を輩出していなかったため、文学部 教育・心理学科との経年比較を実施している。

	回答者数	5 とても満足している	4 満足している	3 どちらともいえない	2 あまり満足していない	1 まったく満足していない	回答平均
前回大学全体	530	171	264	71	17	7	4.08
前回 【文】教育・心理学科	101	31	50	13	3	4	4.00

卒業年度

【文】教育・心理学科 2018年度	35	11	20	3	0	1	4.14
【文】教育・心理学科 2019年度	28	10	11	5	1	1	4.00
【文】教育・心理学科 2020年度	38	10	19	5	2	2	3.87

前回卒業学科

【文】教育・心理学科	79	31	50	13	3	4	4.00
------------	----	----	----	----	---	---	------

	回答者数	5 とても満足している	4 満足している	3 どちらともいえない	2 あまり満足していない	1 まったく満足していない	回答平均
今回大学全体	485	197	213	56	15	4	4.20
今回学部全体	99	52	39	7	1	0	4.43

卒業年度

【教】2022年度	29	18	10	0	1	0	4.55
【教】2023年度	31	13	14	4	0	0	4.29
【教】2024年度	39	21	15	3	0	0	4.46

今回卒業学科

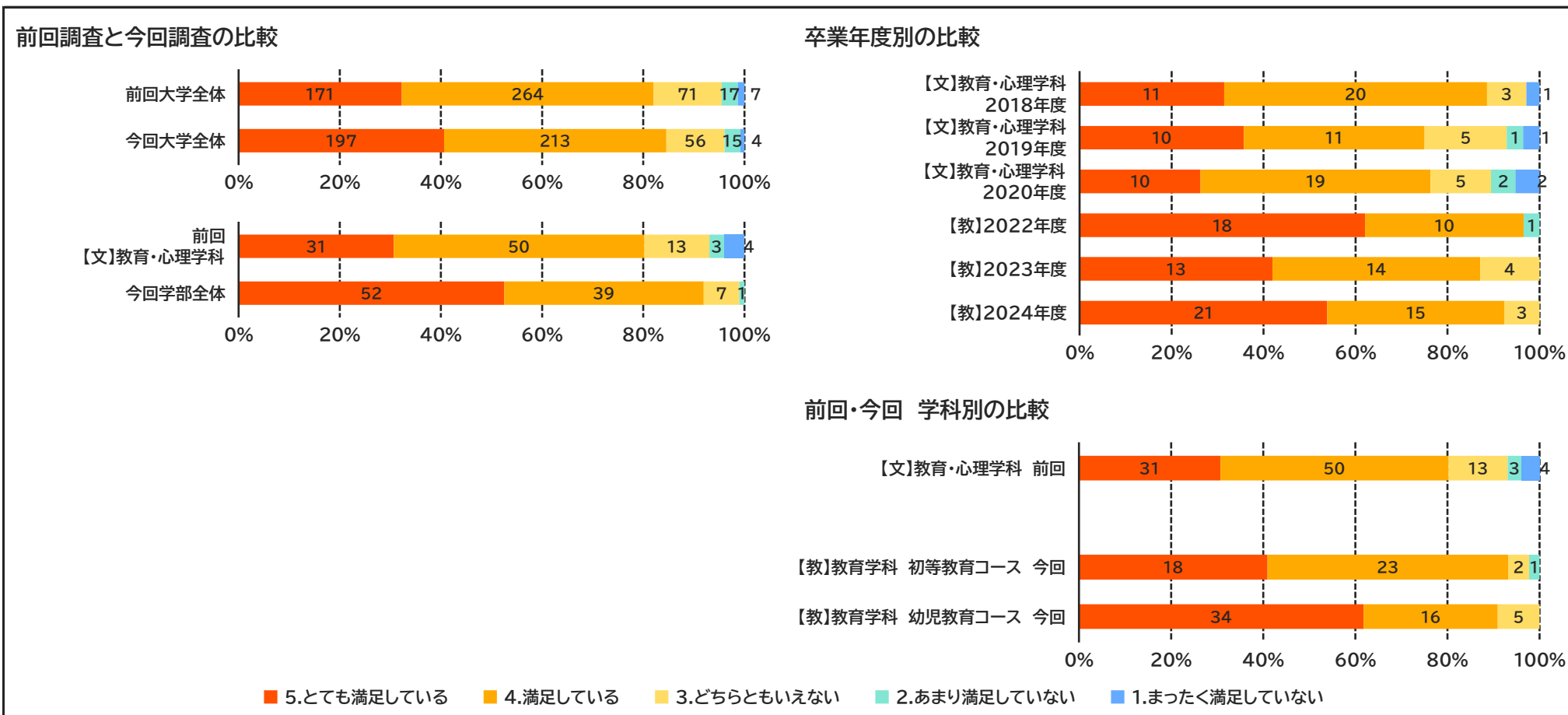
【教】教育学科 初等教育コース	44	18	23	2	1	0	4.32
【教】教育学科 幼児教育コース	55	34	16	5	0	0	4.53

※ 回答平均点…各調査回の大学全体を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記
 教育学部は2018年度開設のため前回調査時には卒業生を輩出していなかったため、学部再編前の「【文】教育・心理学科」との経年比較を実施している。
 教育学部では各項目いずれも大学平均と比較して満足傾向が高く、回答平均点は大学全体から0.09～0.35ポイント高くなっている。また、「【文】教育・心理学科」との比較では教育学部開設後の回答平均点が軒並み上回っており、満足度が大きく向上したことがうかがえる。

Ⅲ. 大谷大学への満足度について

Q12：あなたは大谷大学に入学してよかったと思いますか。あなたの気持ちに最も近いもの1つを選択してください。

※ 前回・今回の学科別比較では学科の変化が見やすいように、学科ごとに前回と今回のグラフを並べて表示しています。



Ⅲ. 大谷大学への満足度について

Q12：あなたは大谷大学に入学してよかったと思いますか。あなたの気持ちに最も近いもの1つを選択してください。

● 国際学部

※ 前回調査時は卒業生を輩出していなかったため、文学部 国際文化学科との経年比較を実施している。

	回答者数	5 とても満足している	4 満足している	3 どちらともいえない	2 あまり満足していない	1 まったく満足していない	回答平均
前回大学全体	530	171	264	71	17	7	4.08
前回 【文】国際文化学科	60	20	30	7	3	0	4.12

卒業年度

【文】国際文化学科 2018年度	16	5	8	2	1	0	4.06
【文】国際文化学科 2019年度	16	6	6	3	1	0	4.06
【文】国際文化学科 2020年度	28	9	16	2	1	0	4.18

前回卒業学科

【文】国際文化学科	60	20	30	7	3	0	4.12
-----------	----	----	----	---	---	---	------

	回答者数	5 とても満足している	4 満足している	3 どちらともいえない	2 あまり満足していない	1 まったく満足していない	回答平均
今回大学全体	485	197	213	56	15	4	4.20
今回 【文】/【国】国際文化学科	64	19	31	10	3	1	4.00

卒業年度

【文】国際文化学科 2022年度	21	8	10	3	0	0	4.24
【文】国際文化学科 2023年度	22	6	14	2	0	0	4.18
【国】2024年度	21	5	7	5	3	1	3.57

今回卒業学科

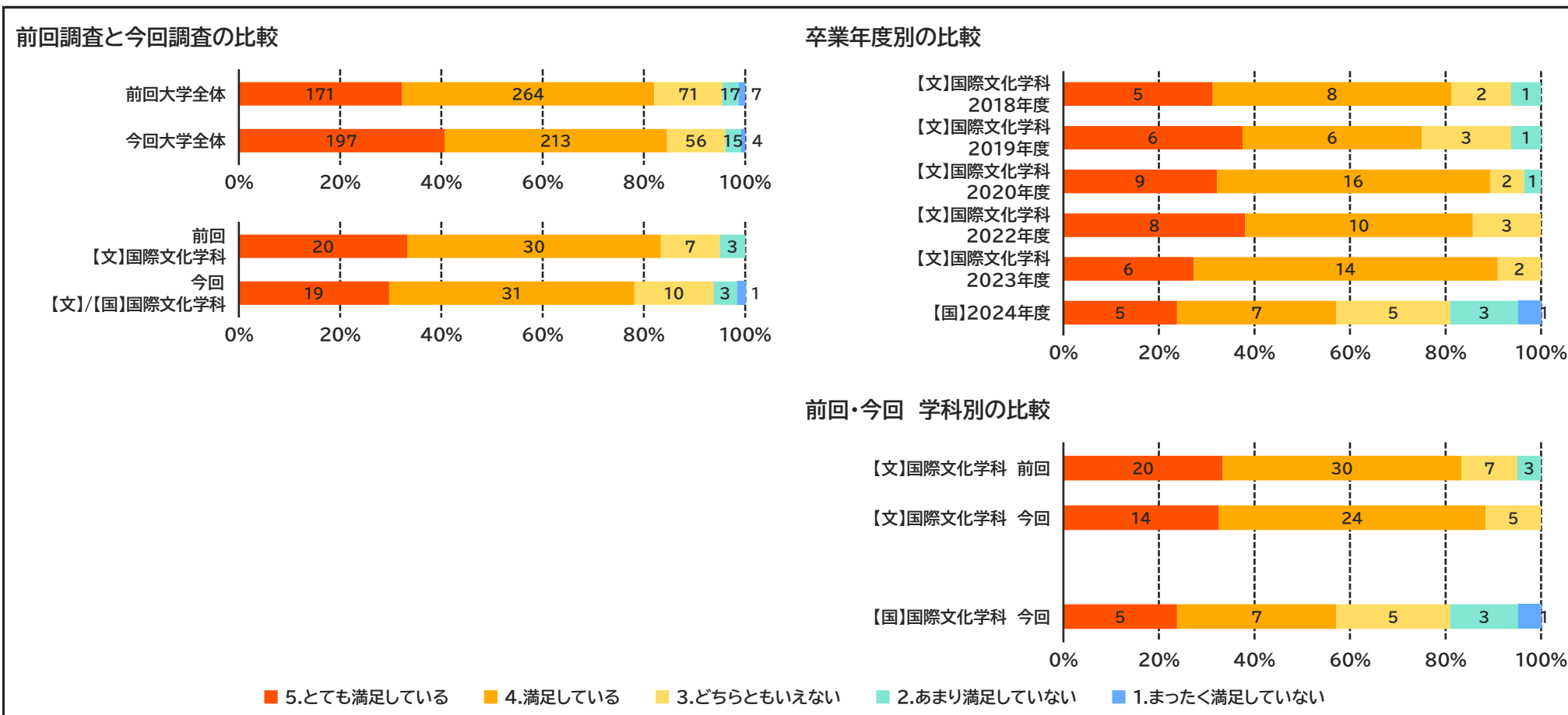
【文】国際文化学科	43	14	24	5	0	0	4.21
【国】国際文化学科	21	5	7	5	3	1	3.57

※ 回答平均点…各調査回の大学全体を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記
 国際学部は2021年度開設につき回答者は全員2024年度卒であるため、2023年度までの「【文】国際文化学科」を含めた経年比較を実施している。
 学部改組前の「【文】国際文化学科」ではおおむね大学全体の回答平均点に近い満足度が得られていた一方、2024年度卒の1期生が回答した「【国】国際文化学科」では回答平均点が3.57で大学全体から0.63ポイント低く、満足度の大幅な低下がみられる。

Ⅲ. 大谷大学への満足度について

Q12：あなたは大谷大学に入学してよかったと思いますか。あなたの気持ちに最も近いもの1つを選択してください。

※ 前回・今回の学科別比較では学科の変化が見やすいように、学科ごとに前回と今回のグラフを並べて表示しています。



Ⅲ. 大谷大学への満足度について

Q13：大谷大学での仏教精神に基づく教育は、あなたの卒業後の生き方、人生観などに何らかの影響をもたらしていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いもの1つを選択してください。

● 文学部

	回答者数	5 とても そう思う	4 そう思う	3 どちら とも いえない	2 あまり そう 思わない	1 まったく そう 思わない	回答 平均
前回大学全体	530	106	177	135	72	40	3.45
前回学部全体	530	106	177	135	72	40	3.45

卒業年度

【文】2018年度	148	27	50	37	24	10	3.41
【文】2019年度	169	31	52	46	27	13	3.36
【文】2020年度	213	48	75	52	21	17	3.54

前回卒業学科

【文】真宗学科	55	35	15	5	0	0	4.55
【文】仏教学科	11	6	4	0	0	1	4.27
【文】哲学科	24	3	8	6	4	3	3.17
【文】社会学科	79	5	21	29	14	10	2.96
【文】歴史学科	83	16	32	24	6	5	3.58
【文】文学科	60	11	20	19	9	1	3.52
【文】国際文化学科	60	12	22	14	10	2	3.53
【文】人文情報学科	57	8	18	18	5	8	3.23
【文】教育・心理学科	101	10	37	20	24	10	3.13

	回答者数	5 とても そう思う	4 そう思う	3 どちら とも いえない	2 あまり そう 思わない	1 まったく そう 思わない	回答 平均
今回大学全体	485	95	150	137	58	45	3.40
今回学部全体	234	63	74	58	23	16	3.62

卒業年度

【文】2022年度	81	21	26	20	8	6	3.59
【文】2023年度	92	23	26	27	10	6	3.54
【文】2024年度	61	19	22	11	5	4	3.77

今回卒業学科

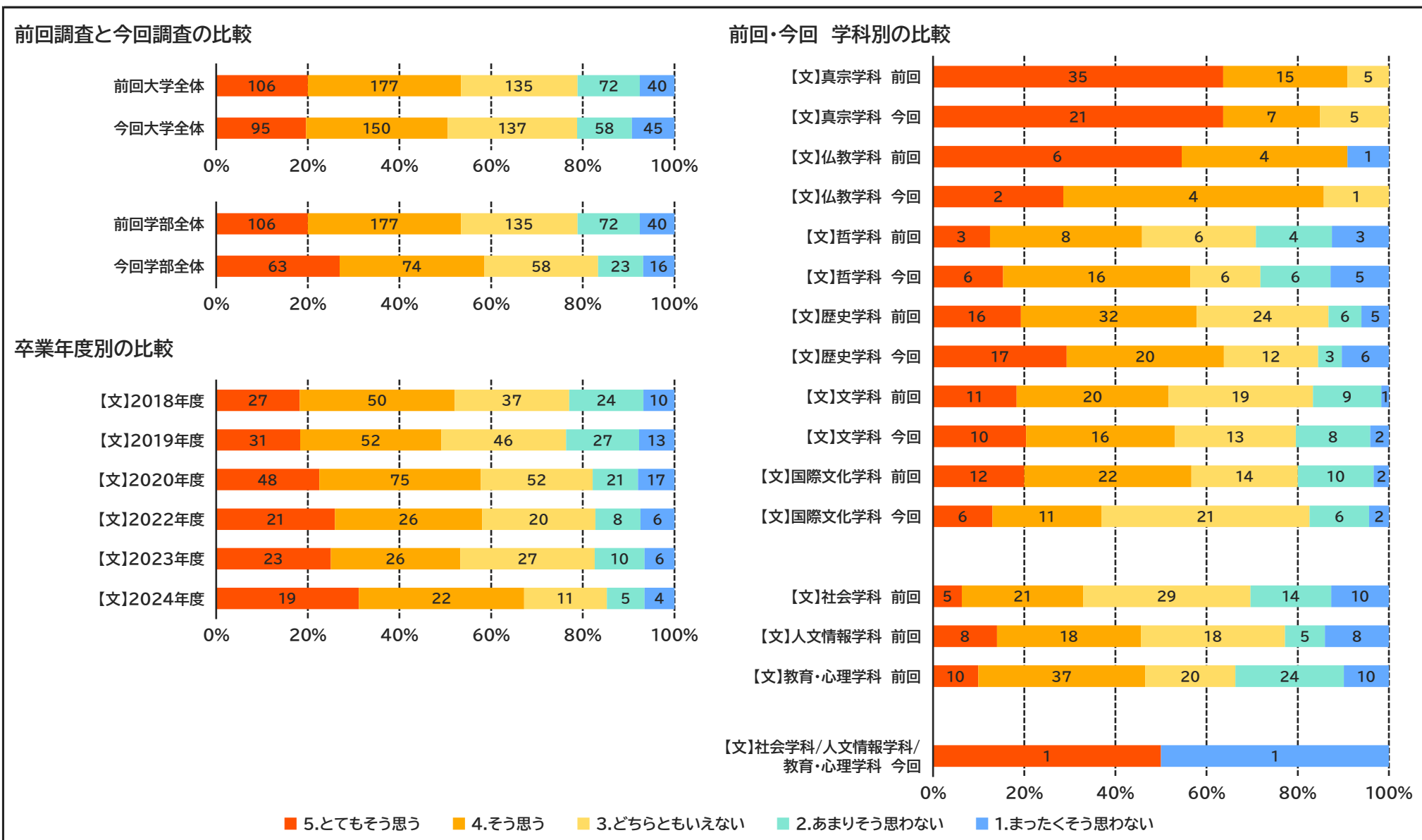
【文】真宗学科	33	21	7	5	0	0	4.48
【文】仏教学科	7	2	4	1	0	0	4.14
【文】哲学科	39	6	16	6	6	5	3.31
【文】歴史学科	58	17	20	12	3	6	3.67
【文】文学科	49	10	16	13	8	2	3.49
【文】国際文化学科	46	6	11	21	6	2	3.28
【文】社会学科/人文情報学科/ 教育・心理学科	2	1	0	0	0	1	3.00

※ 回答平均点…各調査回の大学全体を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記
文学部の前回調査と今回調査を比較すると直近の卒業年度に近づくにつれて「とてもそう思う」「そう思う」と肯定的な回答の割合が上昇する傾向がみられ、「【文】2024年度」では回答平均点が3.40と今回の大学全体から0.37ポイント高くなっている。また、学科単位では前回・今回いずれも「【文】真宗学科」「【文】仏教学科」の回答平均点が顕著に高い傾向にあり、仏教精神に基づく教育に対して大きな影響をもたらしていることがうかがえる。

Ⅲ. 大谷大学への満足度について

Q13：大谷大学での仏教精神に基づく教育は、あなたの卒業後の生き方、人生観などに何らかの影響をもたらしていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いもの1つを選択してください。

※ 前回・今回の学科別比較では学科の変化が見やすいように、学科ごとに前回と今回のグラフを並べて表示しています。



Ⅲ. 大谷大学への満足度について

Q13：大谷大学での仏教精神に基づく教育は、あなたの卒業後の生き方、人生観などに何らかの影響をもたらしていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いもの1つを選択してください。

● 社会学部

※ 前回調査時は卒業生を輩出していなかったため、文学部 社会学科/人文情報学科との経年比較を実施している。

	回答者数	5 とても そう思う	4 そう思う	3 どちら とも いえない	2 あまり そう 思わない	1 まったく そう 思わない	回答平均
前回大学全体	530	106	177	135	72	40	3.45
前回 【文】社会学科/人文情報学科	136	13	39	47	19	18	3.07

卒業年度

【文】社会学科/人文情報学科 2018年度	27	0	8	11	6	2	2.93
【文】社会学科/人文情報学科 2019年度	54	6	16	20	6	6	3.19
【文】社会学科/人文情報学科 2020年度	55	7	15	16	7	10	3.04

前回卒業学科

【文】社会学科	79	5	21	29	14	10	2.96
【文】人文情報学科	57	8	18	18	5	8	3.23

	回答者数	5 とても そう思う	4 そう思う	3 どちら とも いえない	2 あまり そう 思わない	1 まったく そう 思わない	回答平均
今回大学全体	485	95	150	137	58	45	3.40
今回学部全体	131	20	40	41	15	15	3.27

卒業年度

【社】2022年度	41	8	9	12	8	4	3.22
【社】2023年度	47	4	21	14	3	5	3.34
【社】2024年度	43	8	10	15	4	6	3.23

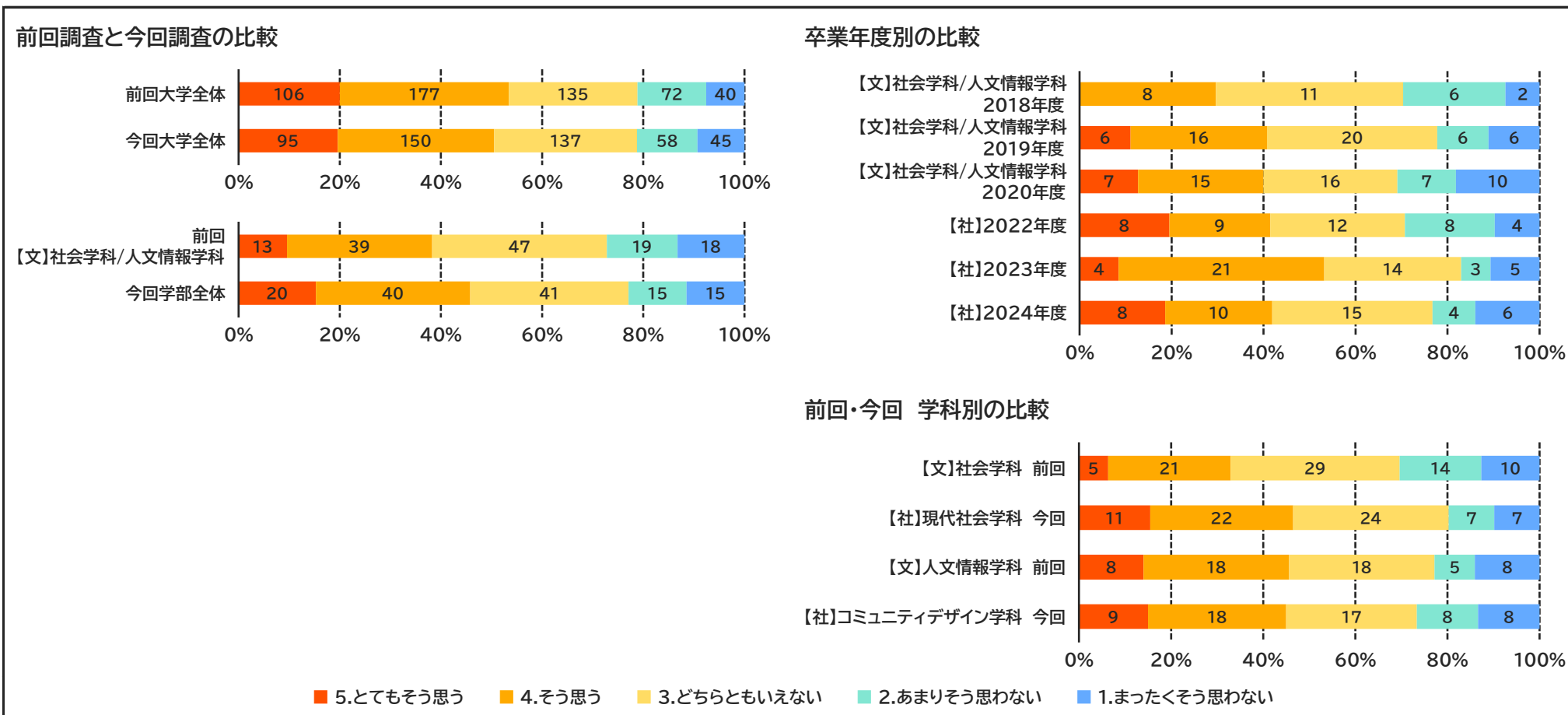
今回卒業学科

【社】現代社会学科	71	11	22	24	7	7	3.32
【社】コミュニティデザイン学科	60	9	18	17	8	8	3.20

※ 回答平均点…各調査回の大学全体を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記
 社会学部は2018年度開設のため前回調査時には卒業生を輩出していなかったため、「【文】社会学科」「【文】人文情報学科」との経年比較を実施している。
 社会学部では各項目いずれも大学全体と比較して影響度が低い傾向にあり、回答平均点も大学全体から0.06～0.20ポイント低くなっている。また、前回調査と今回調査の経年比較では大学全体とのポイント差が縮まっており、社会学部における仏教精神に基づく教育が一定程度浸透していることが読み取れる。

Q13：大谷大学での仏教精神に基づく教育は、あなたの卒業後の生き方、人生観などに何らかの影響をもたらしていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いもの1つを選択してください。

※ 前回・今回の学科別比較では学科の変化が見やすいように、学科ごとに前回と今回のグラフを並べて表示しています。



Ⅲ. 大谷大学への満足度について

Q13：大谷大学での仏教精神に基づく教育は、あなたの卒業後の生き方、人生観などに何らかの影響をもたらしていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いもの1つを選択してください。

● 教育学部

※ 前回調査時は卒業生を輩出していなかったため、文学部 教育・心理学科との経年比較を実施している。

	回答者数	5 とても そう思う	4 そう思う	3 どちら とも いえない	2 あまり そう 思わない	1 まったく そう 思わない	回答 平均
前回大学全体	530	106	177	135	72	40	3.45
前回 【文】教育・心理学科	101	10	37	20	24	10	3.13

卒業年度

【文】教育・心理学科 2018年度	35	2	10	10	9	4	2.91
【文】教育・心理学科 2019年度	28	2	14	1	9	2	3.18
【文】教育・心理学科 2020年度	38	6	13	9	6	4	3.29

前回卒業学科

【文】教育・心理学科	79	10	37	20	24	10	3.13
------------	----	----	----	----	----	----	------

	回答者数	5 とても そう思う	4 そう思う	3 どちら とも いえない	2 あまり そう 思わない	1 まったく そう 思わない	回答 平均
今回大学全体	485	95	150	137	58	45	3.40
今回学部全体	99	10	31	32	16	10	3.15

卒業年度

【教】2022年度	29	2	8	10	7	2	3.03
【教】2023年度	31	2	11	8	4	6	2.97
【教】2024年度	39	6	12	14	5	2	3.38

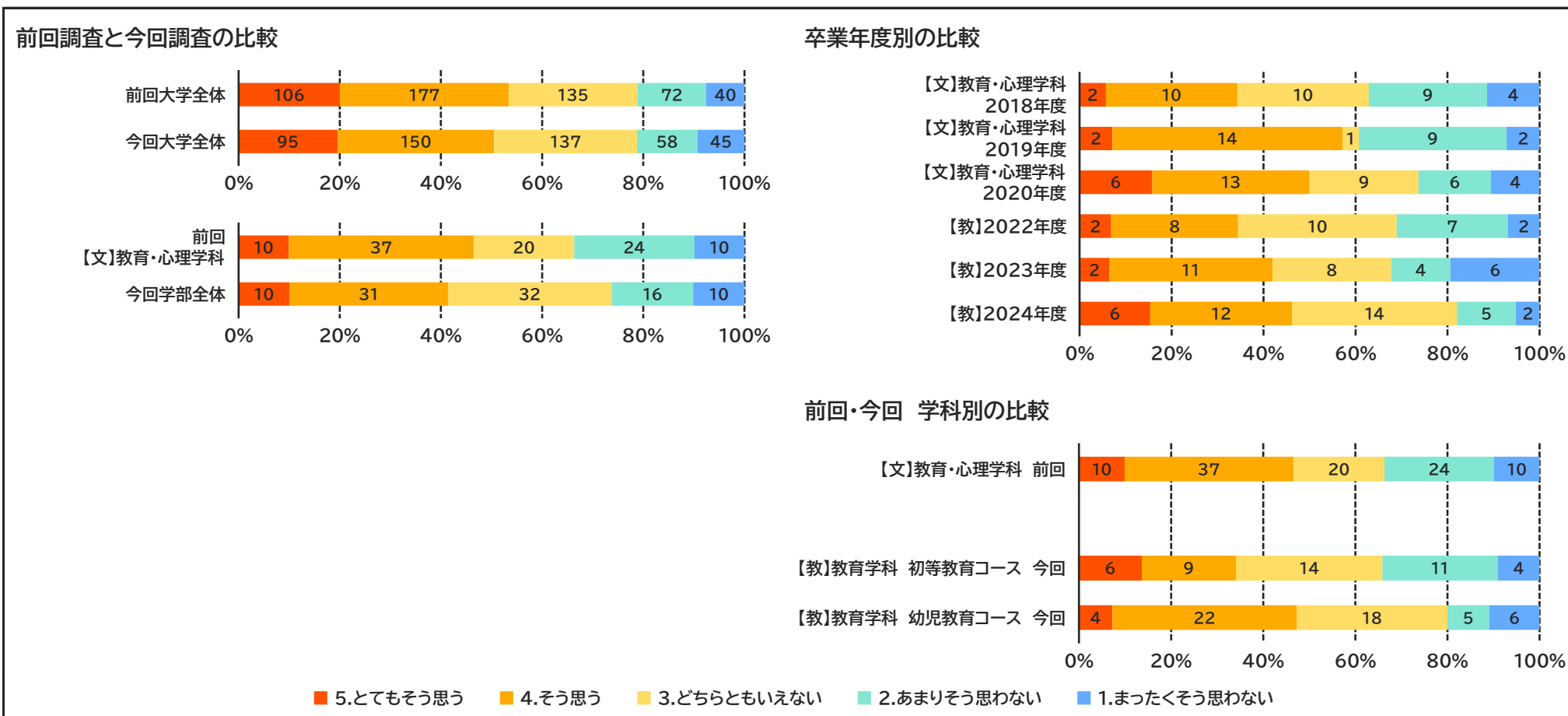
今回卒業学科

【教】教育学科 初等教育コース	44	6	9	14	11	4	3.05
【教】教育学科 幼児教育コース	55	4	22	18	5	6	3.24

※ 回答平均点…各調査回の大学全体を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記
 教育学部は2018年度開設のため前回調査時には卒業生を輩出していなかったため、「【文】教育・心理学科」との経年比較を実施している。
 教育学部では各項目いずれも大学平均と比較して影響度が低く、卒業年度では「【教】2022年度」「【教】2023年度」、学科では「【教】教育学科 初等教育コース」の回答平均点が大学平均と比較して-0.30ポイント以下となっている。また、「【文】教育・心理学科」でも類似した傾向がみられ、教育学部新設後も回答傾向が引き継がれている。

Q13：大谷大学での仏教精神に基づく教育は、あなたの卒業後の生き方、人生観などに何らかの影響をもたらしていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いもの1つを選択してください。

※ 前回・今回の学科別比較では学科の変化が見やすいように、学科ごとに前回と今回のグラフを並べて表示しています。



Ⅲ. 大谷大学への満足度について

Q13：大谷大学での仏教精神に基づく教育は、あなたの卒業後の生き方、人生観などに何らかの影響をもたらしていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いもの1つを選択してください。

● 国際学部

※ 前回調査時は卒業生を輩出していなかったため、文学部 国際文化学科との経年比較を実施している。

	回答者数	5 とても そう思う	4 そう思う	3 どちら とも いえない	2 あまり そう 思わない	1 まったく そう 思わない	回答平均
前回大学全体	530	106	177	135	72	40	3.45
前回 【文】国際文化学科	60	12	22	14	10	2	3.53

卒業年度

【文】国際文化学科 2018年度	16	2	6	3	4	1	3.25
【文】国際文化学科 2019年度	16	5	3	4	4	0	3.56
【文】国際文化学科 2020年度	28	5	13	7	2	1	3.68

前回卒業学科

【文】国際文化学科	60	12	22	14	10	2	3.53
-----------	----	----	----	----	----	---	------

	回答者数	5 とても そう思う	4 そう思う	3 どちら とも いえない	2 あまり そう 思わない	1 まったく そう 思わない	回答平均
今回大学全体	485	95	150	137	58	45	3.40
今回 【文】/【国】国際文化学科	64	7	15	26	10	6	3.11

卒業年度

【文】国際文化学科 2022年度	21	2	6	10	2	1	3.29
【文】国際文化学科 2023年度	22	3	4	10	4	1	3.18
【国】2024年度	21	2	5	6	4	4	2.86

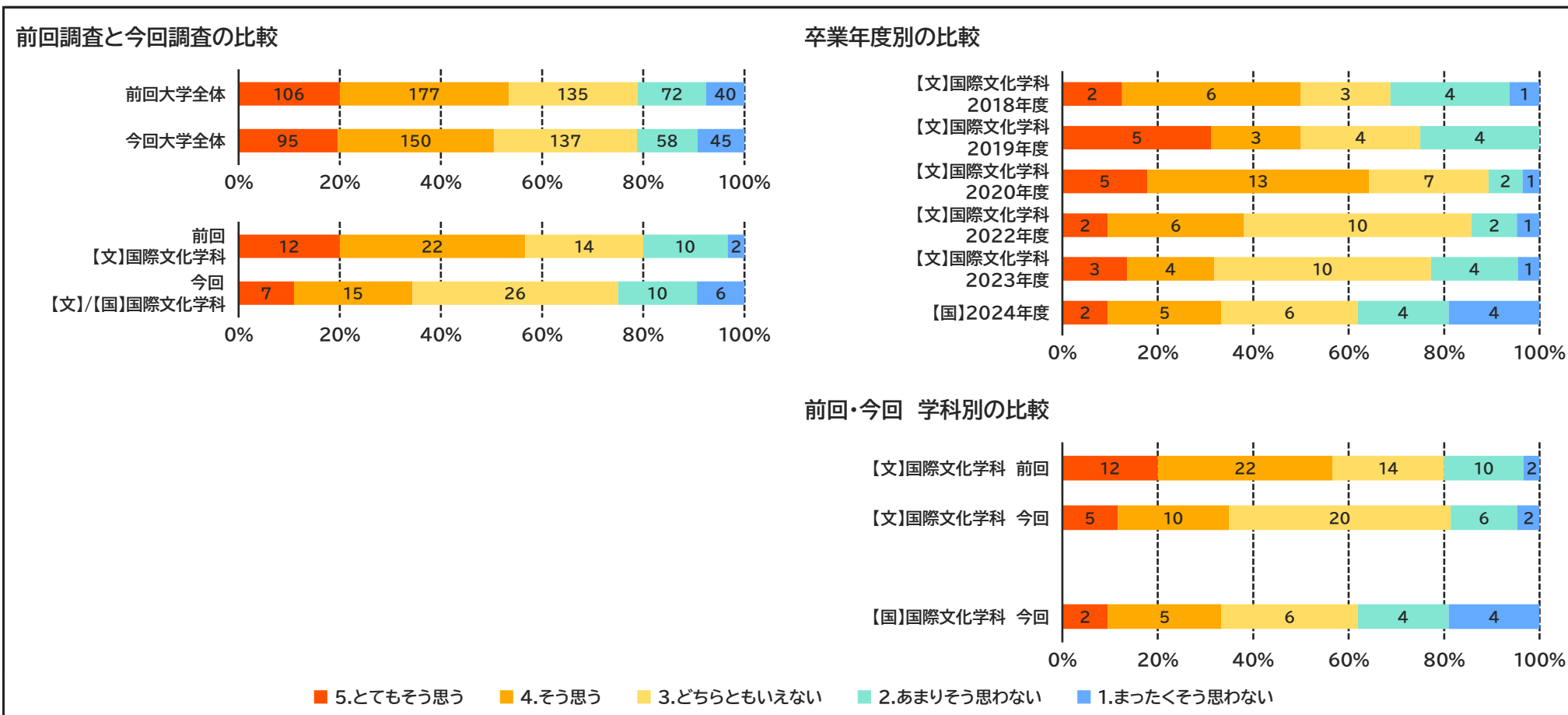
今回卒業学科

【文】国際文化学科	43	5	10	20	6	2	3.23
【国】国際文化学科	21	2	5	6	4	4	2.86

※ 回答平均点…各調査回の大学全体を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記
 国際学部は2021年度開設につき回答者は全員2024年度卒であるため、2023年度までの「【文】国際文化学科」を含めた経年比較を実施している。
 前回調査時の「【文】国際文化学科」では大学全体の回答平均点を上回っていたが、今回調査では直近の卒業年度に近づくにつれて回答平均点が低下する傾向がみられ、2024年度卒の1期生が回答した「【国】国際文化学科」では回答平均点が2.86で大学全体から0.54ポイント下回っている。

Q13：大谷大学での仏教精神に基づく教育は、あなたの卒業後の生き方、人生観などに何らかの影響をもたらしていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いもの1つを選択してください。

※ 前回・今回の学科別比較では学科の変化が見やすいように、学科ごとに前回と今回のグラフを並べて表示しています。



Ⅲ. 大谷大学への満足度について

Q14：大谷大学に興味をもっている家族や後輩、知人がいるとします。あなたは那些人に大谷大学への入学を勧めたいと思いますか。0～10(0=全く思わない、5=どちらでもない、10=非常にそう思う)で回答してください。

※ 前回調査と今回調査で選択肢の聞き方を変更しているため単純な比較は行っていない。

	回答者数	9～10 推奨者	7～8 中立者	0～6 批判者	スコア
全体	485	98	200	187	-18.4

卒業年度

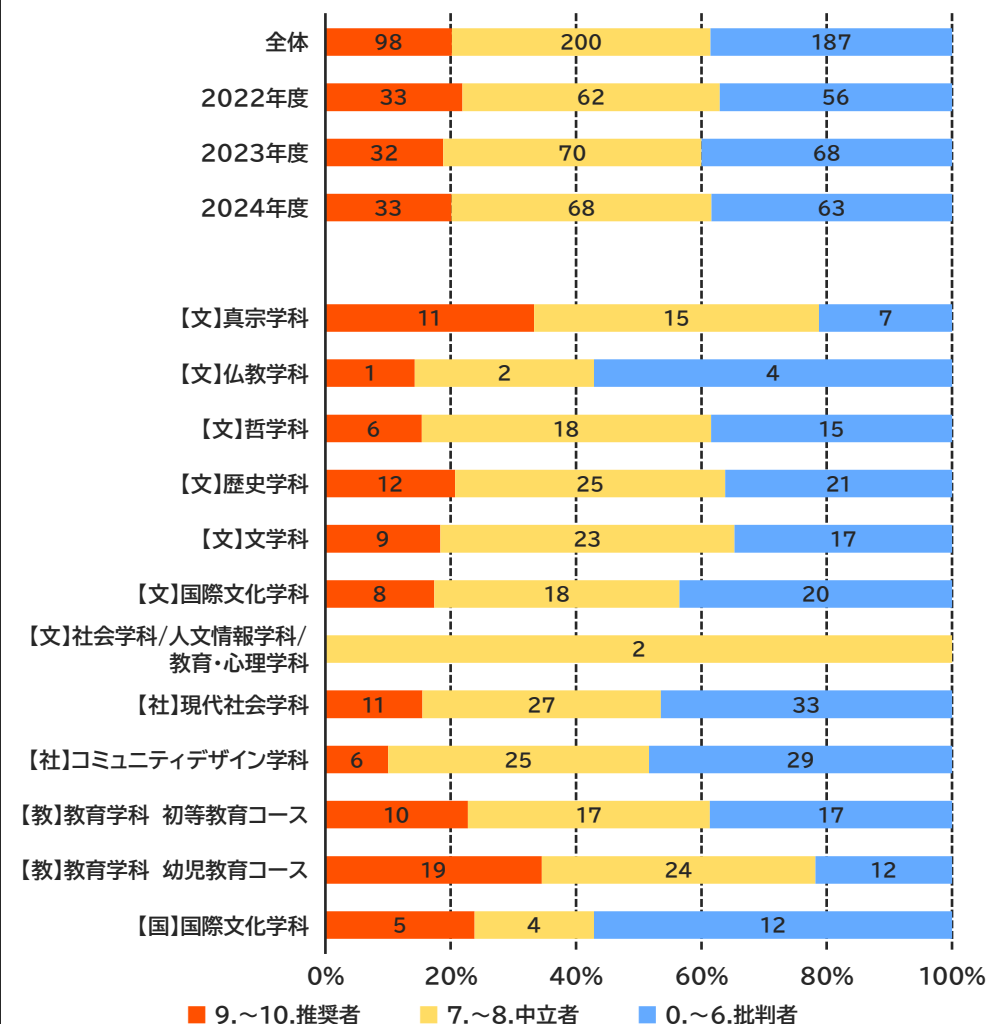
2022年度	151	33	62	56	-15.2
2023年度	170	32	70	68	-21.2
2024年度	164	33	68	63	-18.3

卒業学科

【文】真宗学科	33	11	15	7	12.1
【文】仏教学科	7	1	2	4	-42.9
【文】哲学科	39	6	18	15	-23.1
【文】歴史学科	58	12	25	21	-15.5
【文】文学科	49	9	23	17	-16.3
【文】国際文化学科	46	8	18	20	-26.1
【文】社会学科/人文情報学科/教育・心理学科	2	0	2	0	0.0
【社】現代社会学科	71	11	27	33	-31.0
【社】コミュニティデザイン学科	60	6	25	29	-38.3
【教】教育学科 初等教育コース	44	10	17	17	-15.9
【教】教育学科 幼児教育コース	55	19	24	12	12.7
【国】国際文化学科	21	5	4	12	-33.3

※ スコア…NPS®(Net Promoter Score)を使用。推奨度9～10を「推奨者」、7～8を「中立者」、0～6を「批判者」として(推奨者-批判者)/回答者数×100で算出。NPS®のスコアは米国で作成された指標で、国民性の違いから日本ではマイナス点になる場合が多い。算出されたスコアは学科間でのバラつきが大きく、「【教】教育学科 幼児教育コース」「【文】真宗学科」を除き、大半の項目でスコアはマイナスとなっている。特に「【文】仏教学科」や社会学部の両学科、「【国】国際文化学科」ではマイナス30点以下のスコアを記録し、これらの学科では批判者の割合が半数程度を占めている。

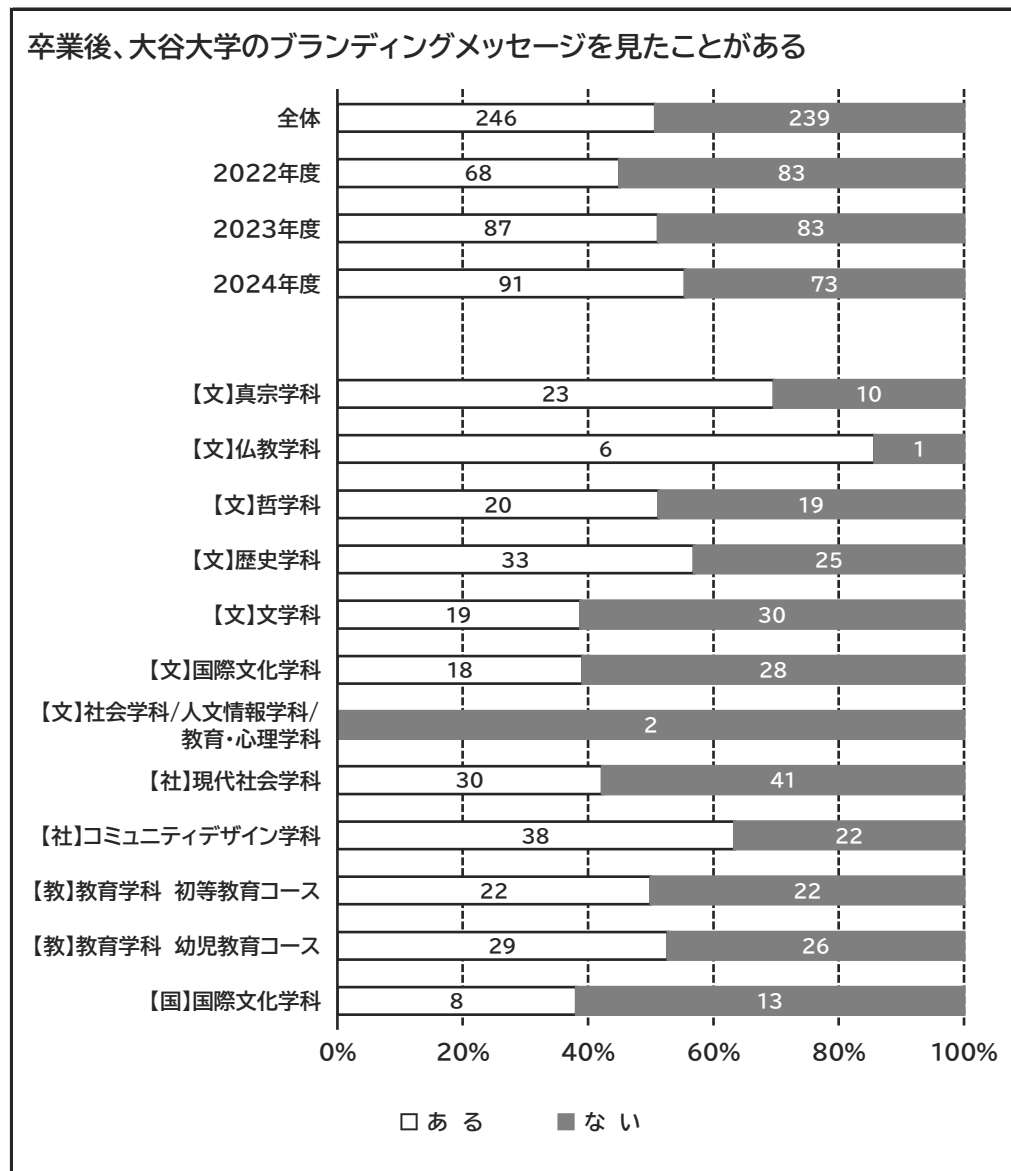
後輩や知人に入学を勧めたい



Ⅲ. 大谷大学への満足度について

Q15：卒業後、大谷大学のブランディングメッセージ「問い、続ける」を見たことがありますか。あてはまるもの1つを選択してください。

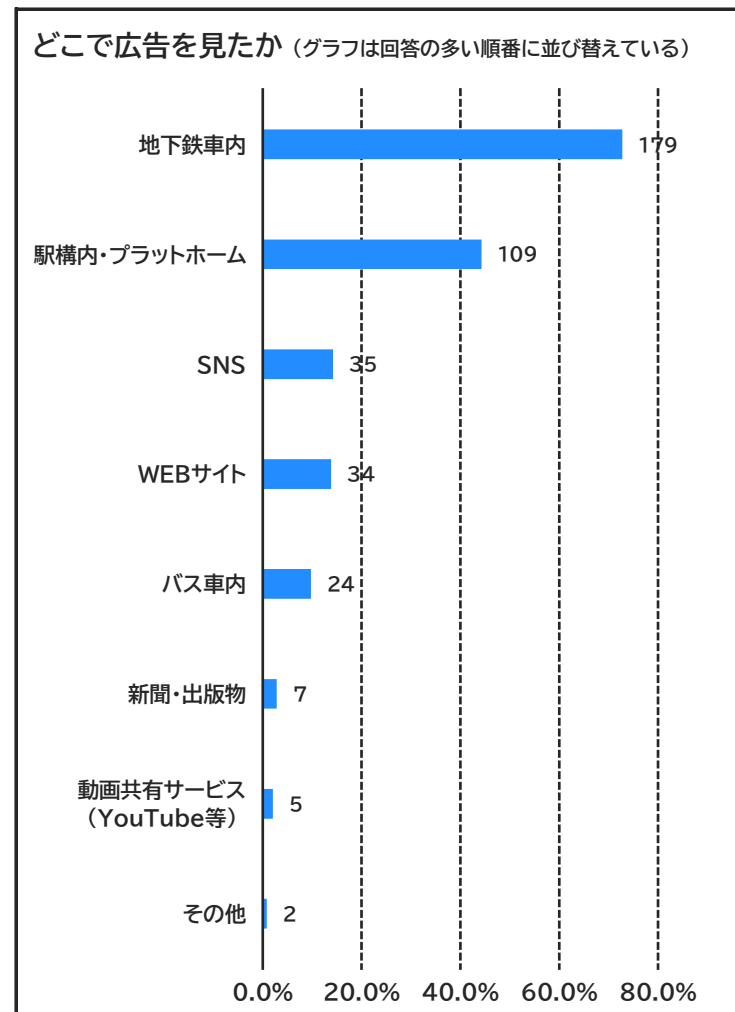
	回答者数	ある	ない
全体	485	246	239
卒業年度			
2022年度	151	68	83
2023年度	170	87	83
2024年度	164	91	73
卒業学科			
【文】真宗学科	33	23	10
【文】仏教学科	7	6	1
【文】哲学科	39	20	19
【文】歴史学科	58	33	25
【文】文学科	49	19	30
【文】国際文化学科	46	18	28
【文】社会学科/人文情報学科 教育・心理学科	2	0	2
【社】現代社会学科	71	30	41
【社】コミュニティデザイン学科	60	38	22
【教】教育学科 初等教育コース	44	22	22
【教】教育学科 幼児教育コース	55	29	26
【国】国際文化学科	21	8	13



Ⅲ. 大谷大学への満足度について

Q16-1 : Q15で「ある」を選択した方のみ どこで見ましたか。あてはまるもの全てを選択してください。

	回答者数	地下鉄車内	バス車内	駅構内・プラットホーム	新聞・出版物	SNS	動画共有サービス (YouTube等)	WEBサイト	その他	無回答
全体	246	179	24	109	7	35	5	34	2	0
卒業年度										
2022年度	68	50	7	31	2	8	2	8	1	0
2023年度	87	68	5	34	3	8	0	12	1	0
2024年度	91	61	12	44	2	19	3	14	0	0
卒業学科										
【文】真宗学科	23	19	4	11	1	4	0	6	2	0
【文】仏教学科	6	4	0	3	0	1	0	1	0	0
【文】哲学科	20	16	2	11	0	3	0	6	0	0
【文】歴史学科	33	20	2	12	1	4	0	6	0	0
【文】文学科	19	15	1	10	1	1	2	1	0	0
【文】国際文化学科	18	13	2	7	0	0	1	1	0	0
【文】社会科学科/人文情報学科 教育・心理学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【社】現代社会学科	30	22	4	14	1	5	0	4	0	0
【社】コミュニティデザイン学科	38	26	3	13	1	7	1	4	0	0
【教】教育学科 初等教育コース	22	17	1	9	2	4	1	3	0	0
【教】教育学科 幼児教育コース	29	23	3	14	0	4	0	2	0	0
【国】国際文化学科	8	4	2	5	0	2	0	0	0	0



※ どこで広告を見たかは「地下鉄車内」が一番多く179名、次いで「駅構内・プラットホーム」が109名、以下「SNS」が35名、「WEBサイト」が34名と続いている。

Q16-2 : Q16-1で「その他」を選択した方のみ 具体的な内容をご記入ください。

- ・ 大学学内（【文】真宗学科）
- ・ 難波別院（【文】真宗学科）

Ⅲ. 大谷大学への満足度について

Q17-1: 大谷大学が今後さらに充実すべき点は何だとお考えですか。あてはまるもの全てを選択してください。

(上段)回答数/(下段)比率

	回答者数	教養教育	専門教育	日本語教育	外国語教育	情報教育	キャリア形成教育	健康・生活相談支援	就職・キャリア支援	大学院進学情報	障がい学生支援	サークル・スポーツ活動支援	奨学金制度	施設・設備	国際交流活動	地域連携活動	大学広報活動	生涯学習・社会人講座	その他
全体	485	134	125	77	165	104	100	32	145	33	25	88	78	67	59	48	36	49	11
	100.0%	27.6%	25.8%	15.9%	34.0%	21.4%	20.6%	6.6%	29.9%	6.8%	5.2%	18.1%	16.1%	13.8%	12.2%	9.9%	7.4%	10.1%	2.3%

卒業年度

2022年度	151	47	41	31	54	35	33	14	48	10	9	27	30	19	24	13	15	19	4
	100.0%	31.1%	27.2%	20.5%	35.8%	23.2%	21.9%	9.3%	31.8%	6.6%	6.0%	17.9%	19.9%	12.6%	15.9%	8.6%	9.9%	12.6%	2.6%
2023年度	170	37	41	24	65	37	40	10	48	9	5	34	24	23	19	14	10	17	4
	100.0%	21.8%	24.1%	14.1%	38.2%	21.8%	23.5%	5.9%	28.2%	5.3%	2.9%	20.0%	14.1%	13.5%	11.2%	8.2%	5.9%	10.0%	2.4%
2024年度	164	50	43	22	46	32	27	8	49	14	11	27	24	25	16	21	11	13	3
	100.0%	30.5%	26.2%	13.4%	28.0%	19.5%	16.5%	4.9%	29.9%	8.5%	6.7%	16.5%	14.6%	15.2%	9.8%	12.8%	6.7%	7.9%	1.8%

卒業学科

【文】真宗学科	33	6	12	8	6	4	4	2	7	5	2	4	5	8	1	1	2	7	3
	100.0%	18.2%	36.4%	24.2%	18.2%	12.1%	12.1%	6.1%	21.2%	15.2%	6.1%	12.1%	15.2%	24.2%	3.0%	3.0%	6.1%	21.2%	9.1%
【文】仏教学科	7	2	2	0	4	2	2	0	2	1	0	3	4	1	3	3	1	1	0
	100.0%	28.6%	28.6%	0.0%	57.1%	28.6%	28.6%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%	42.9%	57.1%	14.3%	42.9%	42.9%	14.3%	14.3%	0.0%
【文】哲学科	39	10	11	6	10	10	6	2	10	5	4	9	6	6	3	2	2	5	1
	100.0%	25.6%	28.2%	15.4%	25.6%	25.6%	15.4%	5.1%	25.6%	12.8%	10.3%	23.1%	15.4%	15.4%	7.7%	5.1%	5.1%	12.8%	2.6%
【文】歴史学科	58	18	21	14	15	14	13	3	14	7	7	11	12	8	8	7	6	5	0
	100.0%	31.0%	36.2%	24.1%	25.9%	24.1%	22.4%	5.2%	24.1%	12.1%	12.1%	19.0%	20.7%	13.8%	13.8%	12.1%	10.3%	8.6%	0.0%
【文】文学科	49	13	13	15	19	9	11	5	12	2	0	10	4	4	5	0	2	3	2
	100.0%	26.5%	26.5%	30.6%	38.8%	18.4%	22.4%	10.2%	24.5%	4.1%	0.0%	20.4%	8.2%	8.2%	10.2%	0.0%	4.1%	6.1%	4.1%
【文】国際文化学科	46	4	7	6	29	8	10	3	15	2	1	9	4	2	15	4	5	4	1
	100.0%	8.7%	15.2%	13.0%	63.0%	17.4%	21.7%	6.5%	32.6%	4.3%	2.2%	19.6%	8.7%	4.3%	32.6%	8.7%	10.9%	8.7%	2.2%

Ⅲ. 大谷大学への満足度について

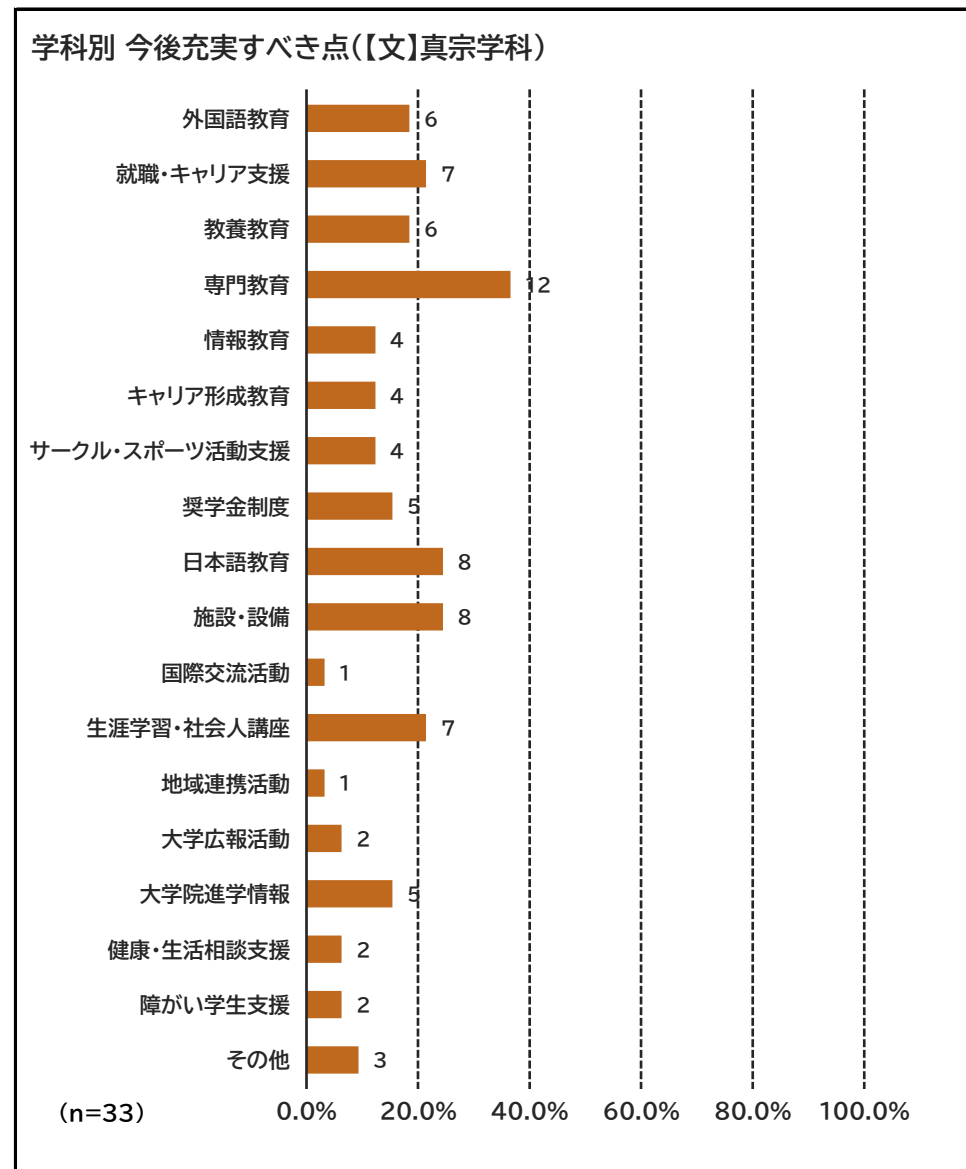
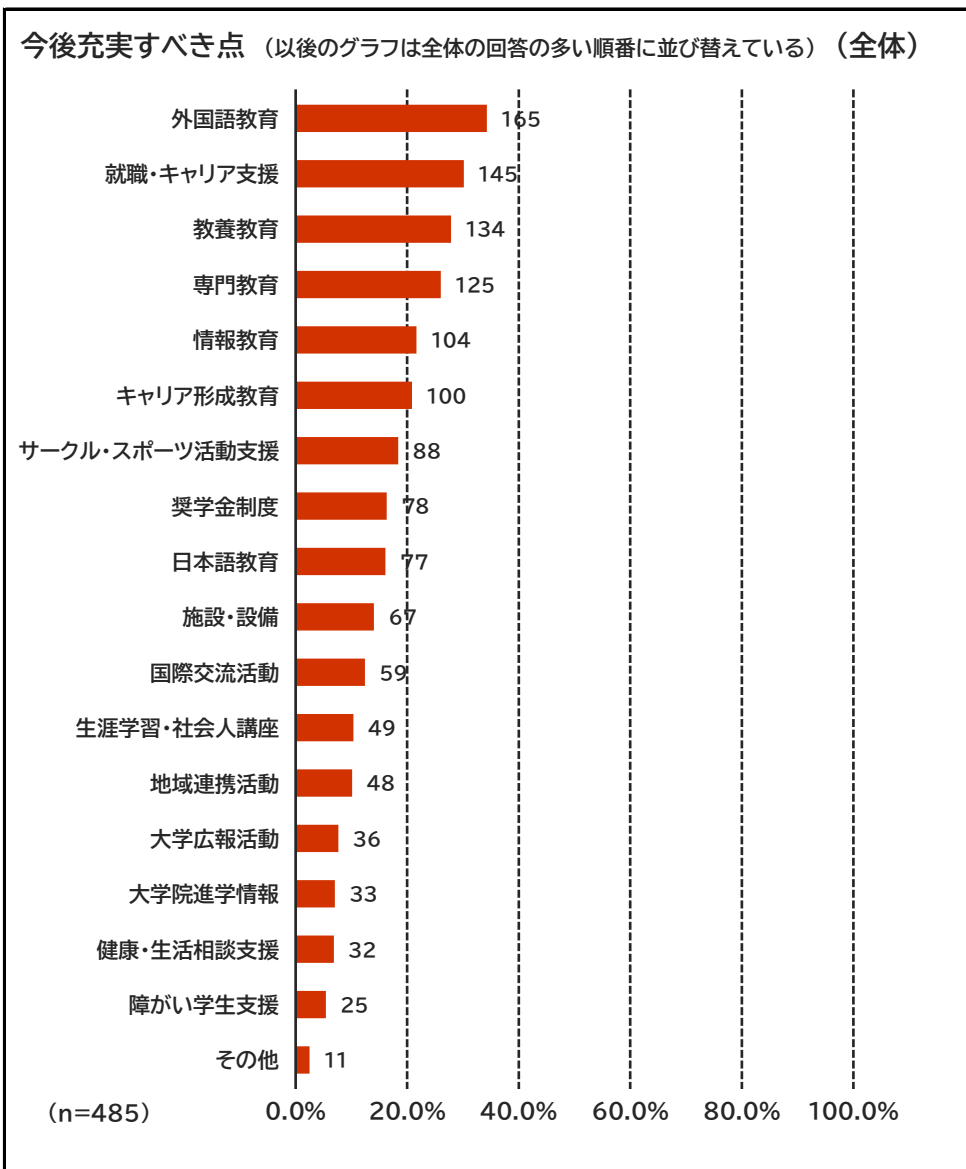
Q17-1: 大谷大学が今後さらに充実すべき点は何だとお考えですか。あてはまるもの全てを選択してください。

(上段)回答数/(下段)比率

	回答者数	教養教育	専門教育	日本語教育	外国語教育	情報教育	キャリア形成教育	健康・生活相談支援	就職・キャリア支援	大学院進学情報	障がい学生支援	サークル・スポーツ活動支援	奨学金制度	施設・設備	国際交流活動	地域連携活動	大学広報活動	生涯学習・社会人講座	その他
【文】社会学科/人文情報学科 教育・心理学科	2	1	0	0	1	2	0	1	1	0	1	0	1	0	1	1	0	2	0
	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%
【社】現代社会学科	71	20	11	11	31	19	21	8	31	1	0	13	12	12	6	8	11	10	1
	100.0%	28.2%	15.5%	15.5%	43.7%	26.8%	29.6%	11.3%	43.7%	1.4%	0.0%	18.3%	16.9%	16.9%	8.5%	11.3%	15.5%	14.1%	1.4%
【社】コミュニティデザイン学科	60	17	19	5	12	15	19	3	21	5	5	9	9	10	3	11	3	3	2
	100.0%	28.3%	31.7%	8.3%	20.0%	25.0%	31.7%	5.0%	35.0%	8.3%	8.3%	15.0%	15.0%	16.7%	5.0%	18.3%	5.0%	5.0%	3.3%
【教】教育学科 初等教育コース	44	22	10	5	18	14	5	2	7	2	2	6	6	6	2	1	1	4	0
	100.0%	50.0%	22.7%	11.4%	40.9%	31.8%	11.4%	4.5%	15.9%	4.5%	4.5%	13.6%	13.6%	13.6%	4.5%	2.3%	2.3%	9.1%	0.0%
【教】教育学科 幼児教育コース	55	16	16	4	9	6	5	2	19	2	1	11	12	9	6	5	2	4	0
	100.0%	29.1%	29.1%	7.3%	16.4%	10.9%	9.1%	3.6%	34.5%	3.6%	1.8%	20.0%	21.8%	16.4%	10.9%	9.1%	3.6%	7.3%	0.0%
【国】国際文化学科	21	5	3	3	11	1	4	1	6	1	2	3	3	1	6	5	1	1	1
	100.0%	23.8%	14.3%	14.3%	52.4%	4.8%	19.0%	4.8%	28.6%	4.8%	9.5%	14.3%	14.3%	4.8%	28.6%	23.8%	4.8%	4.8%	4.8%

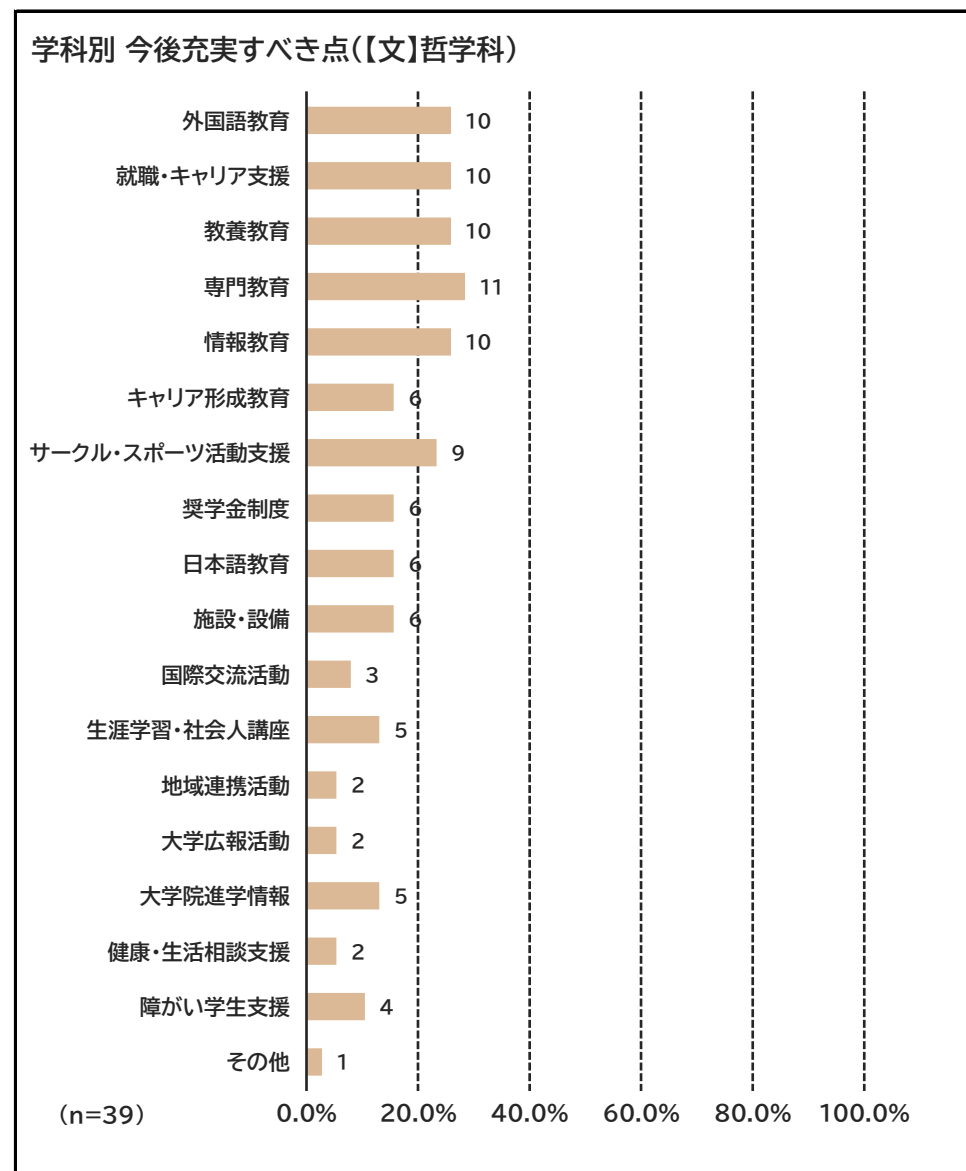
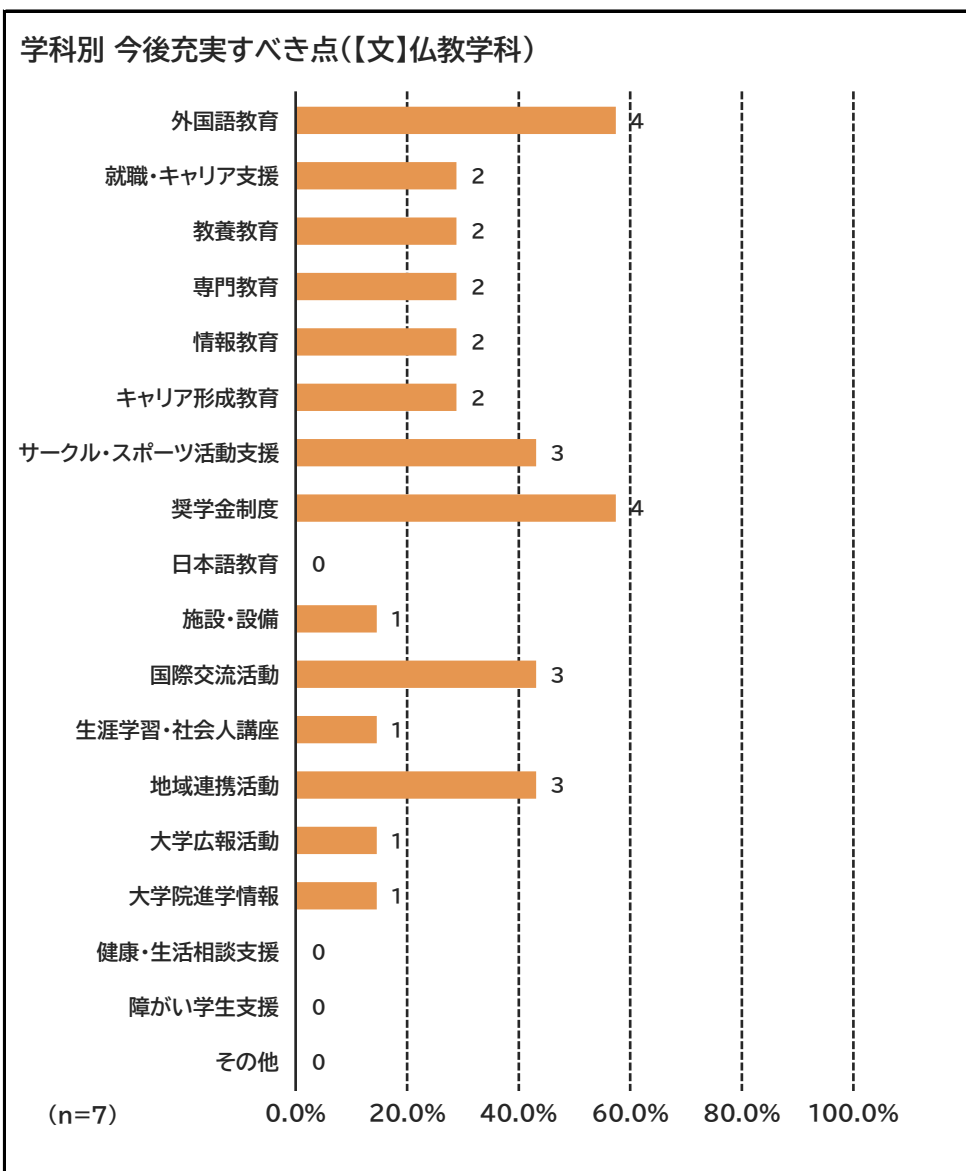
Ⅲ. 大谷大学への満足度について

Q17-1: 大谷大学が今後さらに充実すべき点は何だとお考えですか。あてはまるもの全てを選択してください。



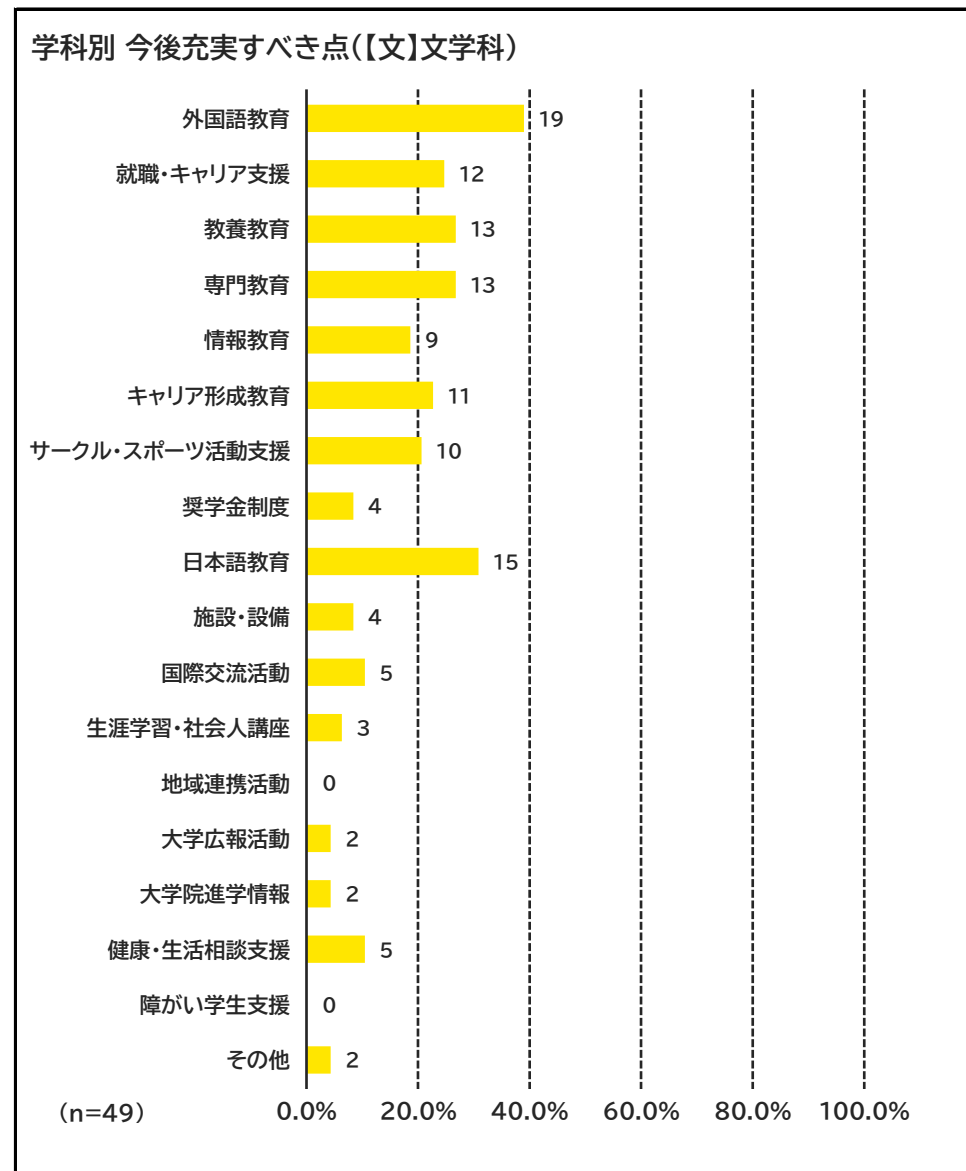
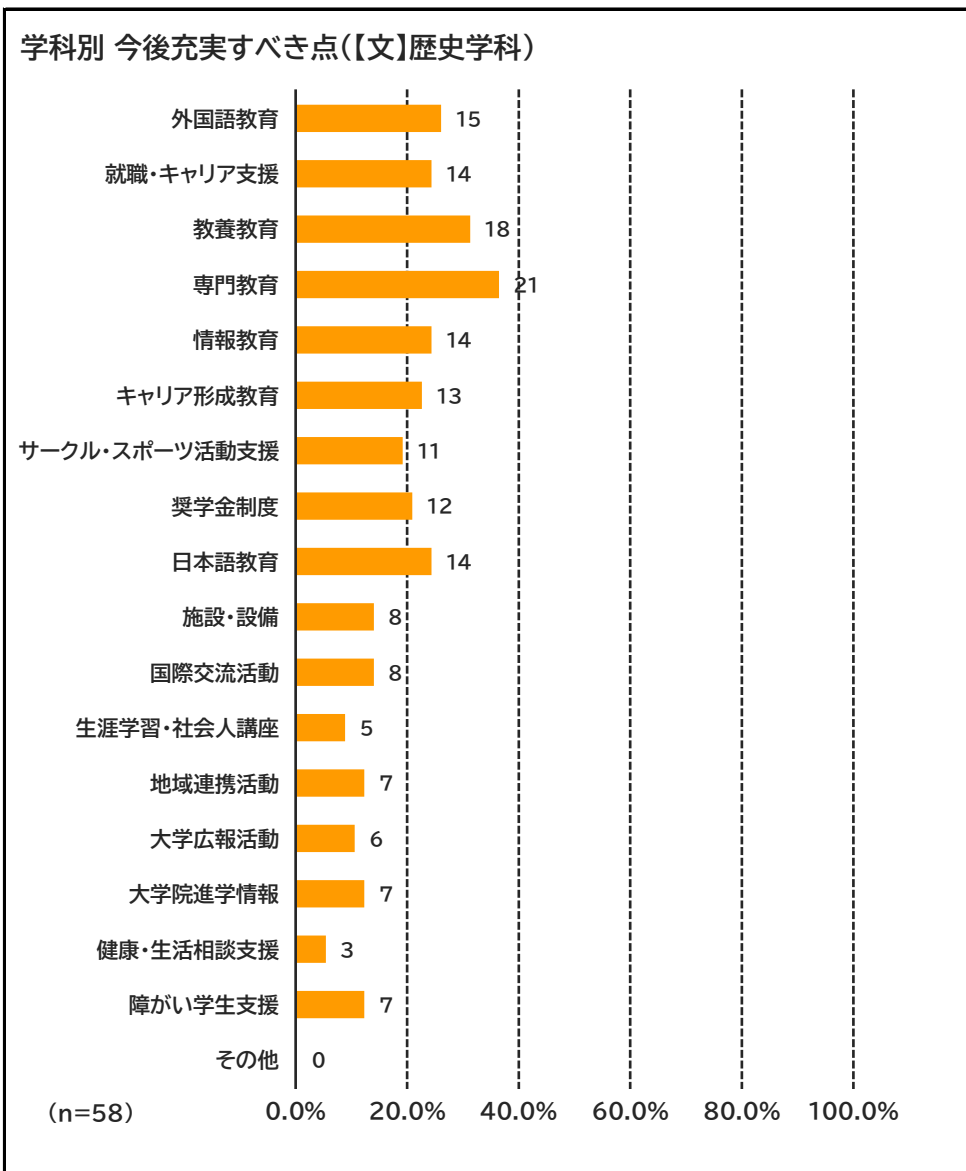
Ⅲ. 大谷大学への満足度について

Q17-1: 大谷大学が今後さらに充実すべき点は何だとお考えですか。あてはまるもの全てを選択してください。



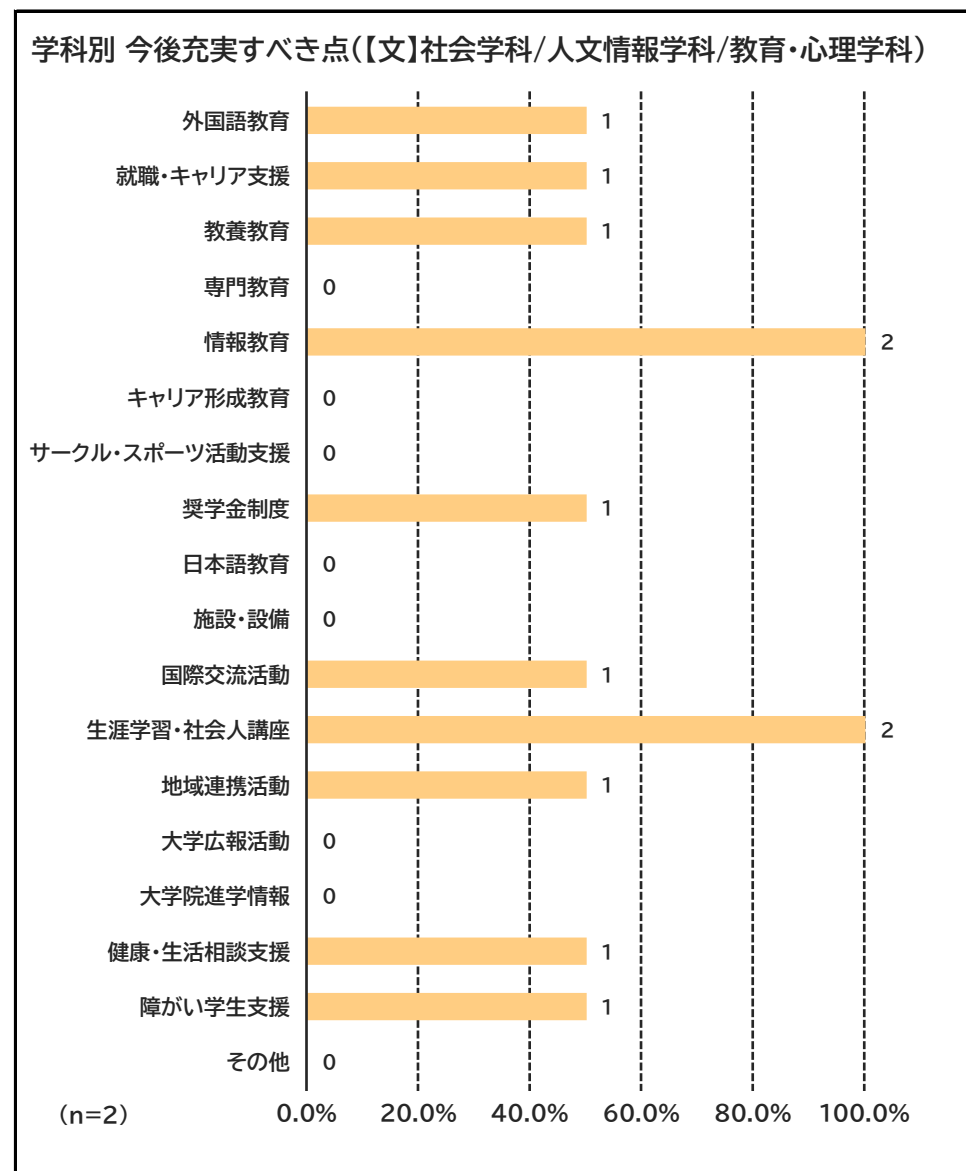
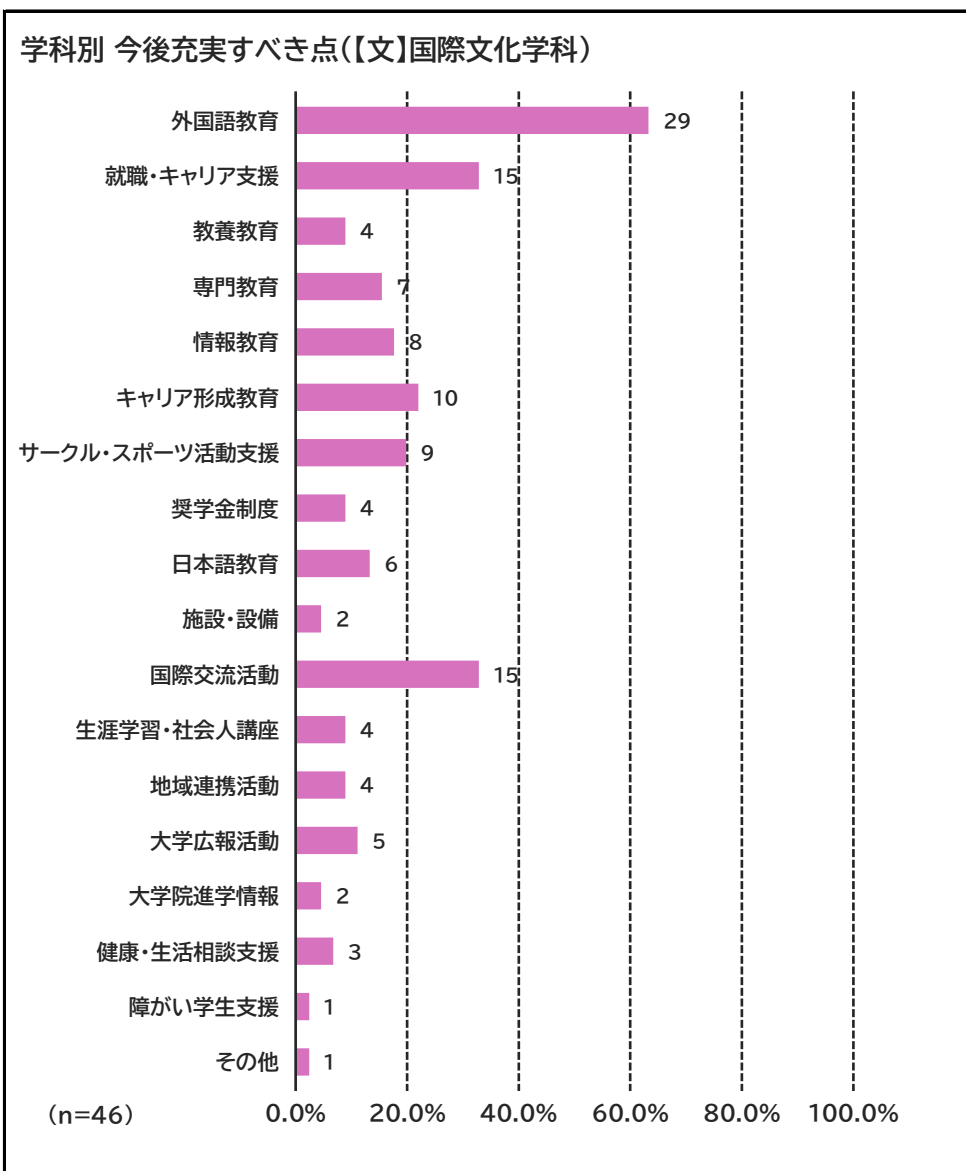
Ⅲ. 大谷大学への満足度について

Q17-1: 大谷大学が今後さらに充実すべき点は何だとお考えですか。あてはまるもの全てを選択してください。



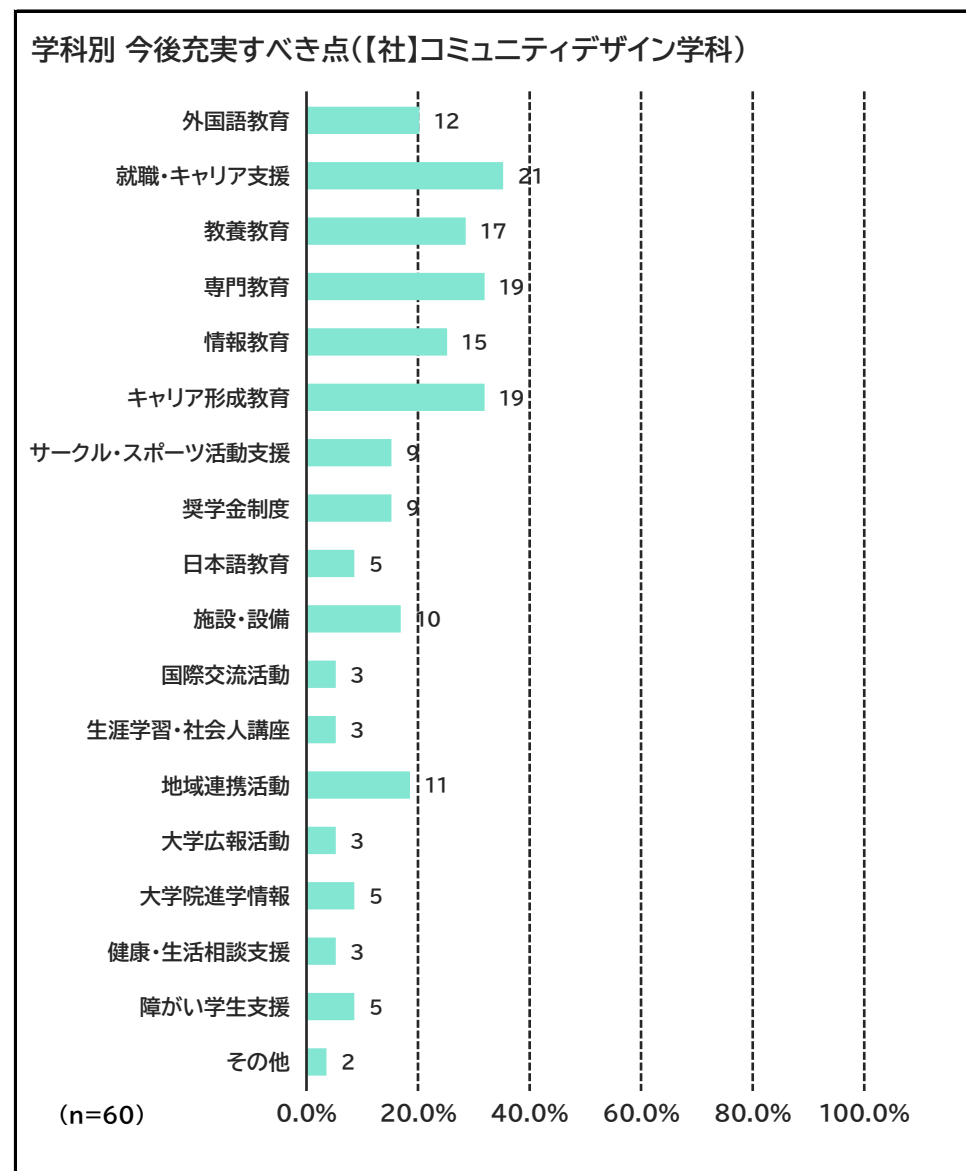
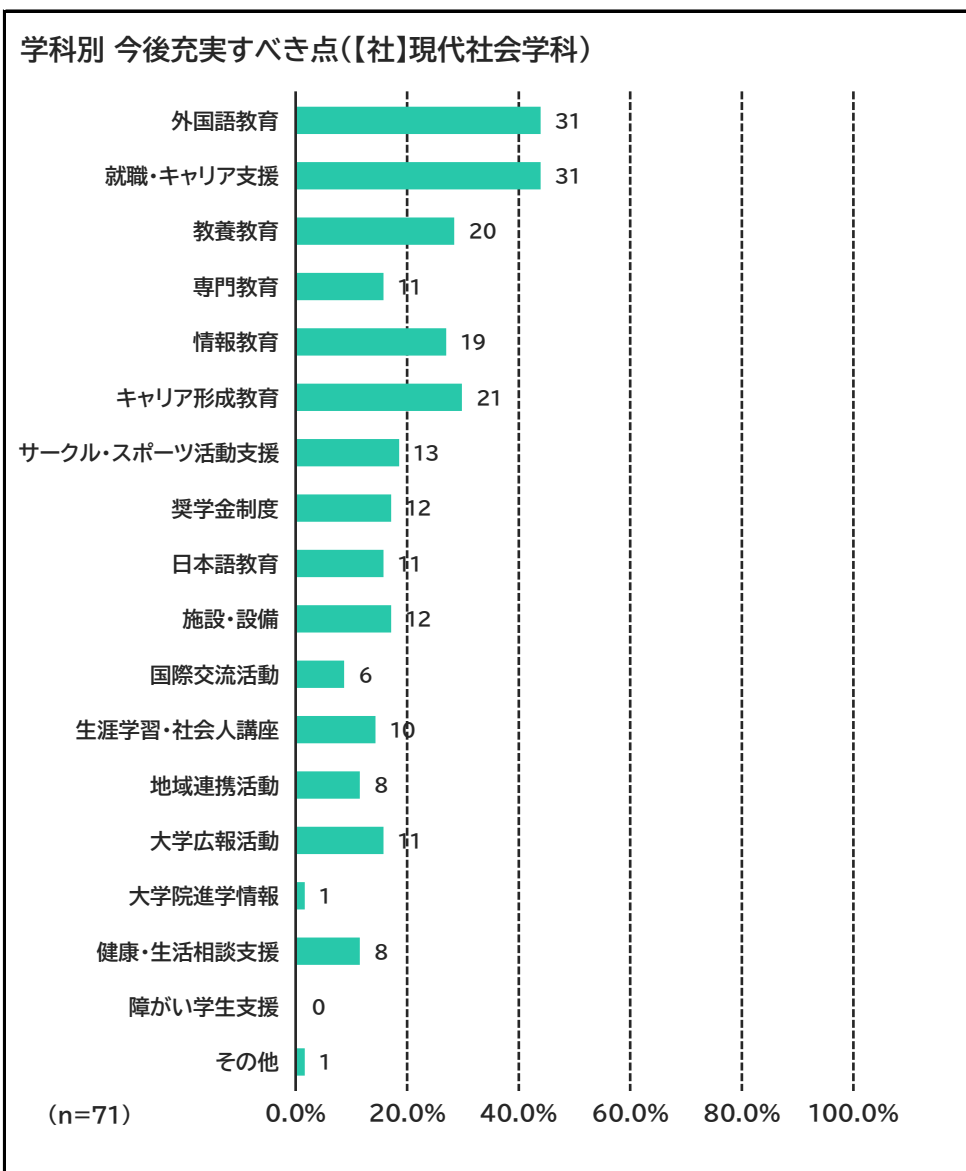
Ⅲ. 大谷大学への満足度について

Q17-1: 大谷大学が今後さらに充実すべき点は何だとお考えですか。あてはまるもの全てを選択してください。



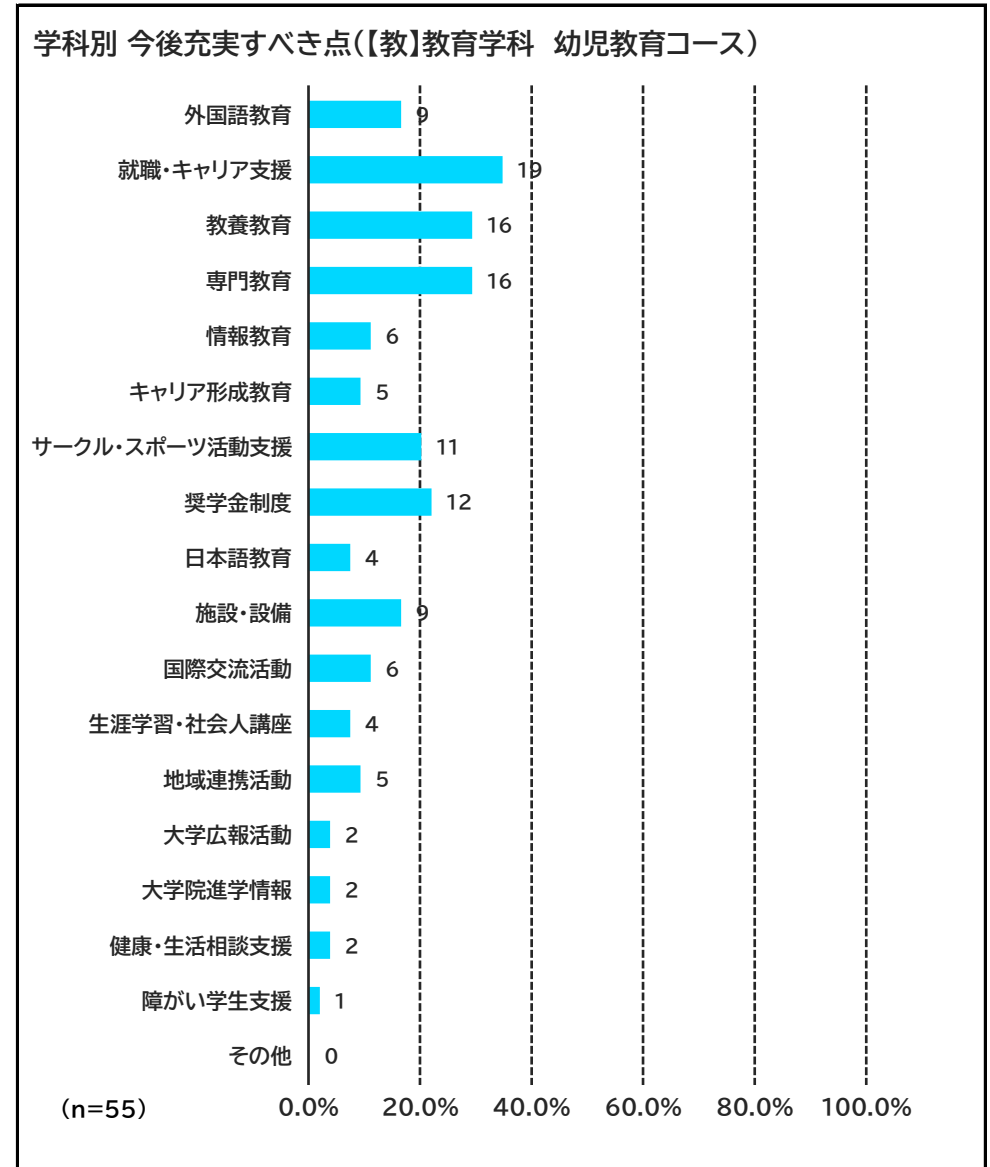
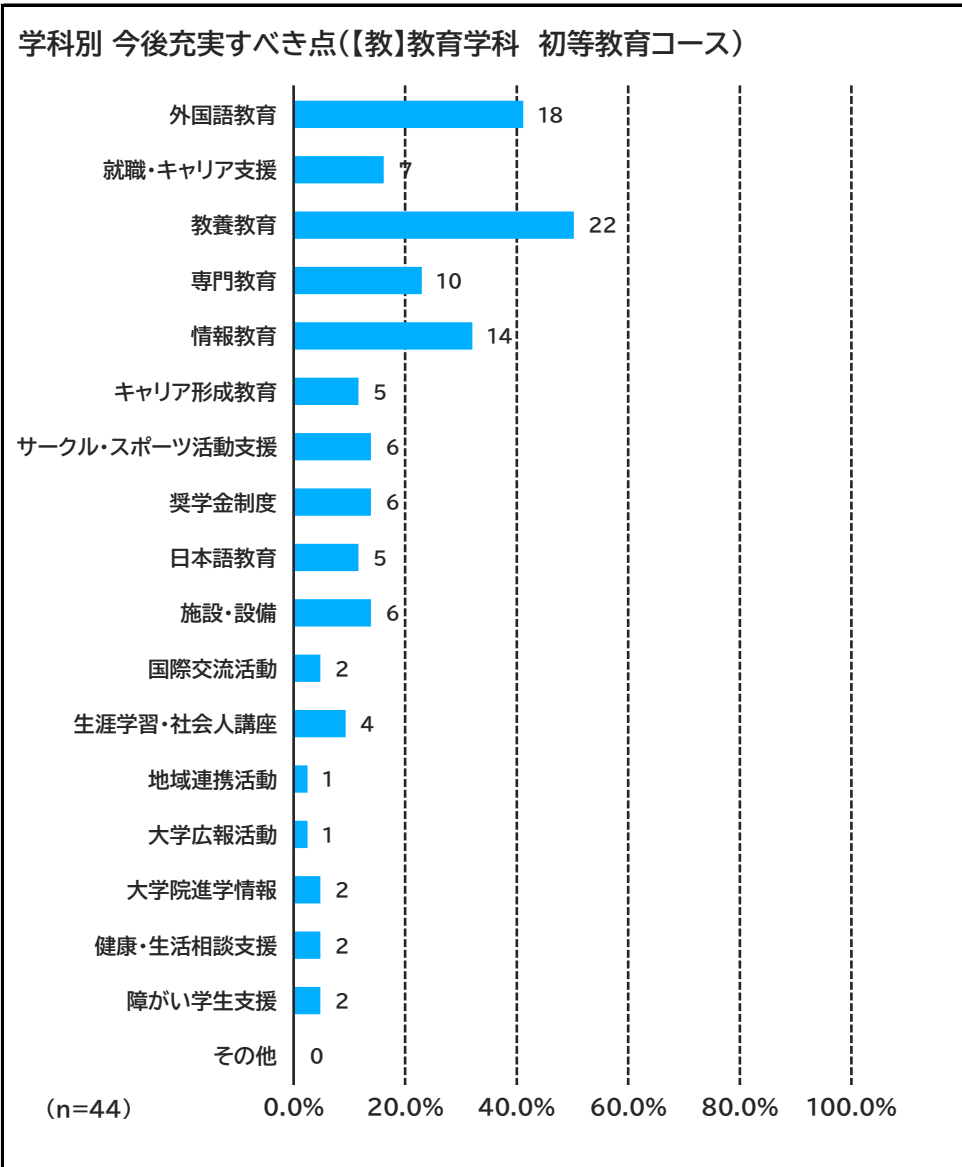
Ⅲ. 大谷大学への満足度について

Q17-1: 大谷大学が今後さらに充実すべき点は何だとお考えですか。あてはまるもの全てを選択してください。



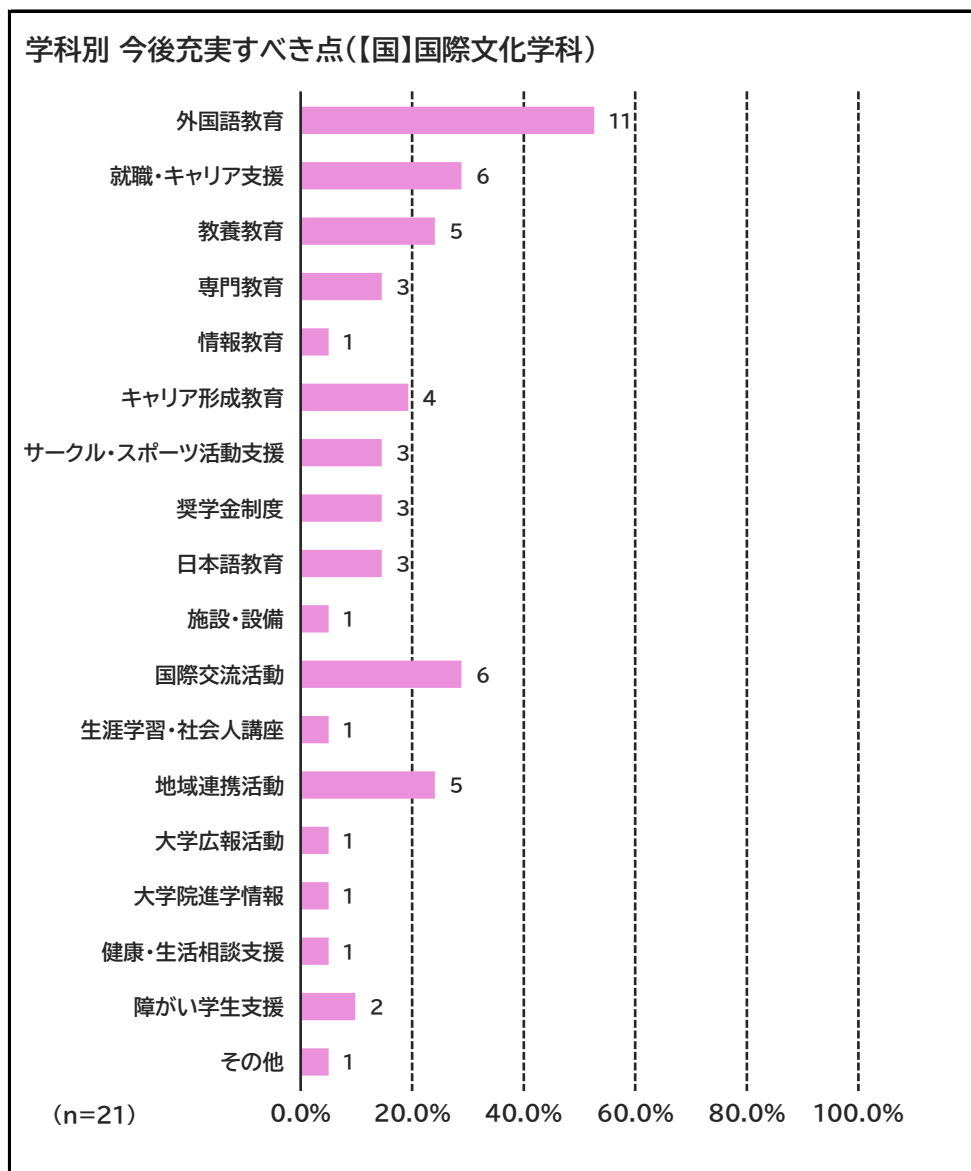
Ⅲ. 大谷大学への満足度について

Q17-1: 大谷大学が今後さらに充実すべき点は何だとお考えですか。あてはまるもの全てを選択してください。



Ⅲ. 大谷大学への満足度について

Q17-1: 大谷大学が今後さらに充実すべき点は何だとお考えですか。あてはまるもの全てを選択してください。



Q17-2 : Q17-1で「その他」を選択した方のみ 具体的な内容をご記入ください。

- ・ 学内WiFiの電波が弱いので、どの建物に入ってもユニパが開けるくらいには強くしてほしい。(【文】真宗学科)
- ・ 様々な学部を増やしていくことは必要だが、やっぱり、真宗の大学であるので、仏教精神、真宗について基盤にしていくことは継続して、集客に関わらず、真宗は大事にして欲しい。(【文】真宗学科)
- ・ パラスポーツとの交流と普及(【文】真宗学科)
- ・ 学生数が少ないことを活かした教授との対話(【文】哲学科)
- ・ 授業のオンライン化。ペーパーレス。資料等を全てデータで管理、配布、使用。(【文】文学科)
- ・ 文藝塾(【文】文学科)
- ・ コロナ期間に生徒は学校の施設を利用していない。なのでその分の施設費用を返金してほしい。(【文】国際文化学科)
- ・ 学生のクリエイティブ性を向上させる取り組み(【社】コミュニティデザイン学科)
- ・ 政治に関する知識(【社】コミュニティデザイン学科)
- ・ 行事に力がはいてなさすぎる(【国】国際文化学科)

Q18 : 大谷大学へご意見・ご要望などがあれば、どのようなことでも結構ですので、ご記入ください。

分類 [キーワード]などから抽出	件数	記述内容 個人名が特定される箇所を除き原文ママ(誤字・脱字はそのまま)で掲載
意見	25件	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ期間に生徒は学校の施設を利用していない。なのでその分の施設費用を返金してほしい。(【文】国際文化学科) ・社会学の知識だけでなく人間性も高められる大学だと感じました。(【社】現代社会学科) ・具体的な内容とはならないが、学生がこの大谷大学で学びたい！となるような講義、講師、環境の魅力が更に必要であると感じた。(【文】歴史学科) ・●●先生や仲間に出会えたことが、僕の中でとても大きいです。交換留学制度、英語圏も含まれると尚良いと思います。(今はもうあるかもですが)(【文】歴史学科) ・授業に出席する大部分の学生が、単位を取ればそれでいいという意欲・態度で、授業の進行を滞らせることが頻繁にありました。このことは、先生や意欲を持って学ぼうとする学生にとって理不尽な負担となります。学生間の意欲の差からくる不幸が少しでも減ると良いと思っています。それから、学科ごとにより具体的な就職先やキャリア構築の例が提示されていれば、学問への興味から入学する人の増加や、卒業生の満足度の向上が期待できるのではないのでしょうか。(【文】仏教学科)
要望	24件	<ul style="list-style-type: none"> ・取得できる資格の幅を広げてほしい。選択外国語の幅を広げてほしい。(【国】国際文化学科) ・学生時代のメールアドレスが消えてしまったため、よくしていただいた教員との連絡手段がなくなってしまったことを寂しく思う。教員と繋がりがやすかった分、メールアドレスは重要になると思う。(【文】哲学科) ・とても充実した4年間を過ごせました。もし、要望が通るのであれば、体育館の冷暖房設備を整えて欲しいです。夏場は暑すぎるし、冬場は寒すぎる体育館なので、部活生が全力でプレーに集中できないからです。(【教】教育学科 初等教育コース) ・情報系の授業をもっと増やして欲しい。(【社】現代社会学科) ・総研の利用可能時間を増やしていただきたいです。(【文】仏教学科)

Q18 : 大谷大学へご意見・ご要望などがあれば、どのようなことでも結構ですので、ご記入ください。

分類 [キーワード]などから抽出	件数	記述内容 個人名が特定される箇所を除き原文ママ(誤字・脱字はそのまま)で掲載
感謝	21件	<p>・コロナ禍での入学でとても不安でしたが、教授、職員の皆様、学友等のおかげでとても楽しい大学4年間を過ごさせて頂きました。ありがとうございました。(【文】歴史学科)</p>
		<p>・学生に親身になって寄り添い、アドバイスをくださったり、力を貸してくださったりしたからこそ充実した4年間を過ごすことができたと思っています。実習や見学で色々な園にお世話になっていた自分が、実習生や新卒の学生を受け入れる立場になり、他校の学生で、電話連絡や挨拶など、当たり前のことが確実にできている学生が多くはないことを実感しています。大谷の学生は先生方や職員の方の丁寧なご指導のかいあって、みんな当たり前のことを丁寧にきちんとこなしている印象があり、変わらずに継続してもらいたいなと思っています。(【教】教育学科 幼児教育コース)</p>
		<p>・私は高校時代に国語が得意だったというだけの理由で日本文学を学ぶために大谷大学に入学しましたが、単位取得のために受講したイギリス文学や世界地誌学などに強く興味を持ちました。そうやって興味の幅が広がったことが私が大学に通った意味だと感じており、大変感謝しています。大谷大学がこれからも学びを深めるだけでなく幅を広げられる場所であると嬉しいです。(【文】文学科)</p>
		<p>・学食200円だったのがとてもありがたかったです。(【社】現代社会学科)</p>
その他	7件	<p>・教育学部のキャリア支援は教員にならない場合、自分から動かないと情報を得られない。大学院進学の情報が少ない。障がい学生支援の連携が入学当初からあまり感じられなかったが、多くの教授や一部の職員には丁寧に接していただいた印象です。教育科目の授業にはとても満足しています。(【教】教育学科 初等教育コース)</p>
		<p>・非常に感情的な男性職員がいらっしゃいます。気にしてください。(【文】文学科)</p>

分析編

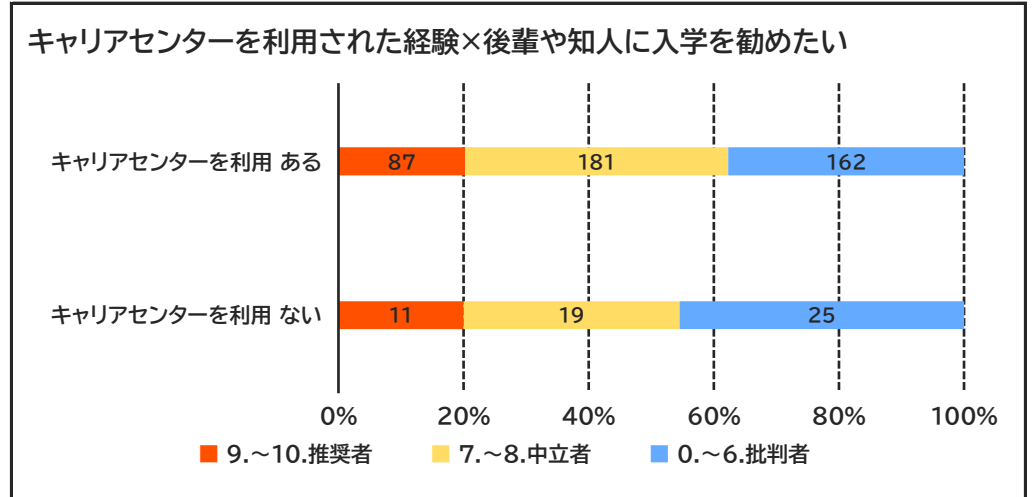
分析1ではQ9「大谷大学在学中にキャリアセンターを利用された経験はありますか。」とQ14「大谷大学に興味をもっている家族や後輩、知人がいるとします。あなたは那些人に大谷大学への入学を勧めたいと思いますか。」の2つの設問について、その関連性を検証する。

[1] Q9(キャリアセンターを利用された経験)とQ14(後輩や知人に入学を勧めたい)の全体集計をクロス集計

Q9 \ Q14	回答者数	9~10 推奨者	7~8 中立者	0~6 批判者	スコア
ある	430	87	181	162	-17.4
ない	55	11	19	25	-25.5

※ スコア…NPS®(Net Promoter Score)を使用。推奨度9~10を「推奨者」、7~8を「中立者」、0~6を「批判者」として(推奨者-批判者)/回答者数×100で算出。
 ※ Q14全体のスコアは-18.4

キャリアセンターを利用された経験「ある」のスコアは-17.4、「ない」のスコアは-25.5と、全体と比較した場合は「ある」のスコアがやや良好な結果となっているがその差は10ポイント以内に留まっている。



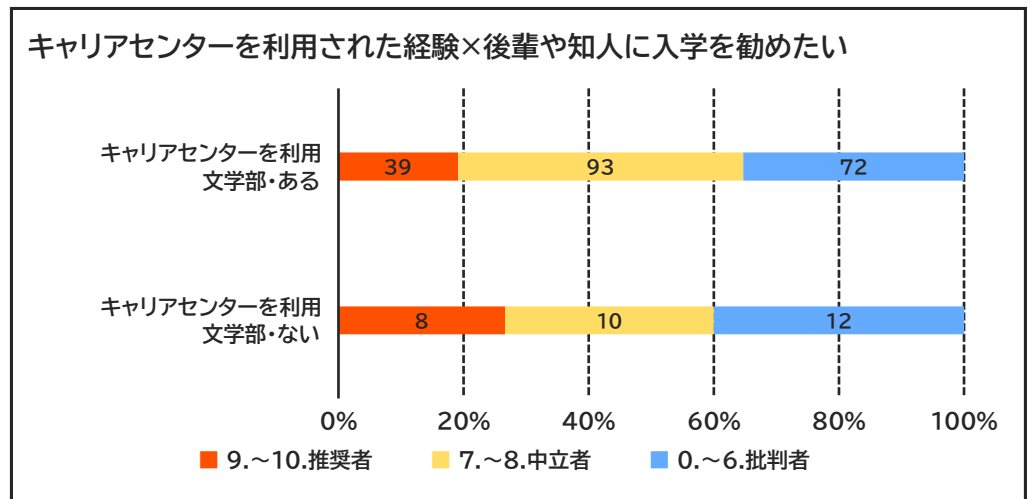
[2] Q3(卒業した学部・学科)とQ9(キャリアセンターを利用された経験)、Q14(後輩や知人に入学を勧めたい)を多重クロス集計

[1]の分析結果をもとにさらに詳しく分析を進めるため、Q3(卒業した学部・学科)を加えた多重クロス集計を実施することによりその関係性を追加検証する。

[文]Q9 \ [文]Q14	回答者数	9~10 推奨者	7~8 中立者	0~6 批判者	スコア
文学部・ある	204	39	93	72	-16.2
文学部・ない	30	8	10	12	-13.3

※ スコア…NPS®(Net Promoter Score)を使用。推奨度9~10を「推奨者」、7~8を「中立者」、0~6を「批判者」として(推奨者-批判者)/回答者数×100で算出。
 ※ Q14全体のスコアは-18.4

Q9×Q14にQ3「文学部」を多重クロス集計させた結果は「文学部・ない」のスコアが僅差で「文学部・ある」を上回る。



[社]Q9 \ [社]Q14	回答者数	9~10 推奨者	7~8 中立者	0~6 批判者	スコア
社会学部・ある	120	16	47	57	-34.2
社会学部・ない	11	1	5	5	-36.4

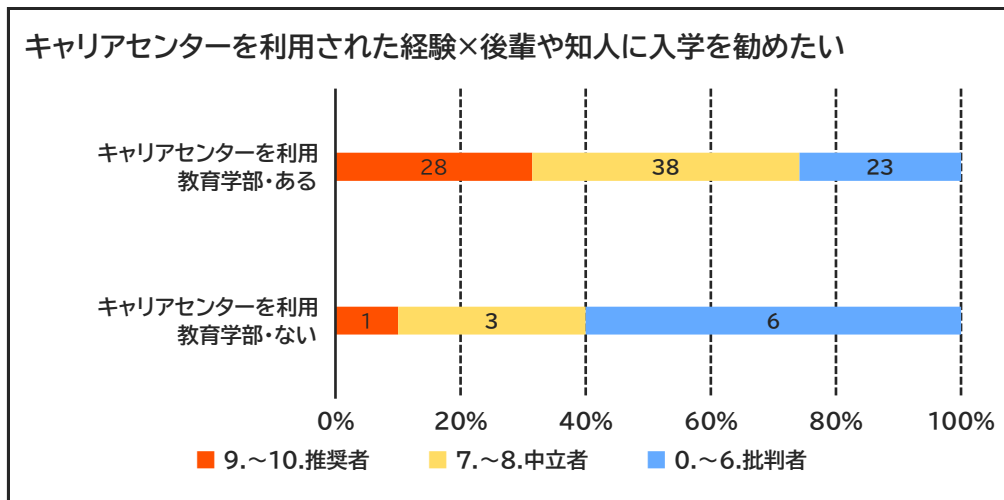
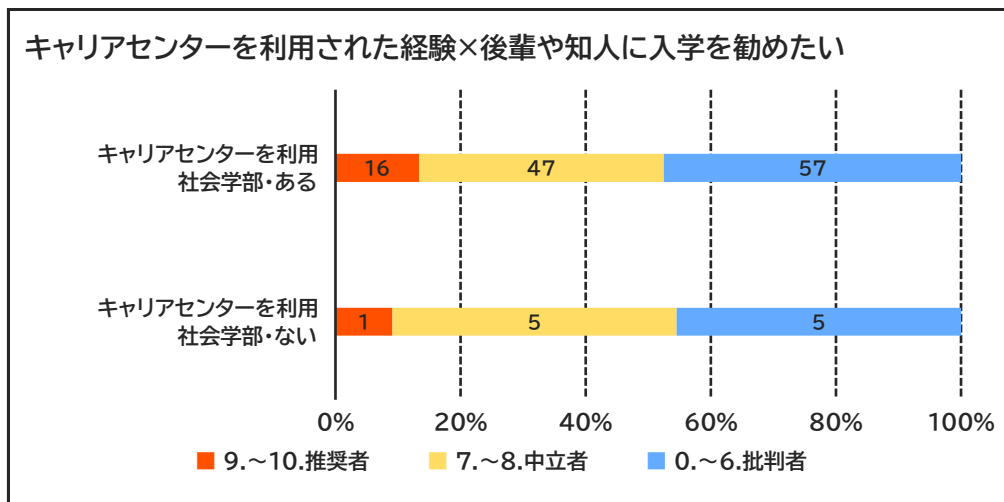
※ スコア…NPS®(Net Promoter Score)を使用。推奨度9~10を「推奨者」、7~8を「中立者」、0~6を「批判者」として(推奨者-批判者)/回答者数×100で算出。
 ※ Q14全体のスコアは-18.4

Q9×Q14にQ3「社会学部」を多重クロス集計させた結果は、「社会学部・ある」のスコアが「社会学部・ない」のスコアをわずかに上回るもその差は2ポイント以内で、キャリアセンターの利用経験有無と入学を勧めたいの関連性がほぼみられなかった。

[教]Q9 \ [教]Q14	回答者数	9~10 推奨者	7~8 中立者	0~6 批判者	スコア
教育学部・ある	89	28	38	23	5.6
教育学部・ない	10	1	3	6	-50.0

※ スコア…NPS®(Net Promoter Score)を使用。推奨度9~10を「推奨者」、7~8を「中立者」、0~6を「批判者」として(推奨者-批判者)/回答者数×100で算出。
 ※ Q14全体のスコアは-18.4

Q9×Q14にQ3「教育学部」の多重クロス集計では、「教育学部・ある」と「教育学部・ない」のスコア差が50ポイント以上となっている。教育学部ではキャリアセンターの利用有無との入学を勧めたいの関連性が強いことがうかがえる。

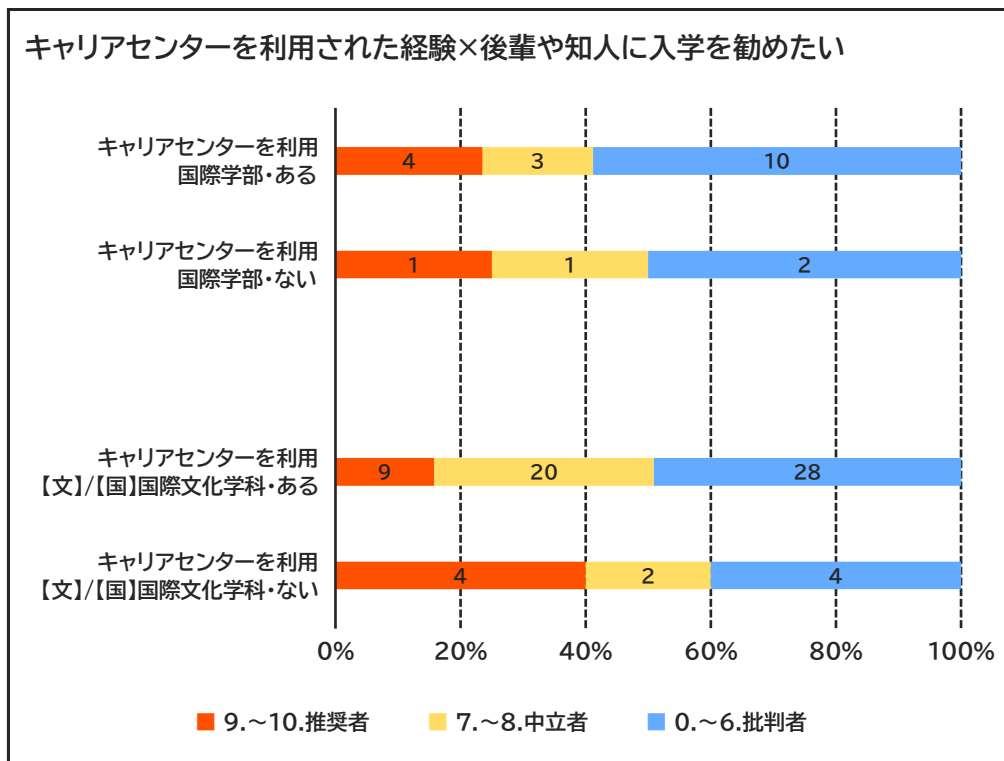


[国]Q9 \ [国]Q14	回答者数	9~10 推奨者	7~8 中立者	0~6 批判者	スコア
国際学部・ある	17	4	3	10	-35.3
国際学部・ない	4	1	1	2	-25.0

[文]/[国]国際文化学科 Q9 \ [文]/[国]国際文化学科 Q14	回答者数	9~10 推奨者	7~8 中立者	0~6 批判者	スコア
[文]/[国]国際文化学科・ある	57	9	20	28	-33.3
[文]/[国]国際文化学科・ない	10	4	2	4	0.0

※ スコア…NPS®(Net Promoter Score)を使用。推奨度9~10を「推奨者」、7~8を「中立者」、0~6を「批判者」として(推奨者-批判者)/回答者数×100で算出。
 ※ Q14全体のスコアは-18.4

Q9×Q14にQ3「国際学部」を多重クロス集計させた結果は、「国際学部・ない」のスコアが「国際学部・ある」のスコアを上回っている。また、「[文]国際文化学科」を加えた多重クロス集計を追加実施したところ、「ない」のスコアが「ある」のスコアを上回ったことから、従来の回答傾向が「国際学部」開設後も引き継がれていることが判明した。



今回調査した卒業におけるキャリアセンターの利用者は全体で約9割を占めている。学部ごとを対象にした多重クロス集計の結果、「教育学部」ではキャリアセンターの利用者が後輩や知人に入学を積極的に勧める傾向がみられたが、同学部の回答者のうち8割弱が教員・保育士として就業していることから教職支援センターや実習支援センターの役割も大きいと考えられ、こうしたサポート体制の充実さが高いスコアにつながった可能性がある。

一方で、その他の学部ではキャリアセンターの利用が入学を勧めるか否かに結び付いておらず、キャリアセンターの存在が入学を勧める動機につながっていないものと考えられる。

分析2ではQ12「あなたは大谷大学に入学してよかったと思いますか。」とQ13「大谷大学での仏教精神に基づく教育は、あなたの卒業後の生き方、人生観などに何らかの影響をもたらしていると思いますか。」の2つの設問について、その関連性を検証する。

[1] Q12(大谷大学に入学してよかったか)とQ13(仏教精神に基づく教育の影響)の全体集計をクロス集計

(上段)回答数/(下段)総計比

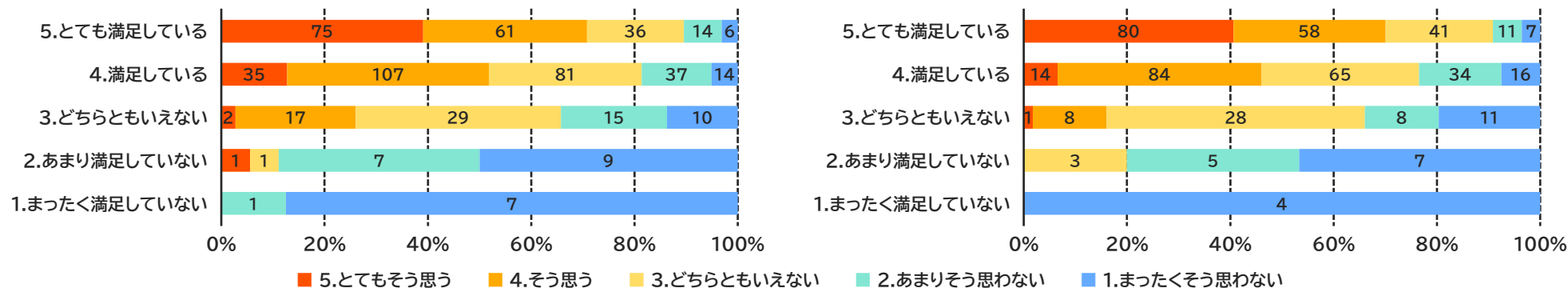
前回Q12 \ 前回Q13	回答者数	Q13					回答平均
		5 とても そう思う	4 そう思う	3 どちら とも いえない	2 あまり そう 思わない	1 まったく そう 思わない	
5 とても満足している	192	75	61	36	14	6	3.96
	100.0%	39.1%	31.8%	18.8%	7.3%	3.1%	
4 満足している	274	35	107	81	37	14	3.41
	100.0%	12.8%	39.1%	29.6%	13.5%	5.1%	
3 どちらともいえない	73	2	17	29	15	10	2.81
	100.0%	2.7%	23.3%	39.7%	20.5%	13.7%	
2 あまり満足していない	18	1	0	1	7	9	1.72
	100.0%	5.6%	0.0%	5.6%	38.9%	50.0%	
1 まったく満足していない	8	0	0	0	1	7	1.13
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	87.5%	

(上段)回答数/(下段)総計比

今回Q12 \ 今回Q13	回答者数	Q13					回答平均
		5 とても そう思う	4 そう思う	3 どちら とも いえない	2 あまり そう 思わない	1 まったく そう 思わない	
5 とても満足している	197	80	58	41	11	7	3.98
	100.0%	40.6%	29.4%	20.8%	5.6%	3.6%	
4 満足している	213	14	84	65	34	16	3.22
	100.0%	6.6%	39.4%	30.5%	16.0%	7.5%	
3 どちらともいえない	56	1	8	28	8	11	2.64
	100.0%	1.8%	14.3%	50.0%	14.3%	19.6%	
2 あまり満足していない	15	0	0	3	5	7	1.73
	100.0%	0.0%	0.0%	20.0%	33.3%	46.7%	
1 まったく満足していない	4	0	0	0	0	4	1.00
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

前回調査時(2021年度)に同様の分析を実施したため、前回との比較も含めて検証する。Q12とQ13をクロス集計した結果、今回調査でQ12で「とても満足している」「満足している」を回答した410人中236人(全体の57.6%)がQ13で「とてもそう思う」「そう思う」を回答した。前回調査時は466人中278人(全体の59.7%)であり、全体集計においては前回から回答傾向の大きな変化はみられなかった。

大谷大学に入学してよかったか×仏教精神に基づく教育の影響 前回調査(左)と今回調査(右)の比較



[2-1] Q3(卒業した学部・学科)とQ12(大谷大学に入学してよかったか)とQ13(仏教精神に基づく教育の影響)を多重クロス集計

[1]の分析結果をもとにさらに詳しく分析を進めるため、Q3(卒業した学部・学科)を加えた多重クロス集計を実施することによりその関係性を追加検証する。

(上段)回答数/(下段)総計比

[文]Q12 \ [文]Q13	回答者数	(上段)回答数/(下段)総計比					回答平均
		5 とても そう思う	4 そう思う	3 どちら とも いえない	2 あまり そう 思わない	1 まったく そう 思わない	
5 とても満足している	102	51	32	13	4	2	4.24
	100.0%	50.0%	31.4%	12.7%	3.9%	2.0%	
4 満足している	102	11	38	34	13	6	3.34
	100.0%	10.8%	37.3%	33.3%	12.7%	5.9%	
3 どちらともいえない	25	1	4	11	3	6	2.64
	100.0%	4.0%	16.0%	44.0%	12.0%	24.0%	
2 あまり満足していない	4	0	0	0	3	1	1.75
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	
1 まったく満足していない	1	0	0	0	0	1	1.00
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

(上段)回答数/(下段)総計比

[教]Q12 \ [教]Q13	回答者数	(上段)回答数/(下段)総計比					回答平均
		5 とても そう思う	4 そう思う	3 どちら とも いえない	2 あまり そう 思わない	1 まったく そう 思わない	
5 とても満足している	52	9	16	18	7	2	3.44
	100.0%	17.3%	30.8%	34.6%	13.5%	3.8%	
4 満足している	39	1	15	10	8	5	2.97
	100.0%	2.6%	38.5%	25.6%	20.5%	12.8%	
3 どちらともいえない	7	0	0	4	1	2	2.29
	100.0%	0.0%	0.0%	57.1%	14.3%	28.6%	
2 あまり満足していない	1	0	0	0	0	1	1.00
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
1 まったく満足していない	0	0	0	0	0	0	---
	---	---	---	---	---	---	

(上段)回答数/(下段)総計比

[社]Q12 \ [社]Q13	回答者数	(上段)回答数/(下段)総計比					回答平均
		5 とても そう思う	4 そう思う	3 どちら とも いえない	2 あまり そう 思わない	1 まったく そう 思わない	
5 とても満足している	38	18	9	9	0	2	4.08
	100.0%	47.4%	23.7%	23.7%	0.0%	5.3%	
4 満足している	65	2	27	20	11	5	3.15
	100.0%	3.1%	41.5%	30.8%	16.9%	7.7%	
3 どちらともいえない	19	0	4	10	3	2	2.84
	100.0%	0.0%	21.1%	52.6%	15.8%	10.5%	
2 あまり満足していない	7	0	0	2	1	4	1.71
	100.0%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	57.1%	
1 まったく満足していない	2	0	0	0	0	2	1.00
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

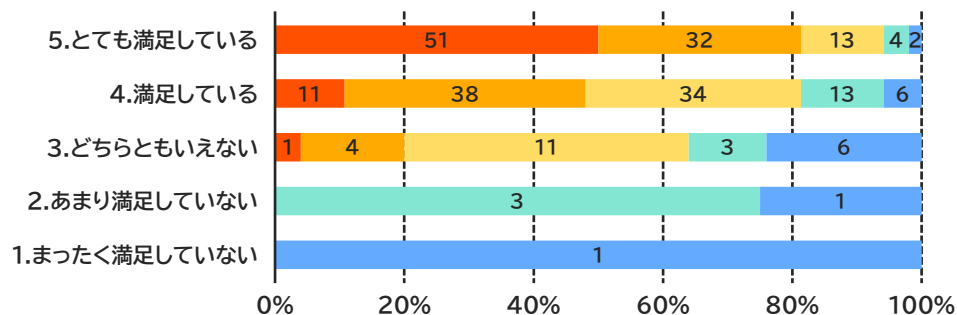
(上段)回答数/(下段)総計比

[国]Q12 \ [国]Q13	回答者数	(上段)回答数/(下段)総計比					回答平均
		5 とても そう思う	4 そう思う	3 どちら とも いえない	2 あまり そう 思わない	1 まったく そう 思わない	
5 とても満足している	5	2	1	1	0	1	3.60
	100.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	
4 満足している	7	0	4	1	2	0	3.29
	100.0%	0.0%	57.1%	14.3%	28.6%	0.0%	
3 どちらともいえない	5	0	0	3	1	1	2.40
	100.0%	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	
2 あまり満足していない	3	0	0	1	1	1	2.00
	100.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	
1 まったく満足していない	1	0	0	0	0	1	1.00
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

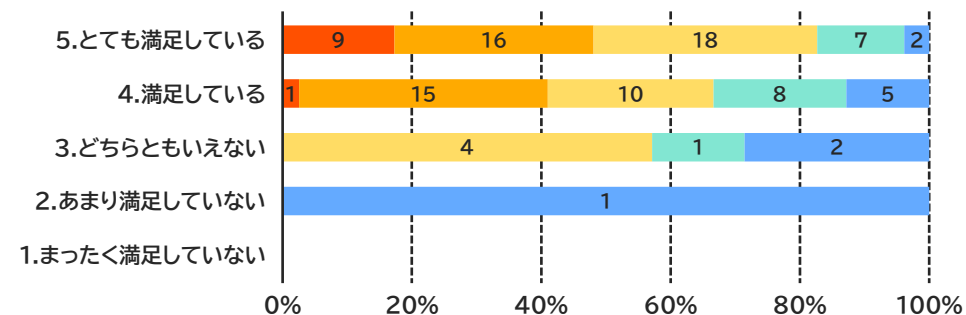
※ 回答平均点…大学全体を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記
 Q12×Q13にQ3の各学部を多重クロス集計させた結果は学部間での回答傾向の違いが大きいQ13の特徴を引き継いでおり、「教育学部」では仏教精神に基づく教育の影響を受けにくい傾向がみられた一方、仏教系の2学科を内包する「文学部」では「とても満足している×とてもそう思う」の回答平均点が大学全体を0.26ポイント上回っている。

大谷大学に入学してよかったか×仏教精神に基づく教育の影響 学部別の比較

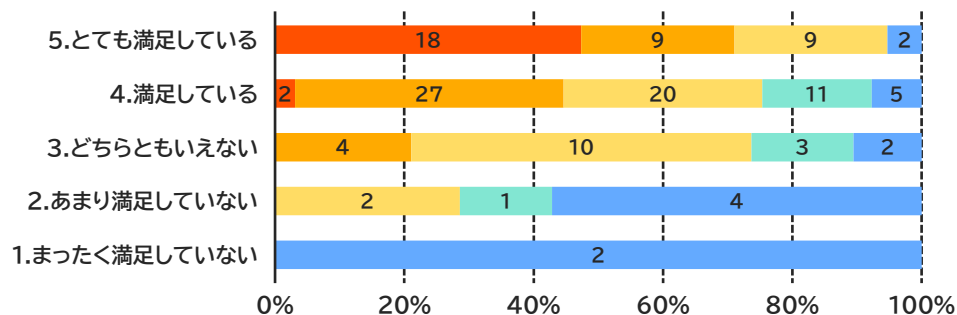
文学部



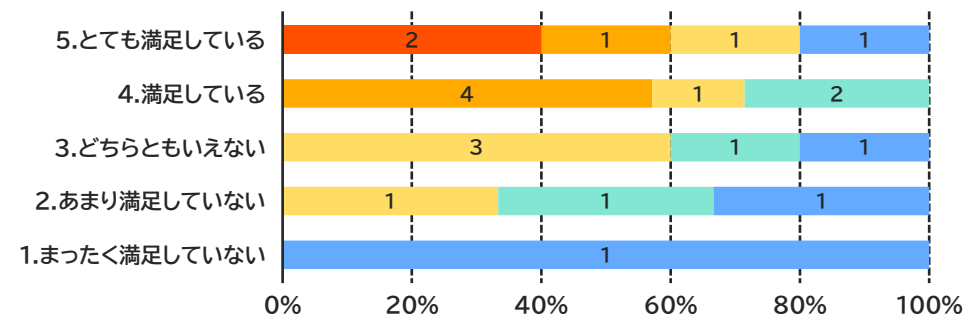
教育学部



社会学部



国際学部



■ 5.とてもそう思う ■ 4.そう思う ■ 3.どちらともいえない ■ 2.あまりそう思わない ■ 1.まったくそう思わない

文学部全体の回答は学科間で傾向が異なることが考えられることから、より詳しく検証するため、Q13の回答平均点が高い「【文】真宗学科/【文】仏教学科」と「【文】その他の学科」に分類して再度多重クロス集計を実施する。

[2-2] Q3(卒業した学部・学科)とQ12(大谷大学に入学してよかったか)とQ13(仏教精神に基づく教育の影響)を多重クロス集計

(上段)回答数/(下段)総計比

【文】真宗学科/仏教学科 Q12 \ 【文】真宗学科/仏教学科 Q13	回答者数	5 とても そう思う	4 そう思う	3 どちら とも いえない	2 あまり そう 思わない	1 まったく そう 思わない	回答 平均
	5 とても満足している	22	16	4	2	0	0
4 満足している	13	6	5	2	0	0	4.31
3 どちらともいえない	5	1	2	2	0	0	3.80
2 あまり満足していない	0	0	0	0	0	0	-.-
1 まったく満足していない	0	0	0	0	0	0	-.-

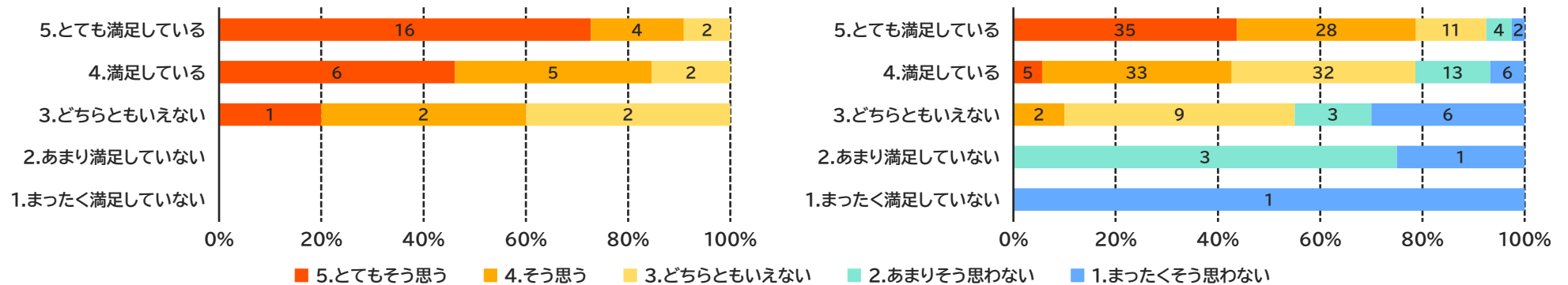
(上段)回答数/(下段)総計比

【文】真宗学科/仏教学科 Q12 \ 【文】真宗学科/仏教学科 Q13	回答者数	5 とても そう思う	4 そう思う	3 どちら とも いえない	2 あまり そう 思わない	1 まったく そう 思わない	回答 平均
	5 とても満足している	80	35	28	11	4	2
4 満足している	89	5	33	32	13	6	3.20
3 どちらともいえない	20	0	2	9	3	6	2.35
2 あまり満足していない	4	0	0	0	3	1	1.75
1 まったく満足していない	1	0	0	0	0	1	1.00

※ 回答平均点…大学全体を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記

「【文】真宗学科/仏教学科」では各項目の回答平均点が大学全体を大きく上回っている。「【文】その他の学科」でもQ12で「とても満足している」と回答した場合のQ13回答平均点が大学全体を0.15ポイント上回っており、入学満足度が高い場合は仏教精神に基づく影響の影響を強く受けやすい傾向であることが学部全体の特徴としてうかがえる。

大谷大学に入学してよかったか×仏教精神に基づく教育の影響 【文】真宗学科/仏教学科(左)と【文】その他の学科(右)の比較



入学満足度と仏教精神に基づく教育の影響の関連性は、「文学部」の入学満足度が高い層を中心に強い影響がみられた一方、「教育学部」では満足度に対して影響の度合いが弱く、学部・学科によって入学動機が異なることで関連性の濃淡が生じた可能性が考えられる。

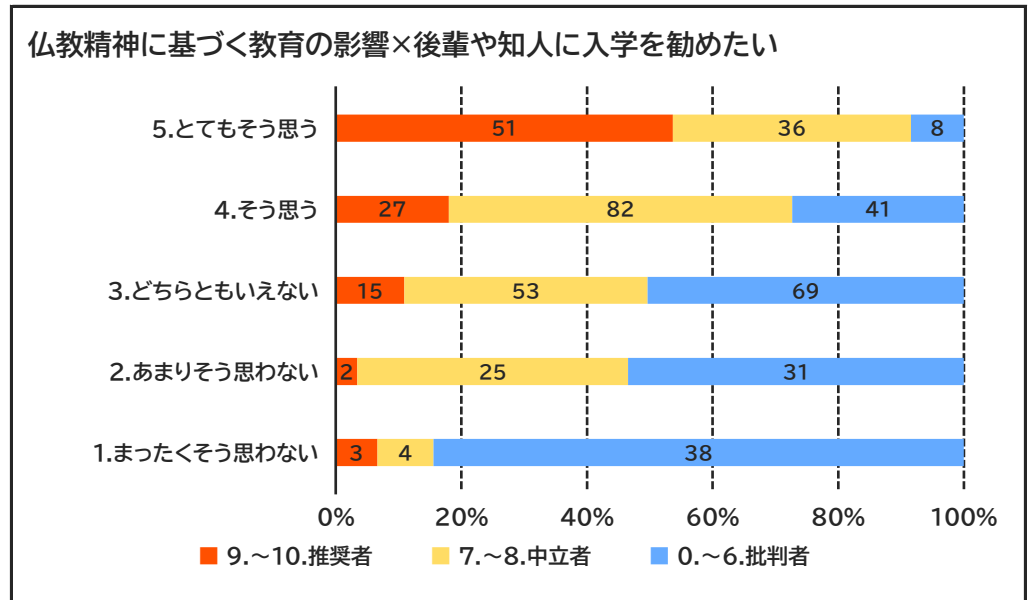
分析3ではQ13「大谷大学での仏教精神に基づく教育は、あなたの卒業後の生き方、人生観などに何らかの影響をもたらしていると思いますか。」とQ14「大谷大学に興味をもっている家族や後輩、知人がいるとします。あなたは那些人に大谷大学への入学を勧めたいと思いますか。」の2つの設問について、その関連性を検証する。

[1] Q13(仏教精神に基づく教育の影響)とQ14(後輩や知人に入学を勧めたい)の全体集計をクロス集計

Q13 \ Q14	回答者数	9~10 推奨者	7~8 中立者	0~6 批判者	スコア
5 とてもそう思う	95	51	36	8	45.3
4 そう思う	150	27	82	41	-9.3
3 どちらともいえない	137	15	53	69	-39.4
2 あまりそう思わない	58	2	25	31	-50.0
1 まったくそう思わない	45	3	4	38	-77.8

※ スコア…NPS®(Net Promoter Score)を使用。推奨度9~10を「推奨者」、7~8を「中立者」、0~6を「批判者」として(推奨者-批判者)/回答者数×100で算出。
 ※ Q14全体のスコアは-18.4

Q13×Q14の多重クロス集計では、仏教精神に基づく教育の影響が大きいほど後輩や知人に入学を勧めたいを回答する傾向がみられ、Q13「とてもそう思う」を回答した95人中51人(全体の53.7%)がQ14で「推奨度9以上」を回答している。



[2] Q13(仏教精神に基づく教育の影響)とQ14(後輩や知人に入学を勧めたい)の相関係数・連関係数を算出

相関係数は0~10の11択、連関係数は推奨者・中立者・批判者の3区分をもとに算出した。

相関係数：2変数(Q13×Q14)の関係の強さを表す数値。1~-1の間の数値となり、1、-1に近いほど、関係が強い傾向にあるといえる。目安として、相関係数の絶対値が0.7以上→相関が強い、絶対値が0.4以上0.7未満→相関がある、絶対値が0.4未満→相関が弱い、として捉えることができる。

相関係数の有意性の検定：2変数(Q13×Q14)の相関関係の有無を検定し、1%水準で有意な場合(偶然その結果になる確率が1%の場合。以下同様)、5%水準で有意な場合、5%水準で有意な相関が無い場合と区分し、偶然の可能性が低くなるほど相関係数の信頼性が高くなる。

連関係数：クラメールの連関係数を使用。2変数(Q13×Q14)の連関の強さを1~0の間の数値で表し、1に近いほど、関連が強い傾向にあるといえる。目安として、連関係数の絶対値が0.1以上の場合は関連性があるとされる。

相関係数	0.42	1%水準で有意
------	------	---------

連関係数	0.39
------	------

相関係数は「相関がある・1%水準で有意」、連関係数は「関連あり」で、Q13×Q14の両設問において中程度の相関・関連がみられた。

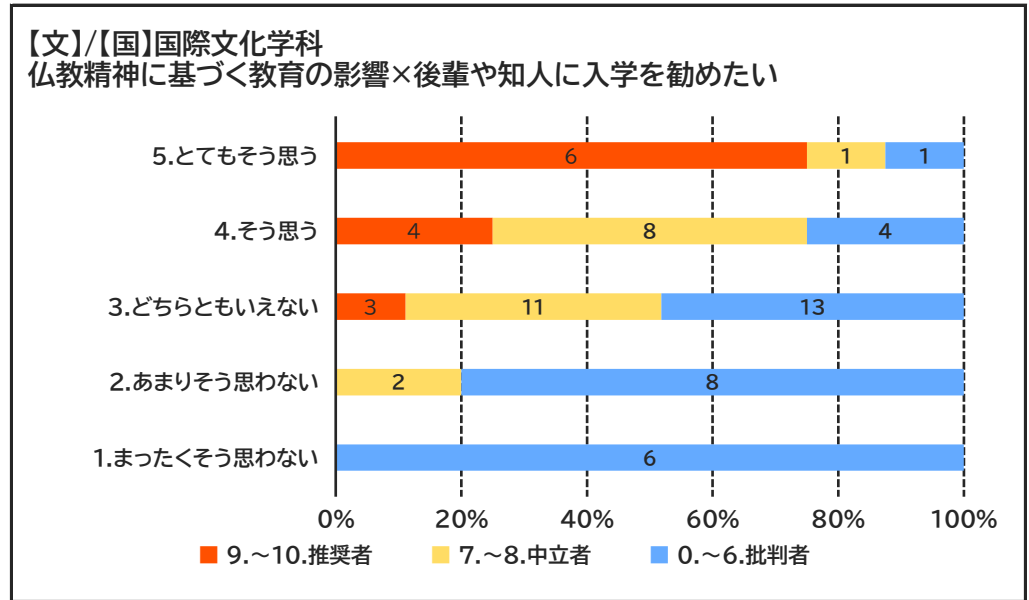
[3] Q3(卒業した学部・学科)とQ13(仏教精神に基づく教育の影響)、Q14(後輩や知人に入学を勧めたい)を多重クロス集計

Q14の回答にて二極化の傾向がみられた「国際学部」における回答結果を検証するため、「【文】/【国】国際文化学科」を対象としたQ3(卒業した学部・学科)の多重クロス集計を実施する。

【文】/【国】国際文化学科 Q14	回答者数	9~10 推奨者	7~8 中立者	0~6 批判者	スコア
【文】/【国】国際文化学科 Q13					
5 とてもそう思う	8	6	1	1	62.5
4 そう思う	16	4	8	4	0.0
3 どちらともいえない	27	3	11	13	-37.0
2 あまりそう思わない	10	0	2	8	-80.0
1 まったくそう思わない	6	0	0	6	-100.0

※ スコア…NPS®(Net Promoter Score)を使用。推奨度9~10を「推奨者」、7~8を「中立者」、0~6を「批判者」として(推奨者-批判者)/回答者数×100で算出。
 ※ Q14全体のスコアは-18.4

Q13×Q14にQ3の「【文】/【国】国際文化学科」を加えた多重クロス集計では、仏教精神に基づく教育の影響の大小によってQ14の回答傾向に大きな違いがみられ、肯定的な回答と批判的な回答との二極化の傾向がスコアにも反映されている。



[4] Q3(卒業した学部・学科)とQ13(仏教精神に基づく教育の影響)、Q14(後輩や知人に入学を勧めたい)の相関係数・連関係数を算出

[2]と同様の基準でQ3(卒業した学部・学科)の「【文】/【国】国際文化学科」を対象を限定した相関係数・連関係数を算出する。

相関係数	0.48	1%水準で有意
------	------	---------

連関係数	0.57
------	------

大学全体と比較してQ13×Q14の両設問における相関・関連の度合いが強まっており、連関係数は大学全体と比較して強い連関関係であること目安となる絶対値0.5を上回る0.57を記録している。

仏教精神に基づく教育の影響と入学を勧めたいの関連性は中程度の相関・関連があることが判明し、強い影響を受けた層を中心に大学を勧める傾向にあることも明らかとなった。

また、「【文】/【国】国際文化学科」では仏教精神に基づく教育の影響の大小と入学推奨度の関連性がより強く、国際系の学科においても強い影響を受けたことでより強い満足度を得る層が一定数存在するとともに、Q17-1にて挙げられている外国語教育のさらなる拡充も今後の「国際学部」における満足度向上への大きな課題のひとつとして考えられる。

分析4ではQ12「あなたは大谷大学に入学してよかったと思いますか。あなたの気持ちに最も近いもの1つを選択してください。」とQ6「あなたが、社会に出たうえで、下記の力がどの程度必要と感じましたか。」の2つの設問について、その関連性を検証する。

[1] Q12(大谷大学に入学してよかったか)とQ6(社会に出たうえで必要と感じた力)の各項目をクロス集計

Q6の設問は社会に出たうえで①～⑩までの各項目の力をどの程度必要と感じたかを質問しており、Q12で回答した満足度ごとに区分したクロス集計にて算出された回答平均点をもとに検証をすすめる。

Q12 回答	回答者数	Q6① 外国語 運用能力	Q6② 日本語 運用能力	Q6③ 幅広い 知識・知見	Q6④ 課題を設定 する意欲	Q6⑤ 諸相を 分析する力	Q6⑥ 問題解決に 主体的に 取り組む力	Q6⑦ 卒業後も 学んでいきたい という意欲	Q6⑧ 文献・資料・ データを収集・ 分析する力	Q6⑨ プレゼン テーションの 技術や能力	Q6⑩ 組織やチーム を動かす力
5.とても満足している	197	3.48	4.46	4.49	4.35	4.06	4.70	4.54	4.14	4.08	4.60
4.満足している	213	3.38	4.26	4.13	3.90	3.62	4.45	4.14	3.89	3.93	4.36
3.どちらともいえない	56	3.09	4.02	3.82	3.55	3.23	4.00	3.68	3.61	3.75	4.04
2.あまり満足していない	15	2.93	3.73	3.73	3.93	3.27	4.27	3.47	3.53	3.67	4.27
1.まったく満足していない	4	2.00	3.00	3.00	2.50	2.25	3.00	3.00	3.50	2.25	3.25
今回大学全体	485	3.36	4.29	4.22	4.03	3.73	4.48	4.22	3.95	3.95	4.41

全体の8割強がQ12で「とても満足している」「満足している」と回答しており、各項目の全体平均は「満足している」の回答平均とおおむね一致している。満足度が低下するとともに回答平均点の低下がみられ、満足度に比例して卒業後に各種の力が必要であると感じる傾向にあるといえる。なお、全回答者のうち約半数が「文学部」の卒業生で占められているため、検討比較の際には属性に若干の偏りがあることを留意する必要がある。

Q6の各項目では学部ごとの回答傾向に差がみられることから、Q3(卒業した学部・学科)を追加のうえ多重クロス集計にてさらなる検証をすすめたい。

[2] Q3(卒業した学部・学科)とQ12(大谷大学に入学してよかったか)、Q6(社会に出たうえで必要と感じた力)の各項目を多重クロス集計「どちらともいえない」「あまり満足していない」「まったく満足していない」は1つのグループとみなして各学部ごとの集計を実施した。

[文]Q12 回答	回答者数	Q6① 外国語 運用能力	Q6② 日本語 運用能力	Q6③ 幅広い 知識・知見	Q6④ 課題を設定 する意欲	Q6⑤ 諸相を 分析する力	Q6⑥ 問題解決に 主体的に 取り組む力	Q6⑦ 卒業後も 学んでいきたい という意欲	Q6⑧ 文献・資料・ データを収集・ 分析する力	Q6⑨ プレゼン テーションの 技術や能力	Q6⑩ 組織やチーム を動かす力
5.とても満足している	102	3.55	4.49	4.50	4.37	4.12	4.71	4.56	4.04	4.13	4.54
4.満足している	102	3.53	4.31	3.93	3.73	3.54	4.41	4.04	3.75	3.83	4.27
3.どちらともいえない 2.あまり満足していない 1.まったく満足していない	30	2.83	4.27	3.83	3.60	3.23	4.03	3.70	3.57	4.00	4.17
今回文学部全体	234	3.45	4.38	4.17	3.99	3.75	4.49	4.22	3.85	3.98	4.38
今回大学全体	485	3.36	4.29	4.22	4.03	3.73	4.48	4.22	3.95	3.95	4.41

文学部では、日本語運用能力やプレゼンテーション能力について、入学満足度の高低にかかわらず必要性を高く認識する傾向がみられた。回答者の割合が多いことから、全体的な傾向と密接にかかわっている。また、これらの能力が学部特性として比較的共有された認識となっている可能性を示唆している。

[社]Q12 回答	回答者数	Q6① 外国語 運用能力	Q6② 日本語 運用能力	Q6③ 幅広い 知識・知見	Q6④ 課題を設定 する意欲	Q6⑤ 諸相を 分析する力	Q6⑥ 問題解決に 主体的に 取り組む力	Q6⑦ 卒業後も 学んでいきたい という意欲	Q6⑧ 文献・資料・ データを収集・ 分析する力	Q6⑨ プレゼン テーションの 技術や能力	Q6⑩ 組織やチーム を動かす力
5.とても満足している	38	3.37	4.37	4.37	4.29	4.13	4.58	4.29	4.18	4.18	4.66
4.満足している	65	3.03	4.18	4.35	4.00	3.63	4.45	4.11	4.12	3.91	4.40
3.どちらともいえない 2.あまり満足していない 1.まったく満足していない	28	2.93	3.79	3.68	3.61	3.07	4.04	3.61	3.57	3.61	3.93
今回社会学部全体	131	3.11	4.15	4.21	4.00	3.66	4.40	4.05	4.02	3.92	4.37
今回大学全体	485	3.36	4.29	4.22	4.03	3.73	4.48	4.22	3.95	3.95	4.41

社会学部では、「Q6⑤諸相を分析する力」においてQ12の回答区分間でのポイント差が最も大きく、満足度による差が顕著にみられた。また、「Q6⑩組織やチームを動かす力」においても比較的大きな差が確認された。

[教]Q12 回答	回答者数	Q6① 外国語 運用能力	Q6② 日本語 運用能力	Q6③ 幅広い 知識・知見	Q6④ 課題を設定 する意欲	Q6⑤ 諸相を 分析する力	Q6⑥ 問題解決に 主体的に 取り組む力	Q6⑦ 卒業後も 学んでいきたい という意欲	Q6⑧ 文献・資料・ データを収集・ 分析する力	Q6⑨ プレゼン テーションの 技術や能力	Q6⑩ 組織やチーム を動かす力
5.とても満足している	52	3.46	4.50	4.56	4.40	3.96	4.79	4.67	4.37	3.94	4.73
4.満足している	39	3.46	4.26	4.28	4.08	3.74	4.46	4.41	3.92	4.21	4.44
3.どちらともいえない 2.あまり満足していない 1.まったく満足していない	8	3.25	3.38	4.00	3.63	3.50	4.13	3.50	3.50	2.88	3.88
今回教育学部全体	99	3.44	4.31	4.40	4.21	3.84	4.61	4.47	4.12	3.96	4.55
今回大学全体	485	3.36	4.29	4.22	4.03	3.73	4.48	4.22	3.95	3.95	4.41

教育学部では、「Q6⑦卒業後も学んでいきたいという意欲」、「Q6②日本語運用能力」、「Q6⑨プレゼンテーションの技術や能力」においてQ12の回答区分間でのポイント差が大きく、入学満足度による認識差が顕著にみられた。

[国]Q12 回答	回答者数	Q6① 外国語 運用能力	Q6② 日本語 運用能力	Q6③ 幅広い 知識・知見	Q6④ 課題を設定 する意欲	Q6⑤ 諸相を 分析する力	Q6⑥ 問題解決に 主体的に 取り組む力	Q6⑦ 卒業後も 学んでいきたい という意欲	Q6⑧ 文献・資料・ データを収集・ 分析する力	Q6⑨ プレゼン テーションの 技術や能力	Q6⑩ 組織やチーム を動かす力
5.とても満足している	5	3.20	4.20	4.40	3.80	3.40	4.60	4.80	3.60	3.80	4.00
4.満足している	7	3.86	4.29	4.00	4.43	3.86	4.86	4.29	3.57	4.00	4.71
3.どちらともいえない 2.あまり満足していない 1.まったく満足していない	9	3.56	3.56	3.56	3.33	3.11	3.67	3.33	3.78	3.33	4.11
今回国際学部全体	21	3.57	3.95	3.90	3.81	3.43	4.29	4.00	3.67	3.67	4.29
今回大学全体	485	3.36	4.29	4.22	4.03	3.73	4.48	4.22	3.95	3.95	4.41

国際学部では、「Q6⑦卒業後も学んでいきたいという意欲」、「Q6⑥問題解決に主体的に取り組む力」、「Q6③幅広い知識・知見」においてQ12の回答区分間でのポイント差が比較的大きく、入学満足度による認識差が顕著にみられた。

今回の多重クロス集計では、学部を問わず大学満足度が高いほど社会に出たうえで必要と感じる力をより強く意識する傾向にあることが明らかとなった。

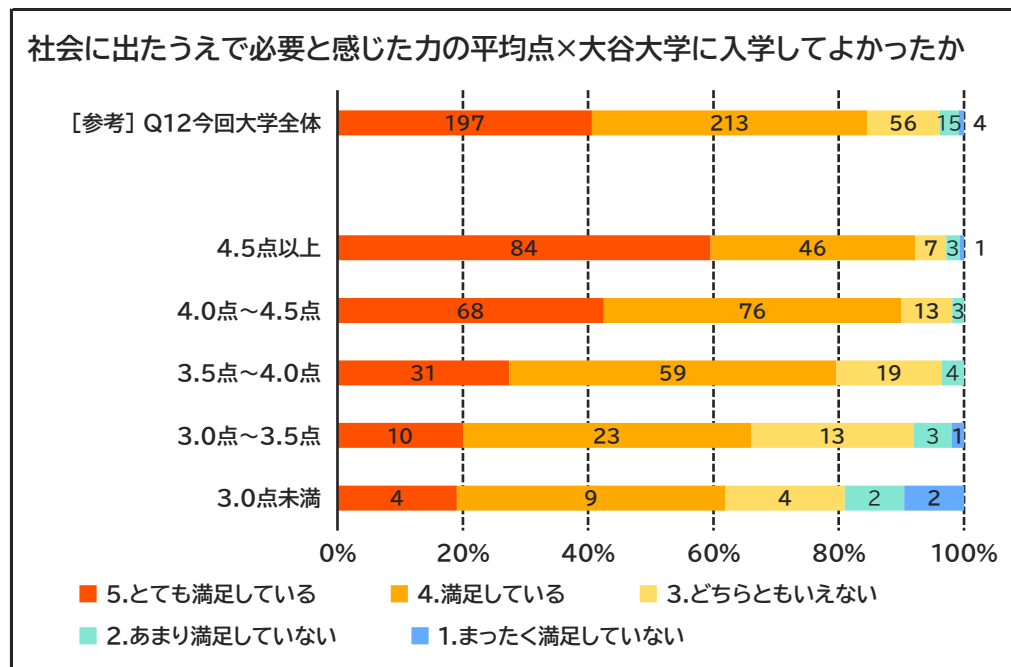
[3] Q6(社会に出たうえで必要と感じた力)の平均点とQ12(大谷大学に入学してよかったか)をクロス集計

さらに両設問間の分析を進めるため、Q6①～⑩までの平均点を各回答者ごとに算出し、その平均点に応じてグループ分けすることによりQ12(大谷大学に入学してよかったか)の回答傾向を分析したい。

	回答者数	5 とても満足している	4 満足している	3 どちらともいえない	2 あまり満足していない	1 まったく満足していない	回答平均
[参考] Q12今回大学全体	485	197	213	56	15	4	4.20

4.5点以上	141	84	46	7	3	1	4.48
4.0点～4.5点	160	68	76	13	3	0	4.31
3.5点～4.0点	113	31	59	19	4	0	4.04
3.0点～3.5点	50	10	23	13	3	1	3.76
3.0点未満	21	4	9	4	2	2	3.52

各回答者ごとのQ6①～⑩の平均点は4.06
 Q6①～⑩の平均点×Q12のクロス集計では、Q6①～⑩の平均点が上昇するにつれてQ12の満足度も上昇する傾向にあることが確認された。
 なお、Q6①～⑩の平均点「3.0点未満」のうち、Q12「とても満足している」「満足している」と回答した13名はいずれもQ6①～⑩の平均点が2.0点以上で、Q6①～⑩の平均点が著しく低い場合は満足度も低いことが読み取れる。



[4] Q6(社会に出たうえで必要と感じた力)の平均点とQ12(大谷大学に入学してよかったか)の相関係数を算出

全回答者のQ6①～⑩までの平均点とQ12の回答を対象としている。

相関係数	0.36	1%水準で有意
------	------	---------

相関係数は「相関が弱い・1%水準で有意」で、Q6①～⑩の平均点×Q12の両設問において弱い相関がみられた。

今回のクロス集計では、各学部いずれも入学したことに対する満足度が高いほど各種の力を必要と感じると回答する傾向がみられた。また、各項目の全体平均がQ12で「満足している」の回答平均におおむね近接していることも判明し、満足度の差が回答平均に直結している。満足度を質問するQ12は「社会学部」「国際学部」で大学平均を下回っており、Q17-1やQ18などで挙げられている充実すべき点や課題・要望に対処・改善を実施することが満足度向上の鍵となる可能性があるほか、学生の意欲も満足度を左右する要素として考えられる。

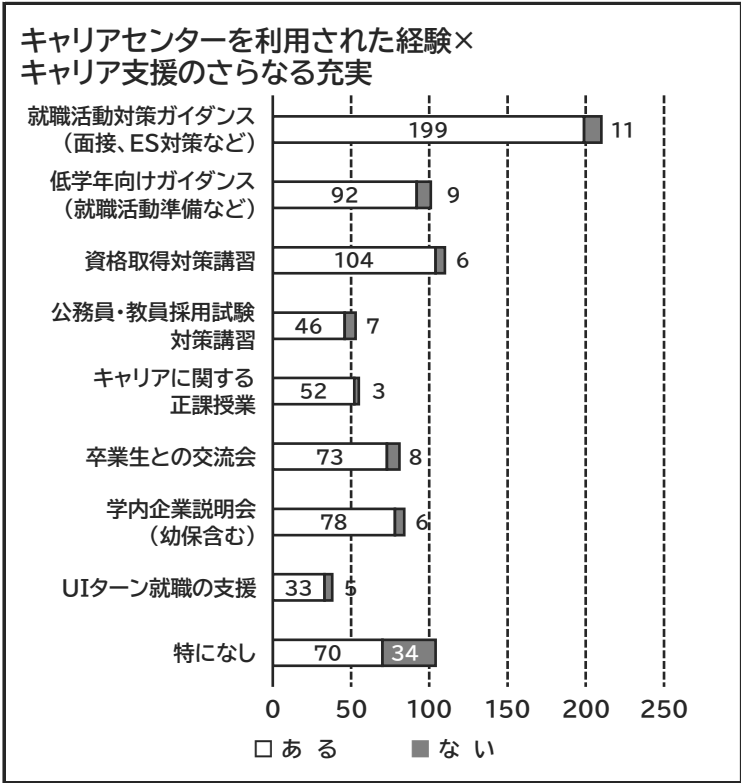
分析5ではQ9「大谷大学在学中にキャリアセンターを利用された経験はありますか。」とQ10「大谷大学のキャリア支援について、あなたがもっと充実させて欲しいと思う項目を全て選択してください。」の2つの設問について、その関連性を検証する。

[1] Q9(キャリアセンターを利用された経験)とQ10(キャリア支援のさらなる充実)をクロス集計

(上段)回答数/(下段)比率

Q10 \ Q9	回答者数	Q10								
		就職活動対策ガイダンス (面接、ES対策など)	低学年向けガイダンス (就職活動準備など)	資格取得対策講習	公務員・教員採用試験 対策講習	キャリアに関する 正課授業	卒業生との交流会	学内企業説明会 (幼保含む)	Uターン就職の支援	特になし
全体	485	210	101	110	53	55	81	84	38	107
	100.0%	43.3%	20.8%	22.7%	10.9%	11.3%	16.7%	17.3%	7.8%	22.1%
Q9・ある	430	199	92	104	46	52	73	78	33	70
	100.0%	46.3%	21.4%	24.2%	10.7%	12.1%	17.0%	18.1%	7.7%	16.3%
Q9・ない	55	11	9	6	7	3	8	6	5	34
	100.0%	20.0%	16.4%	10.9%	12.7%	5.5%	14.5%	10.9%	9.1%	61.8%

キャリアセンターを利用された経験が「ある」と答えたのは485人中430人(全体の88.7%)、「ない」と答えたのは485人中55人(全体の11.3%)となっている。
Q9で「ない」と回答した55人中34人(全体の61.8%)がQ10で「特になし」を回答しており、キャリアセンター利用経験がない場合はキャリア支援のさらなる充実についても求めない傾向が強いことが読み取れる。



キャリアセンター利用が「ない」、かつキャリア支援のさらなる充実「特になし」のいずれも回答したのは全体の約7%にあたる34人だった。回答者の卒業学科や現在の職業を検証することで実態把握につながるものと考えられることから、次項ではそれらを加えた多重クロス集計を実施する。

[2-1] Q3(卒業した学部・学科)とQ9(キャリアセンターを利用された経験)、Q10(キャリア支援のさらなる充実)を多重クロス集計

(上段)回答数/(中段)総計比/(下段)卒業した学部・学科の回答数比

Q3 Q9×Q10	回答者数	文学部							社会学部		教育学部		国際学部
		真宗学科	仏教学科	哲学科	歴史学科	文学科	国際文化学科	教育・人文・社会科学 / 情報心理学 / 心理学	現代社会学科	デザイン・メディア	初等教育学科	幼児教育学科	国際文化学科
Q9・ない×Q10・特になし	34	6	0	4	2	1	4	0	7	0	8	1	1
	100.0%	17.6%	0.0%	11.8%	5.9%	2.9%	11.8%	0.0%	20.6%	0.0%	23.5%	2.9%	2.9%
	7.0%	18.2%	0.0%	10.3%	3.4%	2.0%	8.7%	0.0%	9.9%	0.0%	18.2%	1.8%	4.8%

キャリアセンター利用が「ない」、かつキャリア支援のさらなる充実「特になし」に卒業した学部・学科を加えた多重クロス集計の結果、Q9・Q10でいずれの条件に該当する回答者の割合が大学全体から大きく上回っているのは「【文】真宗学科」と「【教】教育学科 初等教育コース」で、これらの学科・コースでは2割弱がQ9「ない」・Q10「特になし」を回答している。

[2-2] Q4-1(現在の主な職業)とQ9(キャリアセンターを利用された経験)、Q10(キャリア支援のさらなる充実)を多重クロス集計

(上段)回答数/(中段)総計比/(下段)現在の主な職業の回答数比

Q4-1 Q9×Q10	回答者数	会社員 (正社員)	会社員 (契約社員)	公務員	教員・保育士	自営業・自由業	会社役員・経営者	寺院・宗教団体	団体職員	専業主婦 (夫)	学生・大学院生	パート・アルバイト	無職	その他
		Q9・ない×Q10・特になし	34	9	0	0	9	3	0	3	0	0	3	3
	100.0%	26.5%	0.0%	0.0%	26.5%	8.8%	0.0%	8.8%	0.0%	0.0%	8.8%	8.8%	5.9%	5.9%
	7.0%	3.5%	0.0%	0.0%	11.3%	37.5%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	14.3%	7.9%	20.0%	20.0%

キャリアセンター利用が「ない」、かつキャリア支援のさらなる充実「特になし」に現在の主な職業を多重クロス集計させたところ、Q9・Q10でどちらも該当する回答者の割合が多かった職業は「自営業・自由業」「寺院・宗教団体」「無職」「その他」の順で、このうち「寺院・宗教団体」は3人も「【文】真宗学科」の卒業生で占められており、家業を継ぐなどであらかじめ進路が決まっている場合はキャリア支援・拡充を必要としない傾向にあるものと考えられる。

[3] Q9(キャリアセンターを利用された経験)とQ10(キャリア支援のさらなる充実)、Q12(大谷大学に入学してよかったか)を多重クロス集計

キャリアセンター利用が「ない」、かつキャリア支援のさらなる充実「特になし」の回答割合が高く、先に実施した分析1にてキャリアセンターの利用の有無で後輩や知人に入学を勧めたいかの指標に大きな差があることが明らかとなった【教】教育学科 初等教育コースに絞った分析・検証を実施する。

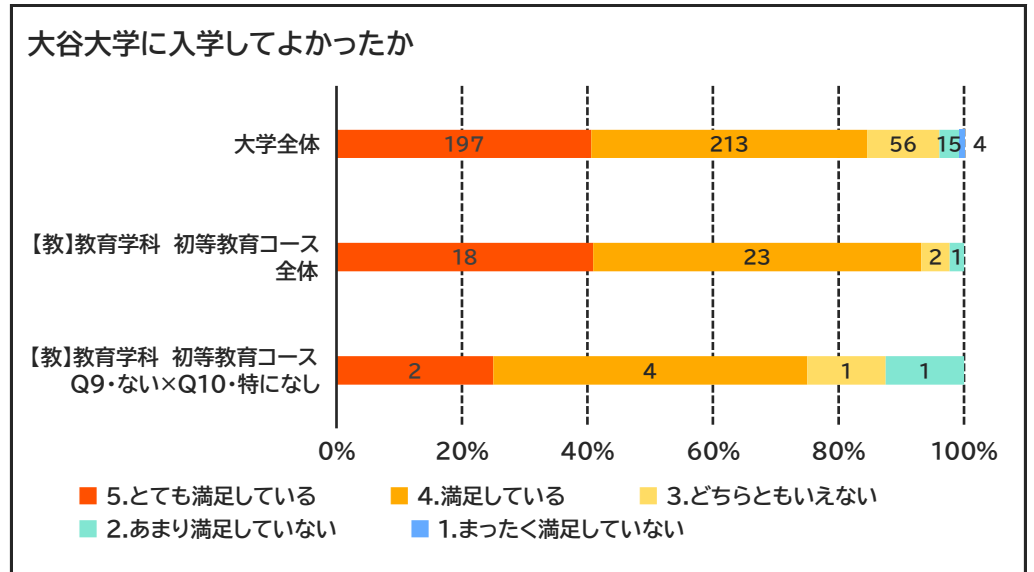
Q9「ない」・Q10「特になし」・Q3【教】教育学科 初等教育コースを回答した8人の現在の主な職業の内訳は以下の通りである。

会社員(正社員)…1人
 教員・保育士…7人

同コースの卒業生のうち約8割が教員・保育士として就職していることから、現在の就職先としての比率はコース全体とおおむね一致している。入学を勧めたいかの傾向はすでに分析済であることから、上記条件の該当者に対象を絞ってQ12(大谷大学に入学してよかったか)との多重クロス集計を実施した。

	回答者数	5 とても満足している	4 満足している	3 どちらともいえない	2 あまり満足していない	1 まったく満足していない	回答平均
大学全体	485	197	213	56	15	4	4.20
【教】教育学科 初等教育コース 全体	44	18	23	2	1	0	4.32
【教】教育学科 初等教育コース Q9・ない×Q10・特になし	8	2	4	1	1	0	3.88

※ 回答平均点…全体を基準に+0.30ポイント以上…赤字、-0.30ポイント以下…青字で表記
 「【教】教育学科 初等教育コース Q9・ない×Q10・特になし」の回答平均点と大学全体から-0.32ポイント、コース全体から-0.44ポイント低く、母数となる回答者数が10名未満であることに留意する必要があるものの、入学して満足していると感じる卒業生の割合が低いことが読み取れる。



キャリアセンターの利用有無とキャリア支援のさらなる充実、両項目の関連性を詳しく分析したところ、キャリアセンター利用が「ない」場合はキャリア支援の充実を問う設問で「特になし」回答する傾向が強いことが明らかとなったほか、学科・職業において先述の条件に該当する割合に偏りがあることが判明した。このうち、キャリアセンターの利用有無が入学推奨度のスコアに強い関連性がみられた【教】教育学科 初等教育コースを対象に追加分析を実施した結果、キャリアセンターの利用がなくキャリア支援の充実を必要としないと回答したグループは、入学満足度の項目についてもコース全体から大きく下回った。分析1の結果も踏まえると、教育学部における教職支援センターや実習支援センターを含めたキャリア支援の重要性は他学部よりも大きいものとみられ、サポート体制に手が届いていない層への支援拡充が今後の課題点といえる。